

## IV. 調査結果の分析

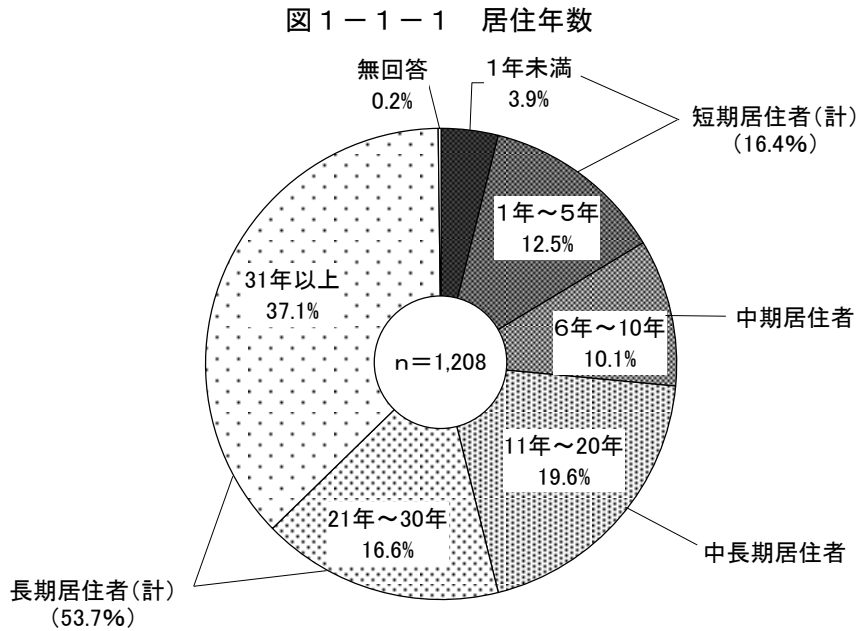


# 1 区の施策および評価について

## (1) 居住年数

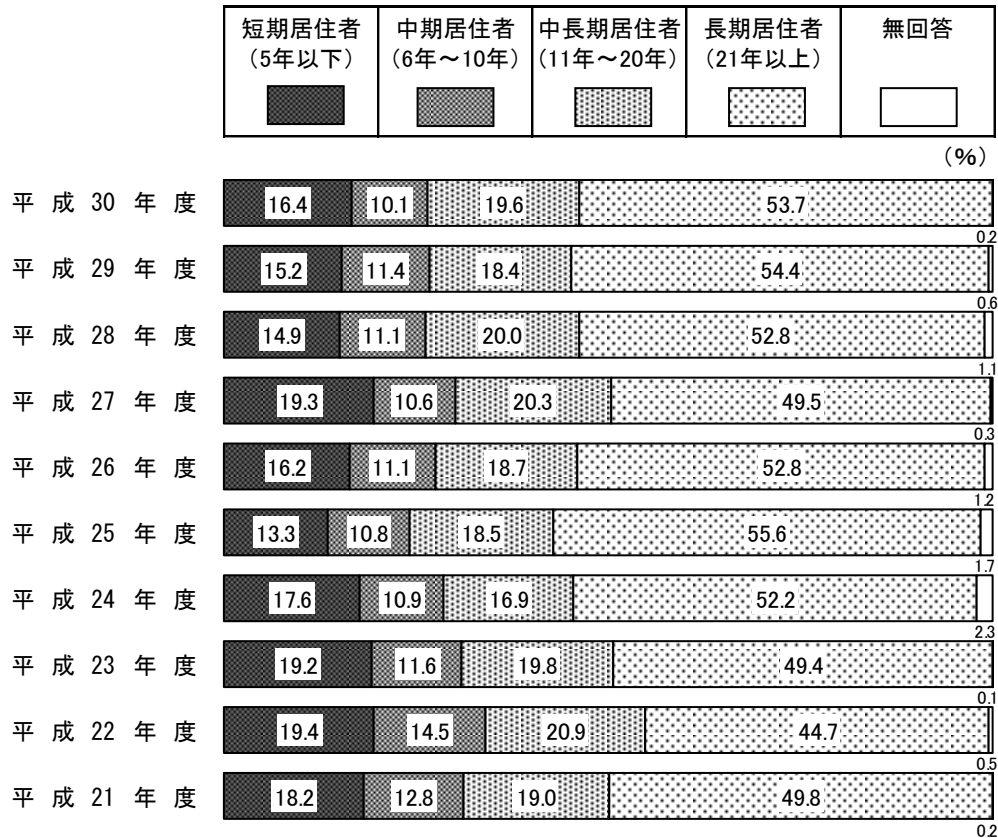
◇『長期居住者』が5割を超える

問1 あなたは、練馬区にお住まいになって何年になりますか。



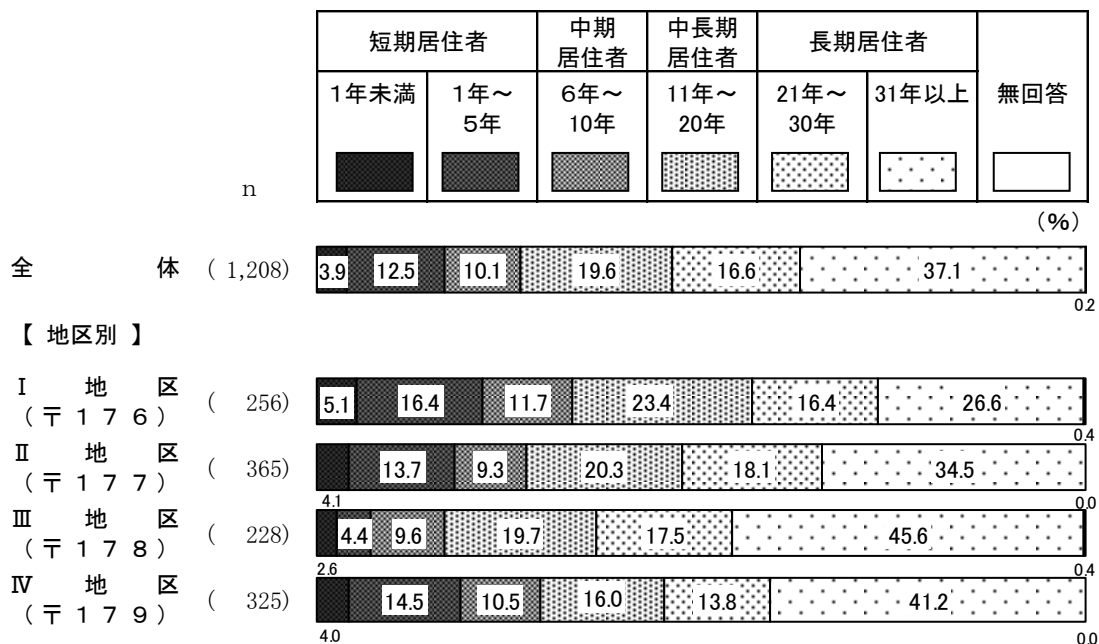
練馬区に住んで何年になるか聞いたところ、「31年以上」(37.1%)と「21年～30年」(16.6%)を合わせた『長期居住者』(53.7%)が5割を超えている。また、「11年～20年」の『中長期居住者』(19.6%)が約2割、「6年～10年」の『中期居住者』(10.1%)が約1割、「1年～5年」(12.5%)と「1年未満」(3.9%)を合わせた『短期居住者』(16.4%)が1割台半ばとなっている。(図1-1-1)

図 1-1-2 居住年数一過年度比較



過去の調査と比較すると、『長期居住者（21年以上）』は前回調査（平成29年度）から0.7ポイント減少したが、過去9年と同様、最も多くなっている。（図1-1-2）

図 1-1-3 居住年数一地区別



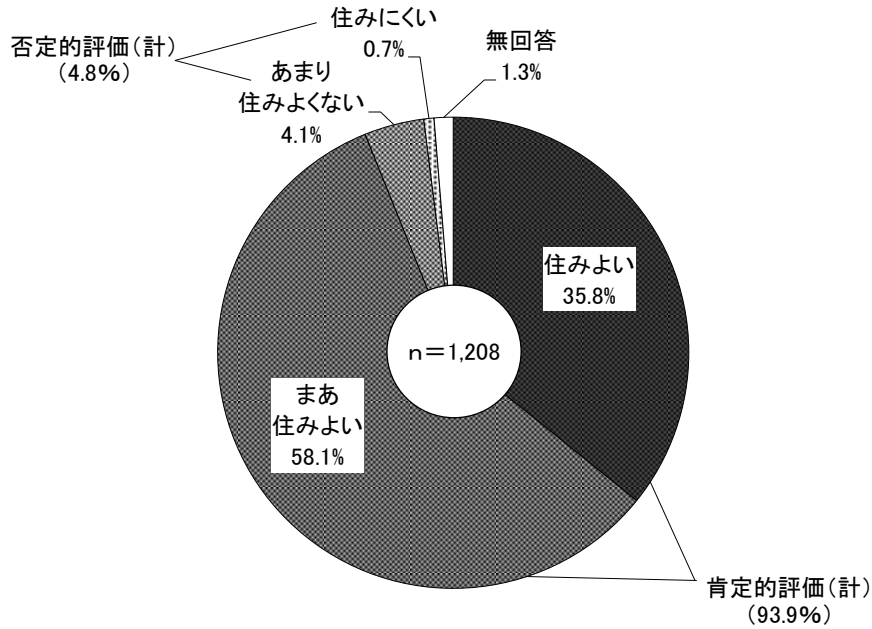
地区別にみると、『長期居住者（21年以上）』はⅢ地区（〒178）で6割を超えて最も多くなっている。『短期居住者（5年未満）』はⅠ地区（〒176）で2割を超えて多くなっている。（図1-1-3）

(2) 住みごこち

◇『肯定的評価』が9割を超える

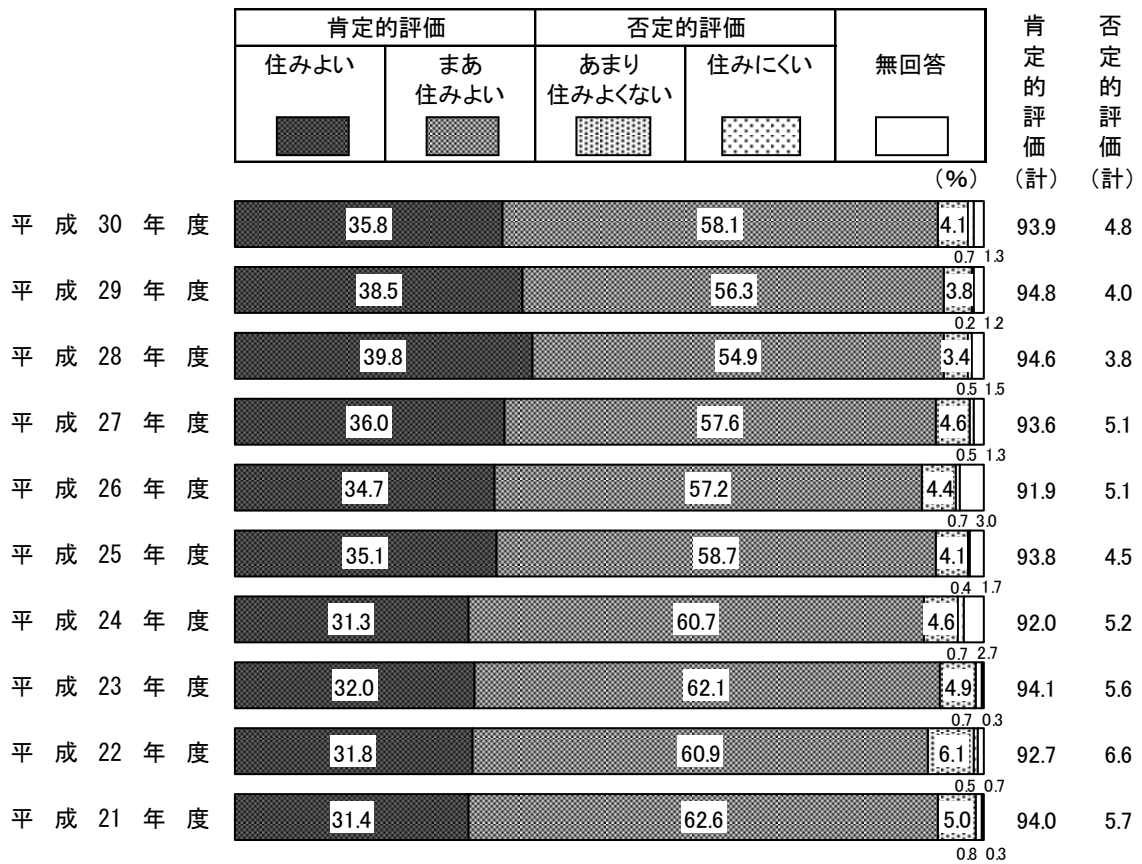
問2 あなたは、練馬区の住みごこちをどう思いますか。

図1-2-1 住みごこち



練馬区の住みごこちを聞いたところ、「住みよい」(35.8%)が3割台半ば、「まあ住みよい」(58.1%)が6割近くで、この2つを合わせた『肯定的評価』(93.9%)が9割を超えている。一方、「あまり住みよくない」(4.1%)と「住みにくい」(0.7%)を合わせた『否定的評価』(4.8%)は1割を下回っている。(図1-2-1)

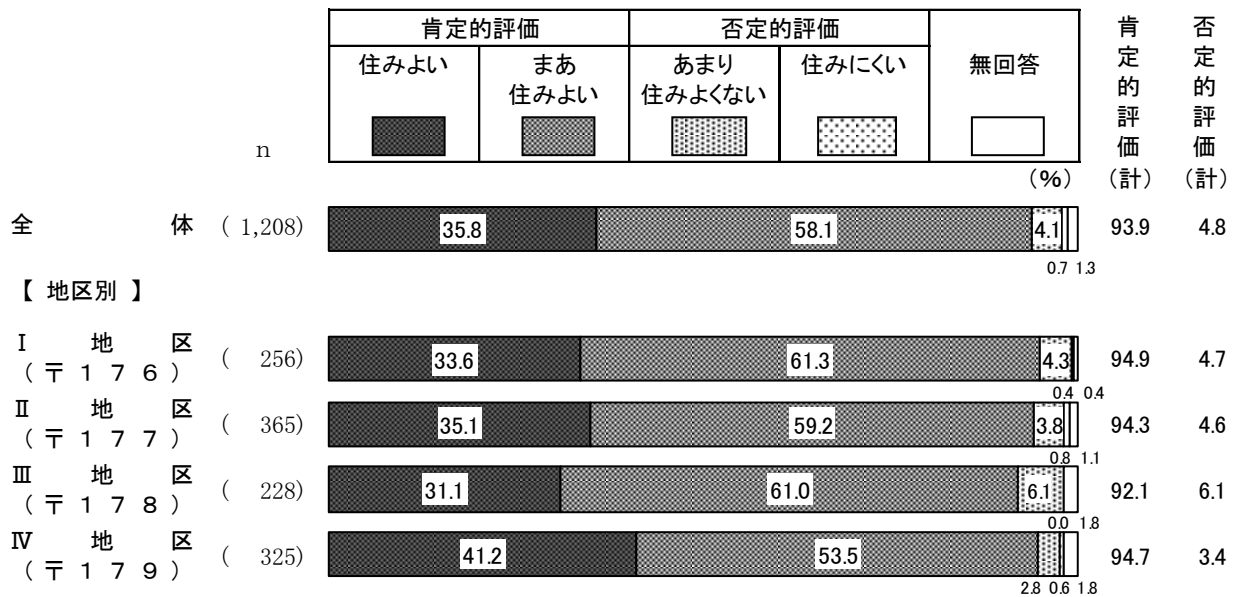
図 1-2-2 住みごち一過年度比較



過去の調査と比較すると、『肯定的評価』は平成21年度以降いずれも9割台前半となっている。

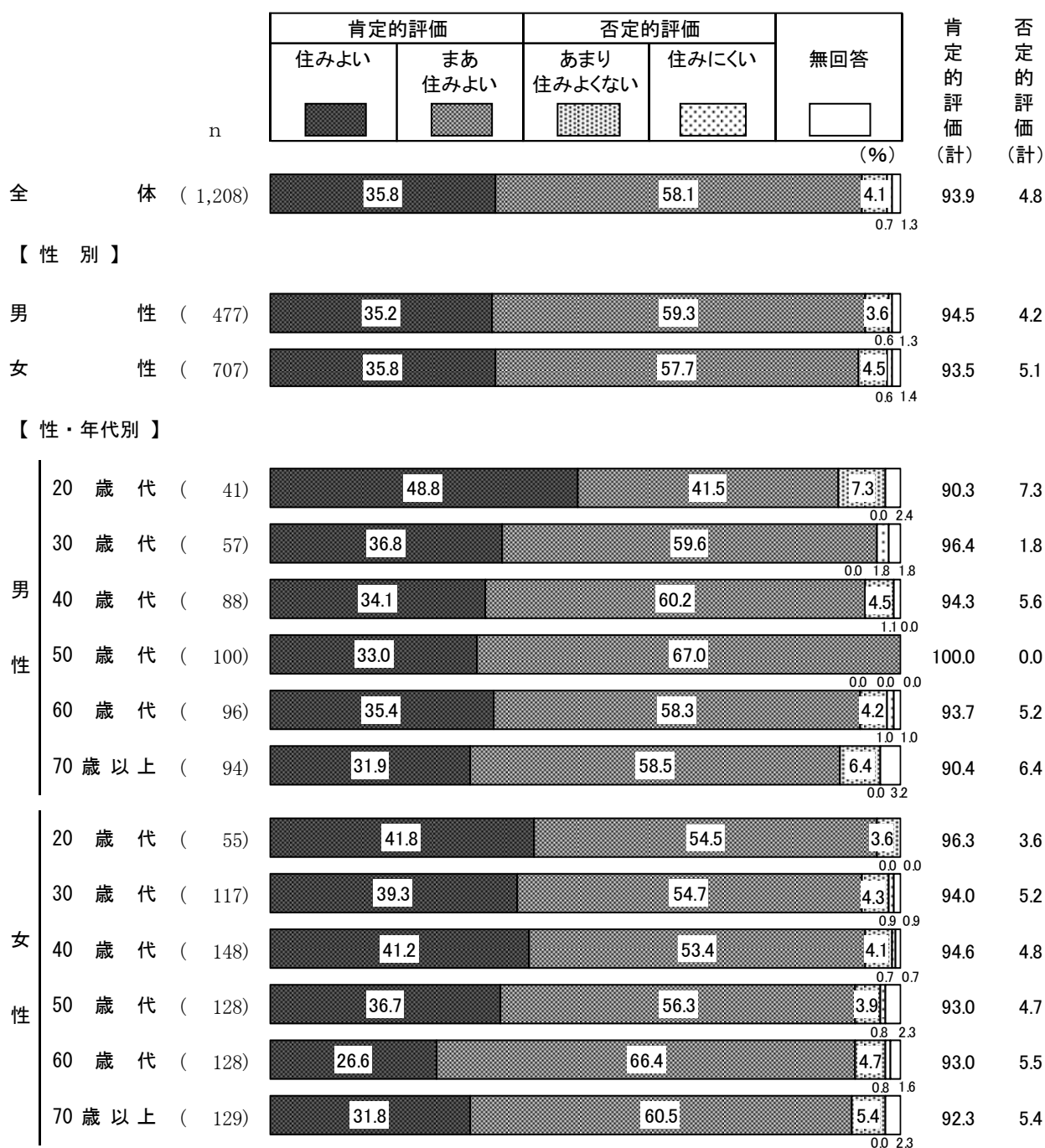
(図 1-2-2)

図 1-2-3 住みごち一地区別



地区別にみると、『肯定的評価』はすべての地区で9割台前半となっている。(図 1-2-3)

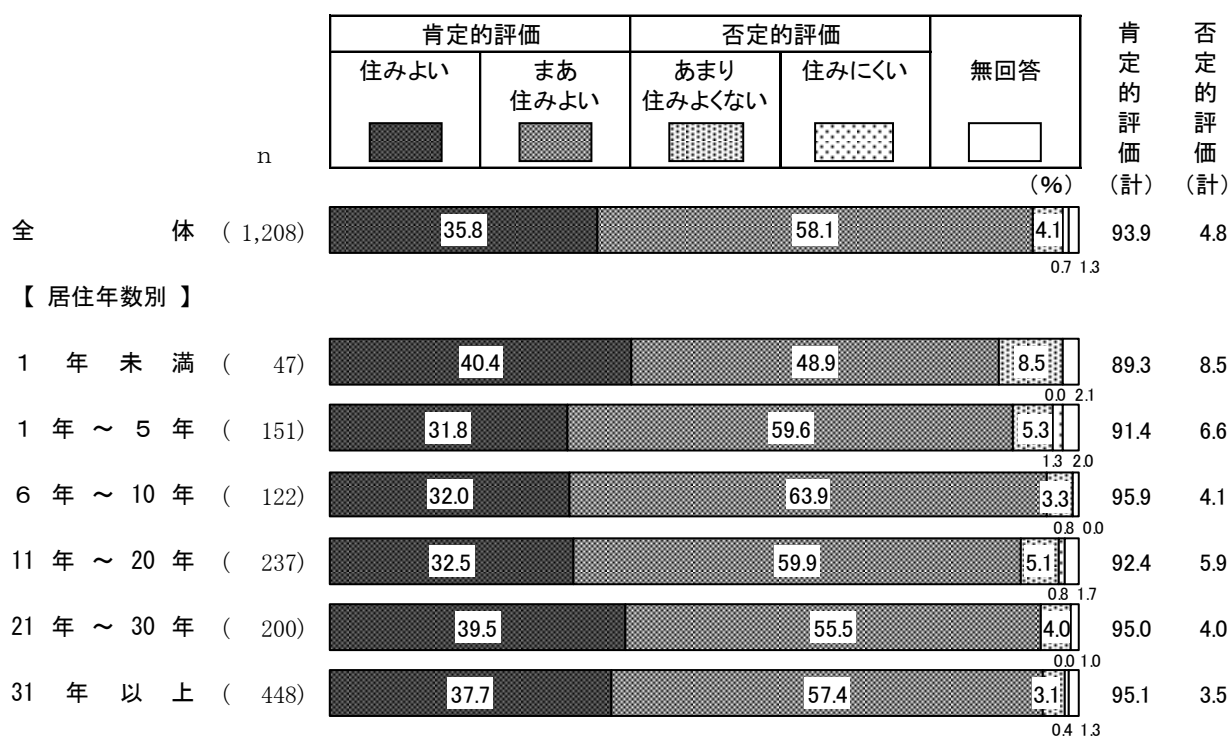
図1-2-4 住みごこち—性別、性・年代別



性別にみると、男女ともに『肯定的評価』は9割台前半となっている。

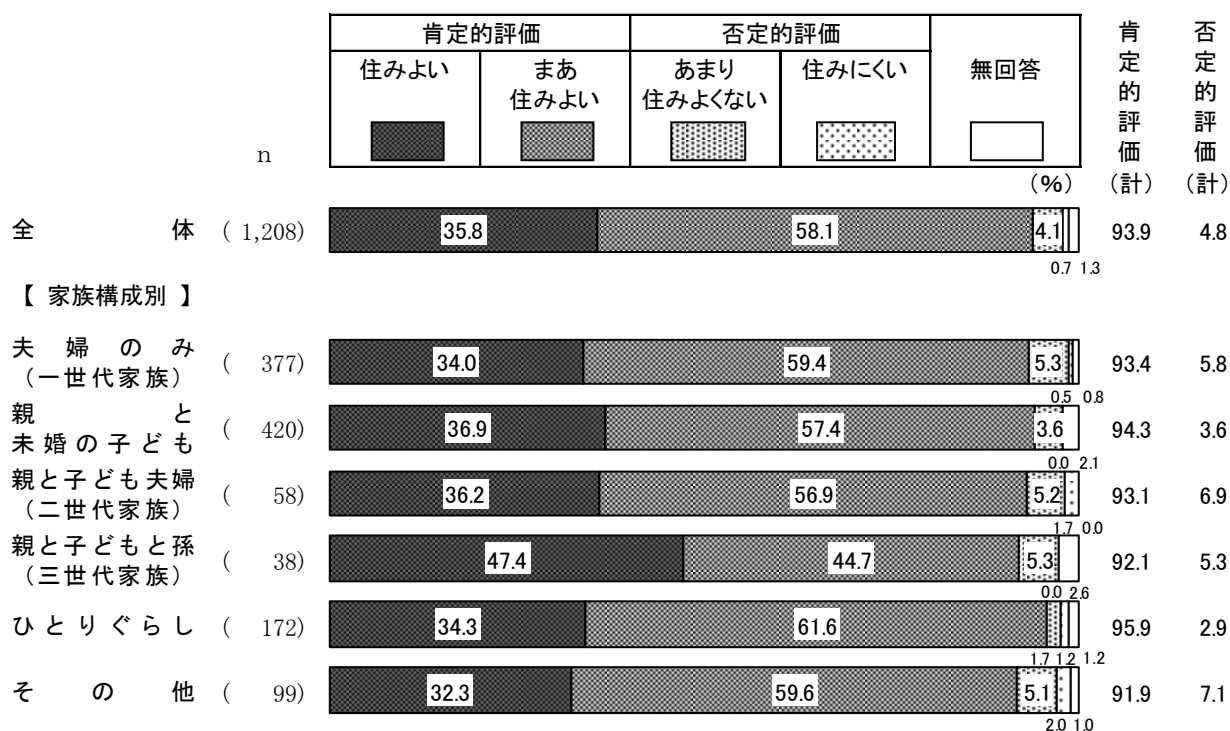
性・年代別にみると、「住みよい」は男性20歳代で5割近くと多くなっている。『肯定的評価』は男性50歳代で10割となっているほかは、いずれも9割台となっている。(図1-2-4)

図 1-2-5 住みごこち—居住年数別



居住年数別にみると、『肯定的評価』は1年未満で約9割となっているほかは、いずれも9割台となっている。(図1-2-5)

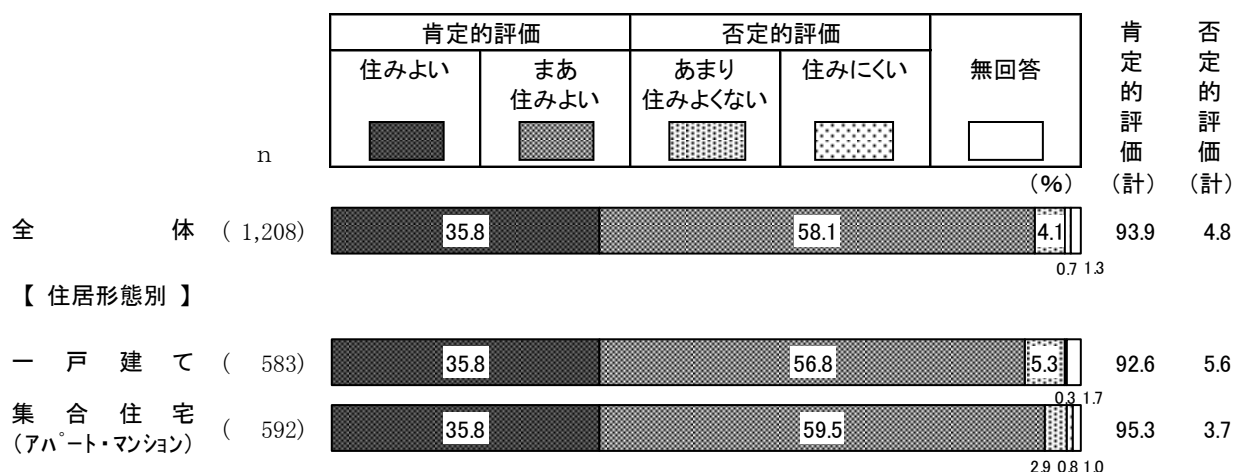
図 1-2-6 住みごこち—家族構成別



家族構成別にみると、『肯定的評価』は、すべての家族構成で9割台となっている。(図1-2-6)

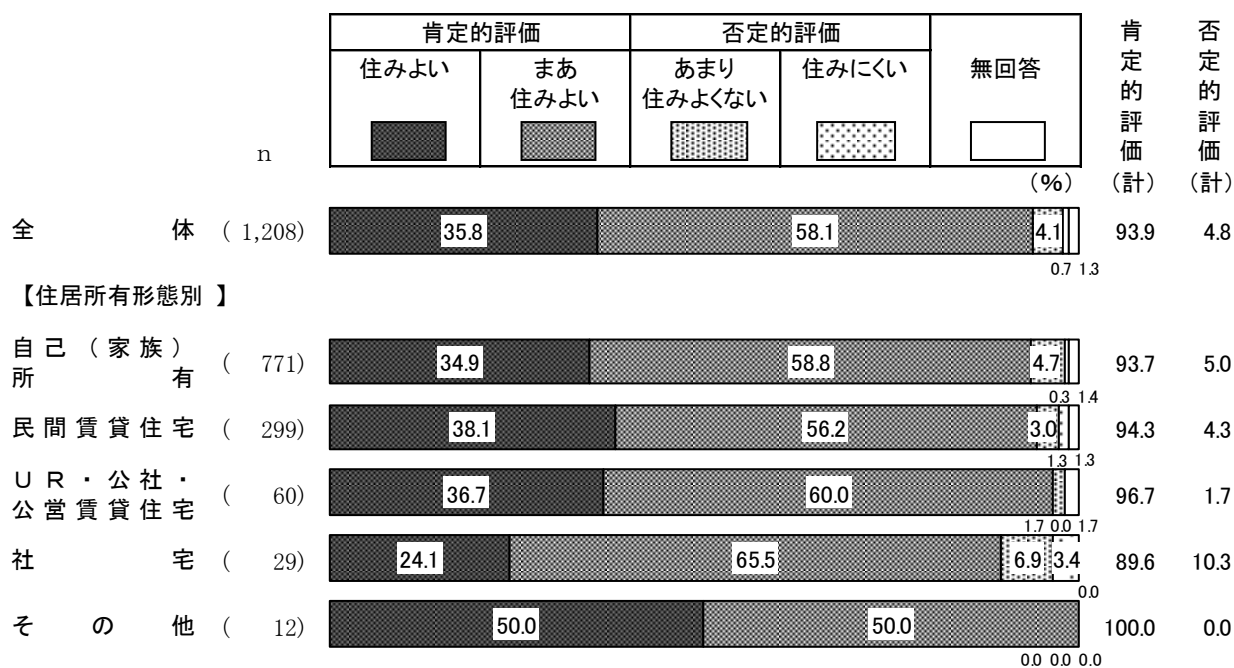


図 1-2-7 住みごこち—住居形態別



住居形態別にみると、「住みよい」は一戸建て、集合住宅（アパート・マンション）ともに3割台半ばとなっている。（図1-2-7）

図 1-2-8 住みごこち—住居所有形態別



住居所有形態別にみると、『肯定的評価』は社宅、その他を除きいずれも9割台となっている。

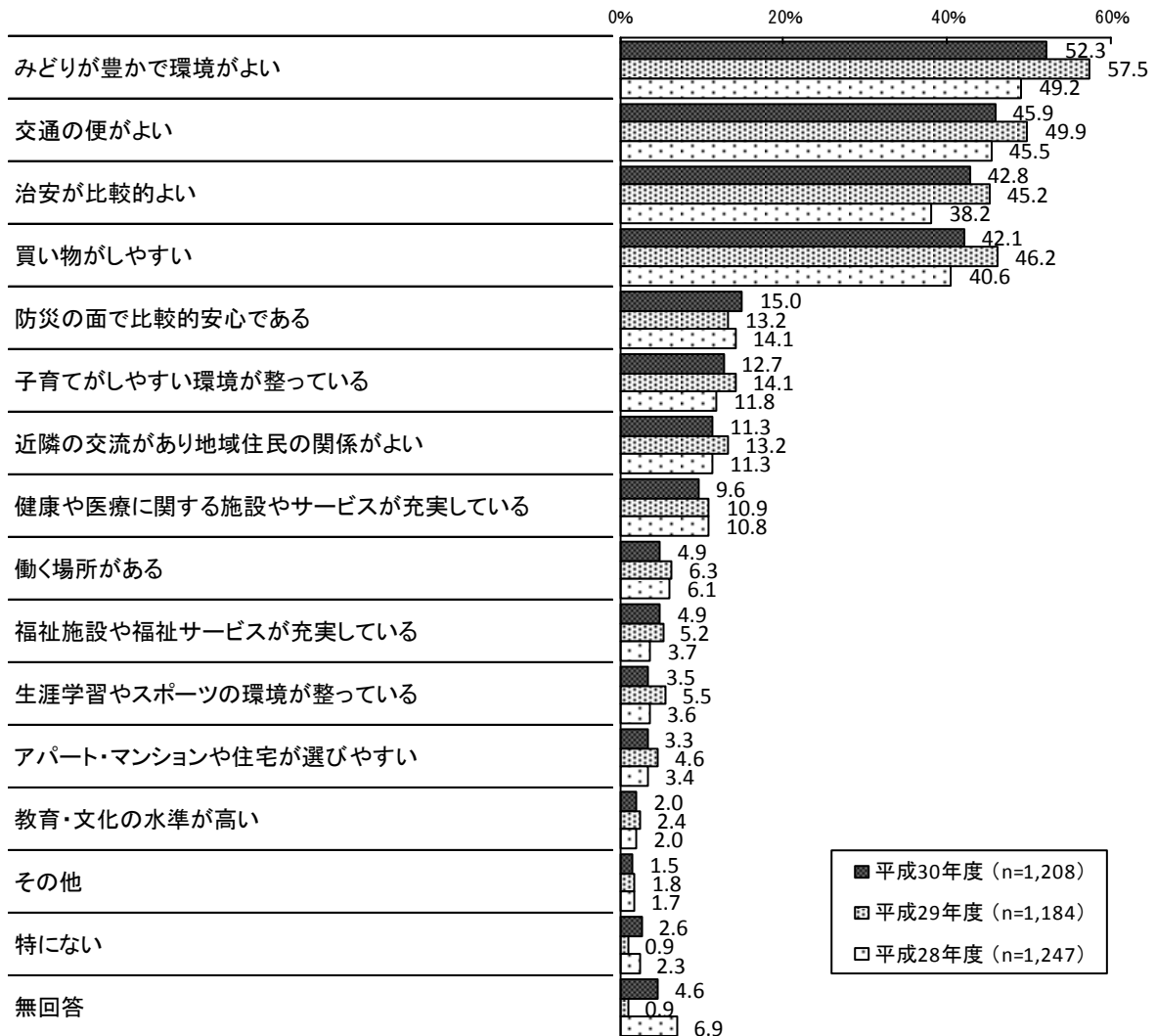
（図1-2-8）

(3) 練馬区が住みよいと感じるところ

◇「みどりが豊かで環境がよい」が5割を超える

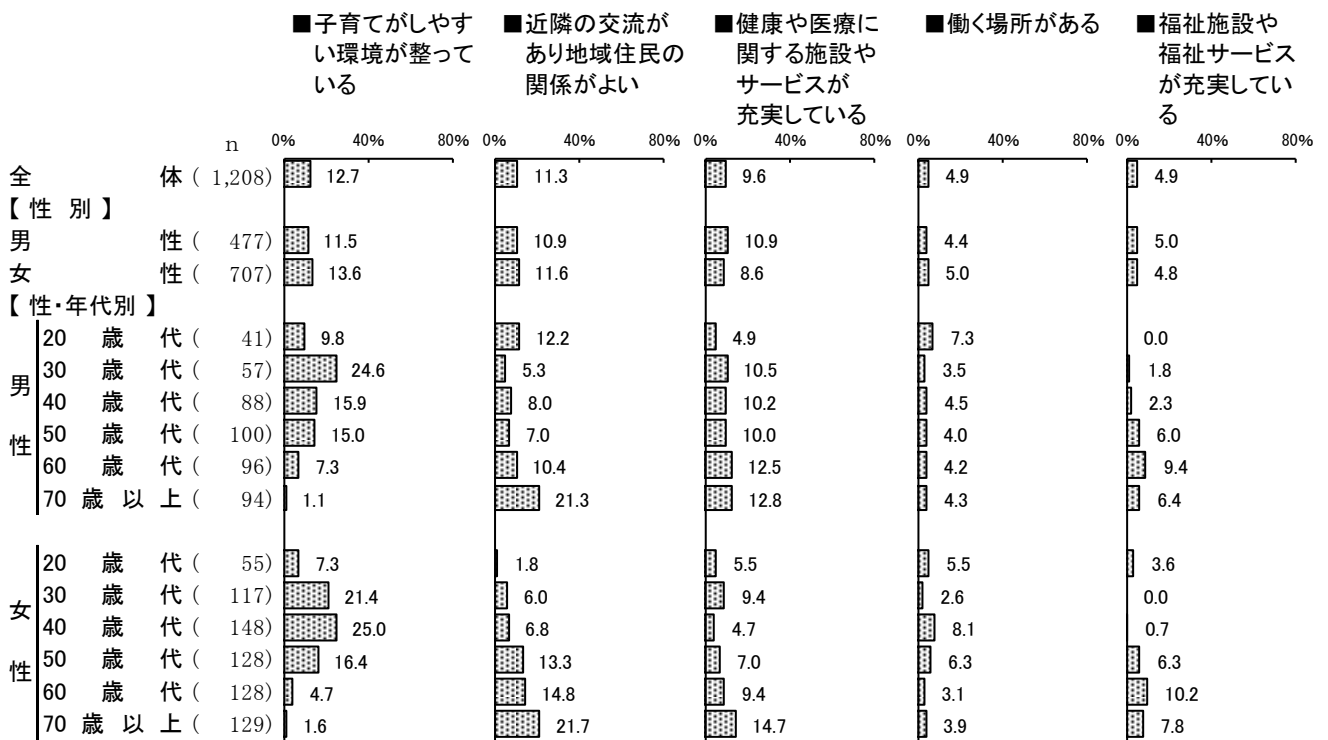
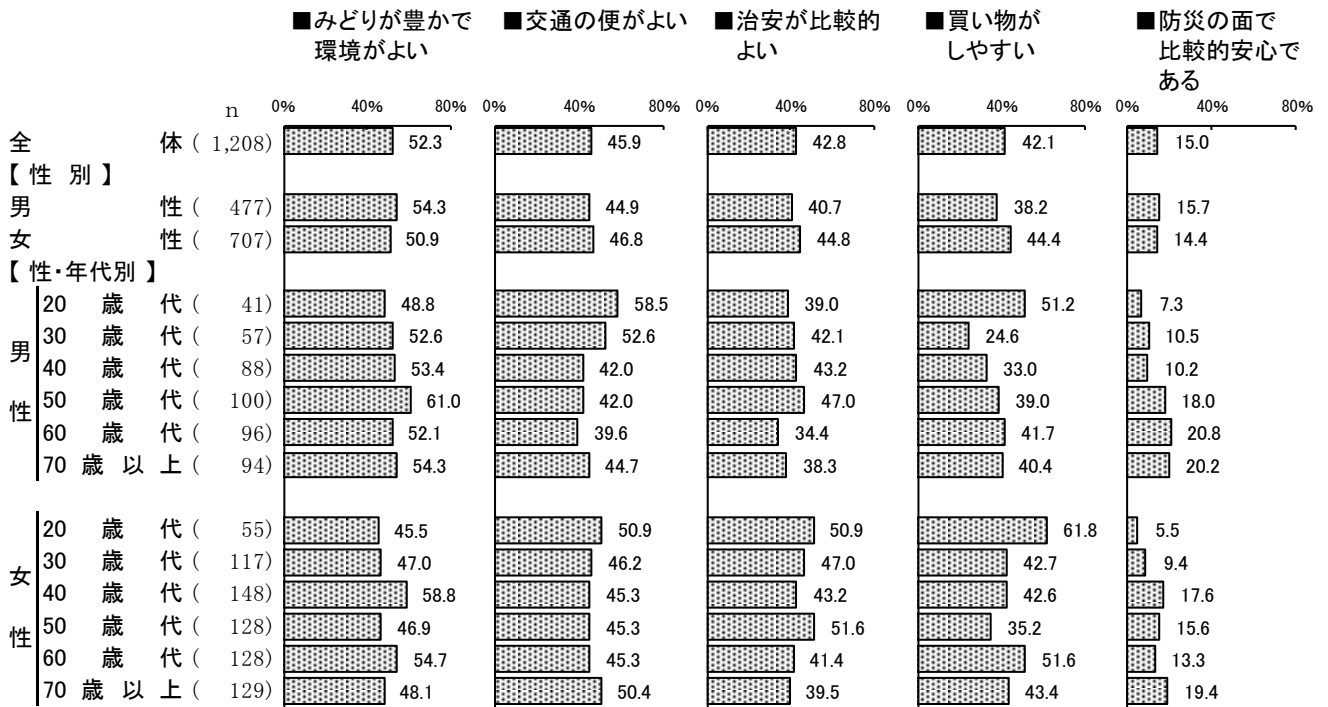
問3 あなたが、練馬区が住みよいと感じるところは、どんなところですか。次の中から住みよいと感じることを選んでください。(〇は3つまで)

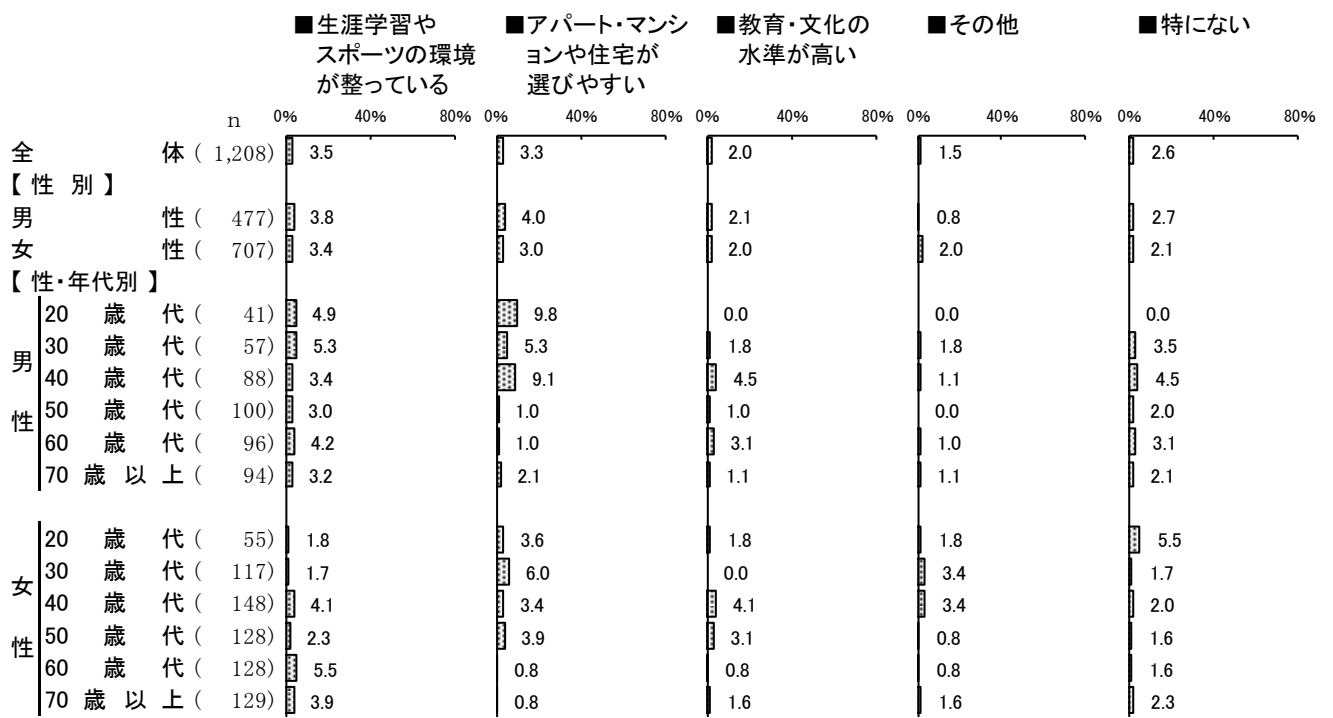
図1-3-1 練馬区が住みよいと感じるところ



練馬区が住みよいと感じるところを聞いたところ、「みどりが豊かで環境がよい」(52.3%)が5割を超えて最も多く、次いで「交通の便がよい」(45.9%)、「治安が比較的よい」(42.8%)、「買い物がしやすい」(42.1%)、「防災の面で比較的安心である」(15.0%)などの順となっている。(図1-3-1)

図 1-3-2 練馬区が住みよいと感じるところ—性別、性・年代別



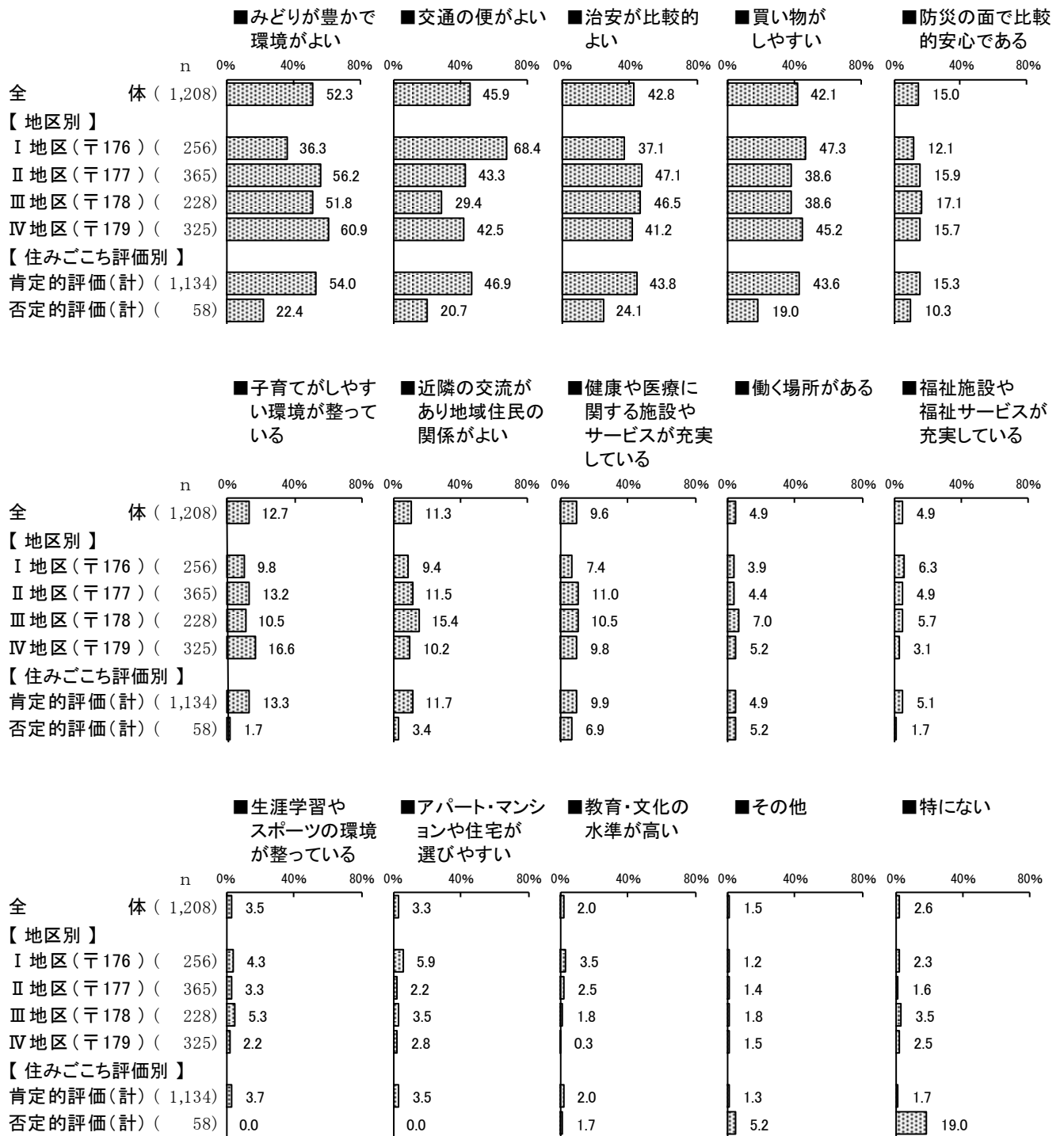


性別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」は男女ともに5割台前半となっている。また「買い物がしやすい」は女性の方が6.2ポイント高くなっている。

性別・年代別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」は男性50歳代で6割を超えて多くなっている。「交通の便がよい」は男性20歳代で6割近く、「買い物がしやすい」は女性20歳代で6割を超えている。

(図1-3-2)

図1-3-3 練馬区が住みよいと感じるところ—地区別、住みごち評価別



地区別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」はIV地区（〒179）で約6割となっている。「交通の便がよい」はI地区（〒176）で7割近くとなっている。

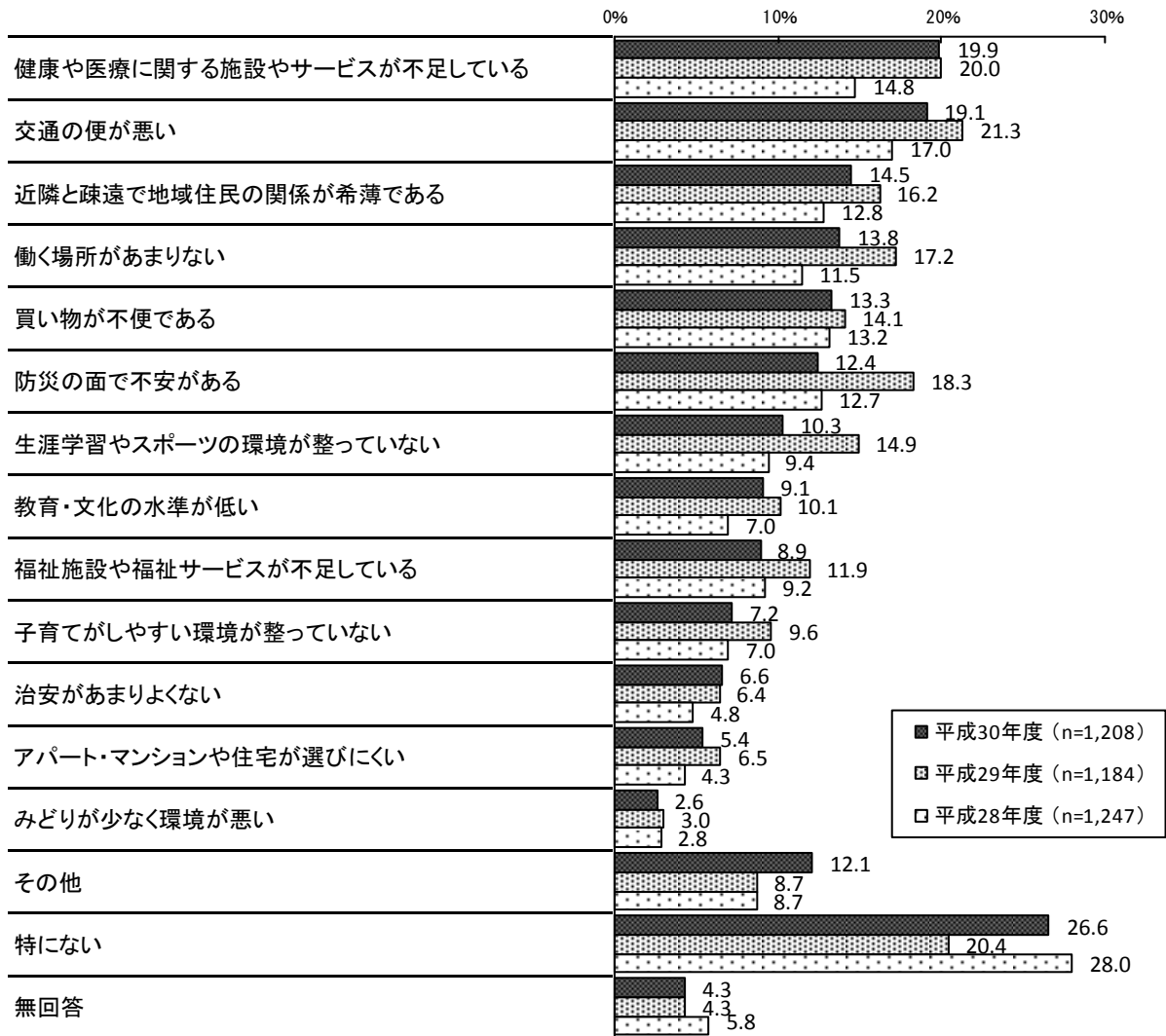
住みごち評価別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」で31.6ポイント、「交通の便がよい」で26.2ポイント、「治安が比較的よい」で19.7ポイント、「買いものがしやすい」で24.6ポイントなど、ほぼすべての項目で『肯定的評価』が『否定的評価』より高くなっている。（図1-3-3）

(4) 練馬区が住みにくいと感じるところ

◇「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」が約2割

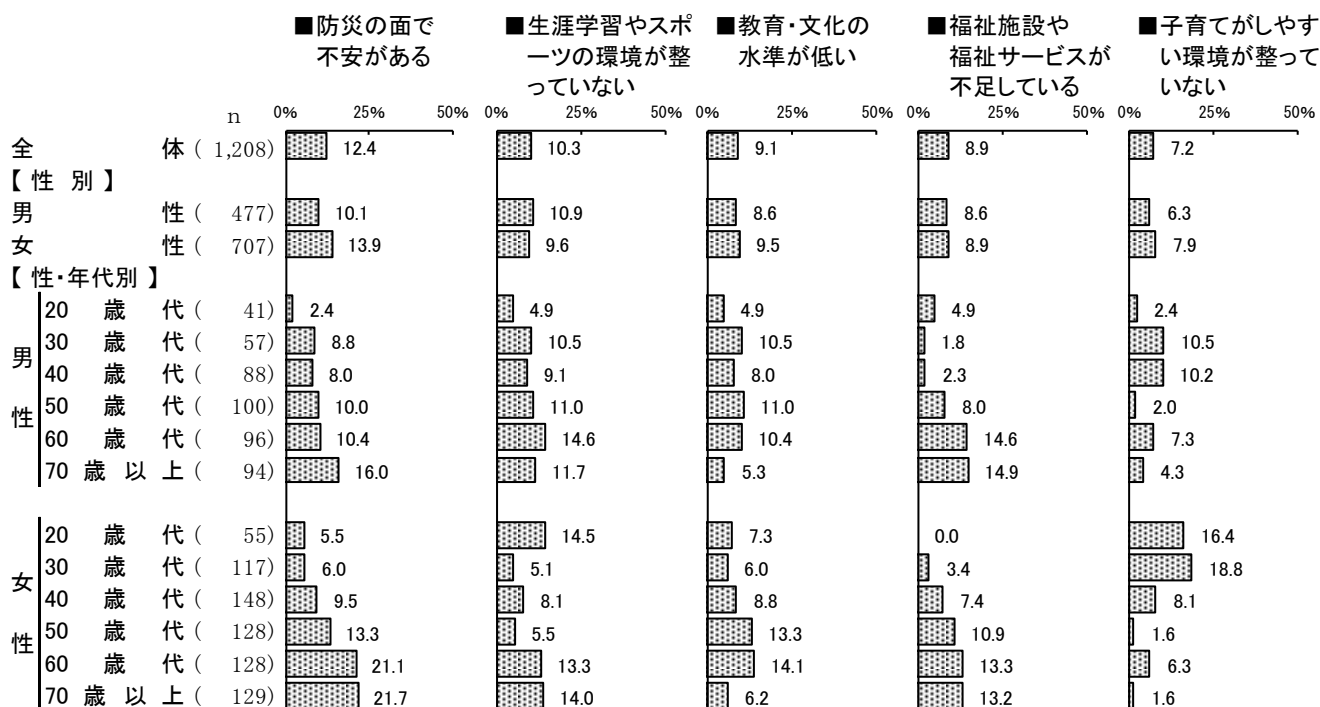
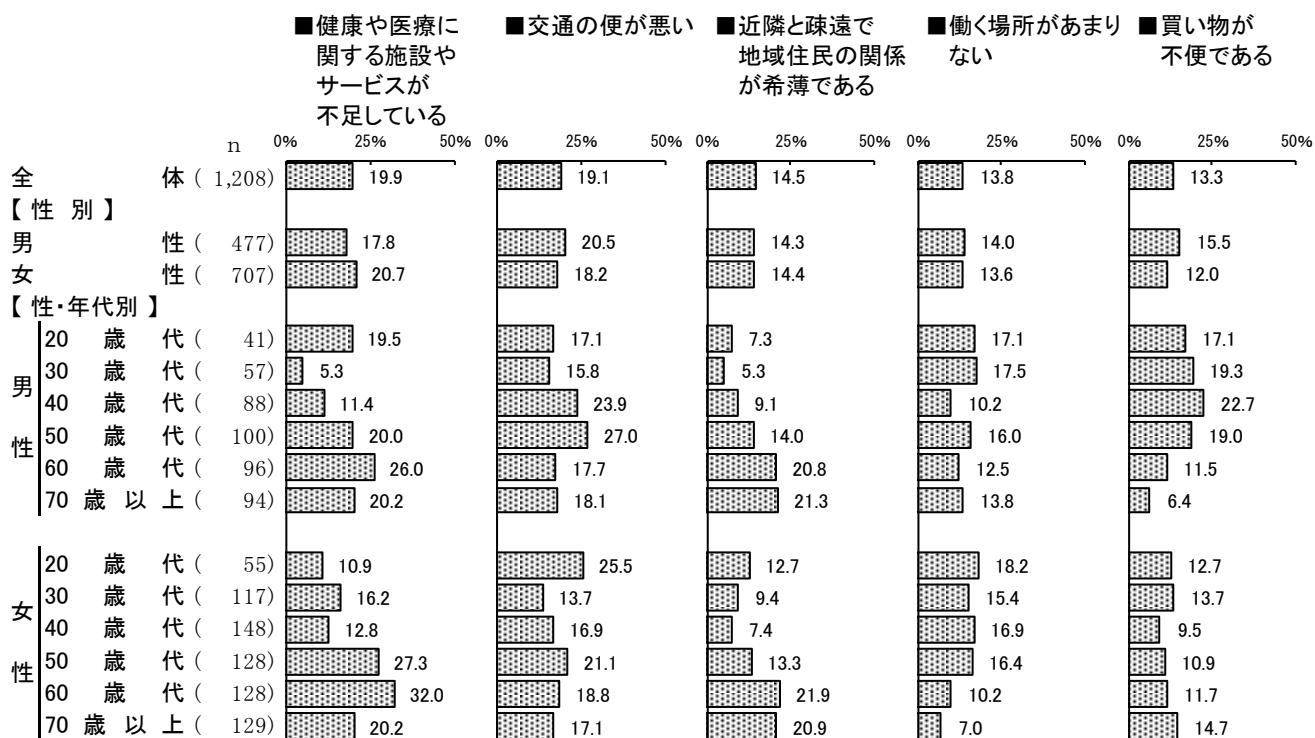
問4 反対に、あなたが、練馬区が住みにくいと感じるところは、どんなところですか。次の中から住みにくいと感じることを選んでください。(〇は3つまで)

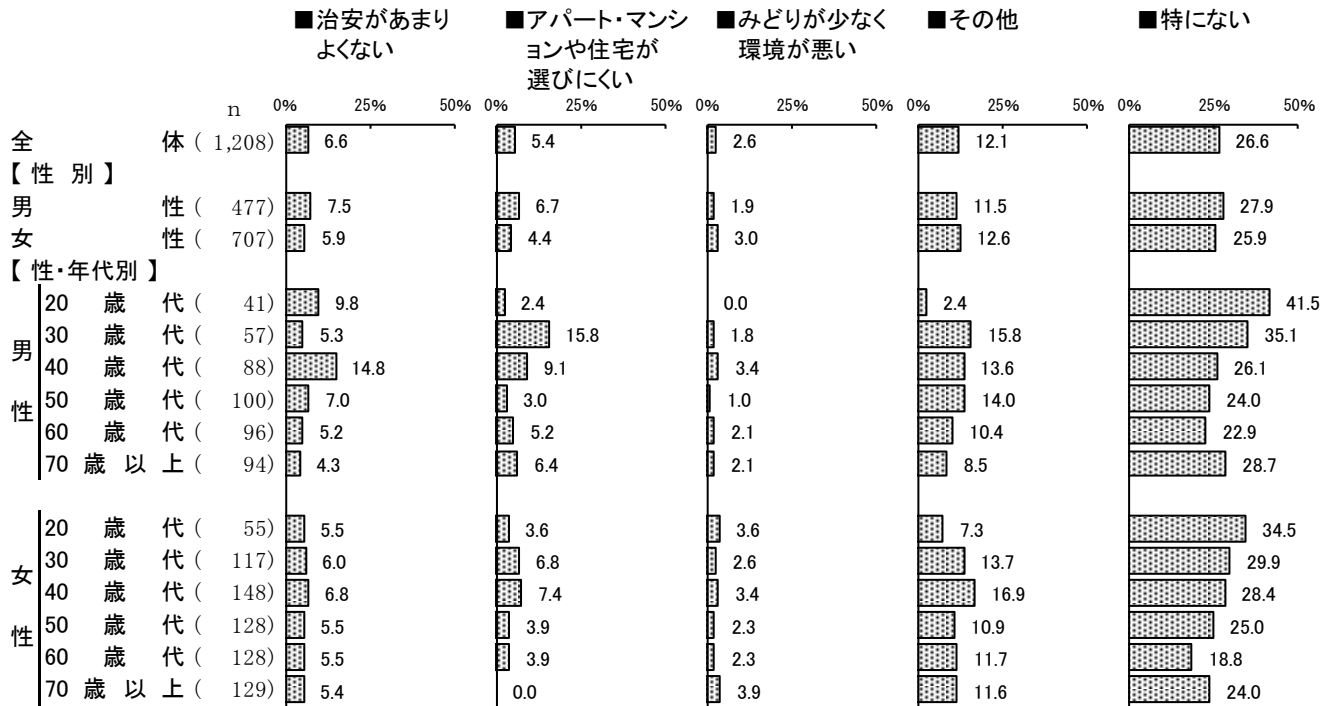
図1-4-1 練馬区が住みにくいと感じるところ



練馬区が住みにくいと感じるところを聞いたところ、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」(19.9%)が約2割で最も多く、次いで「交通の便が悪い」(19.1%)、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」(14.5%)、「働く場所があまりない」(13.8%)、「買い物が不便である」(13.3%)、「防災の面で不安がある」(12.4%)などの順になっている。一方、「特にない」(26.6%)は2割台半ばで昨年度から6.2ポイント増加している。(図1-4-1)

図 1-4-2 練馬区が住みにくいと感じるところ—性別、性・年代別





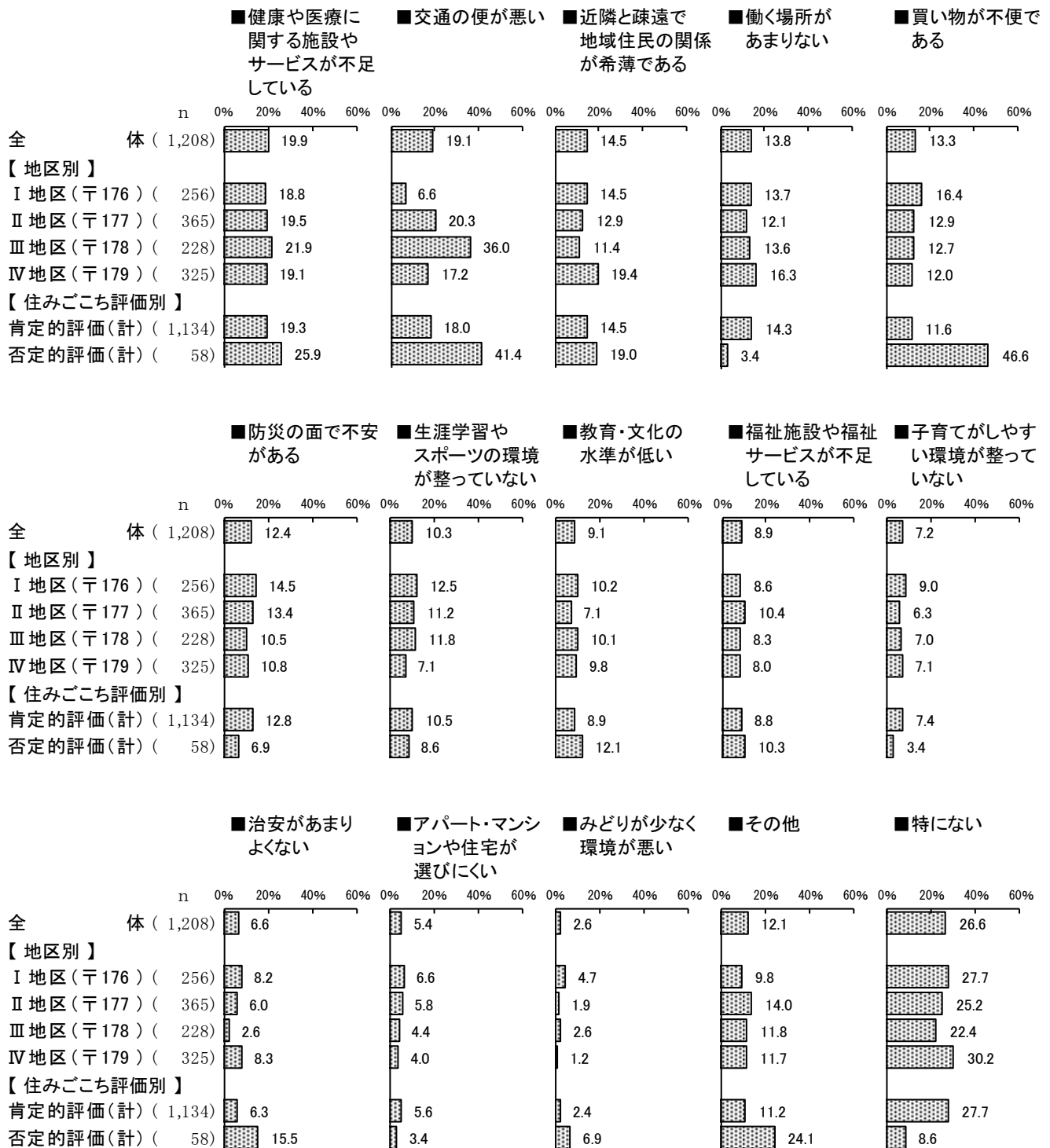
性別にみると、「買い物が不便である」は男性の方が3.5ポイント、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」は女性の方が2.9ポイント、「交通の便が悪い」は男性の方が2.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」は女性60歳代で3割を超えて最も多く、「交通の便が悪い」は男性50歳代で3割近くと最も多くなっている。一方、「特にない」は男女ともに概ね年代が下がるほど割合が多い傾向となっており、男性20歳代では4割を超えている。

(図1-4-2)



図1-4-3 練馬区が住みにくいと感ずるところ—地区別、住みごころ評価別



地区別にみると、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」はⅢ地区（〒178）で2割を超えて多く、「交通の便が悪い」はⅢ地区（〒178）で3割台半ばと多くなっている。一方、「特にない」はⅣ地区（〒179）で約3割となっている。

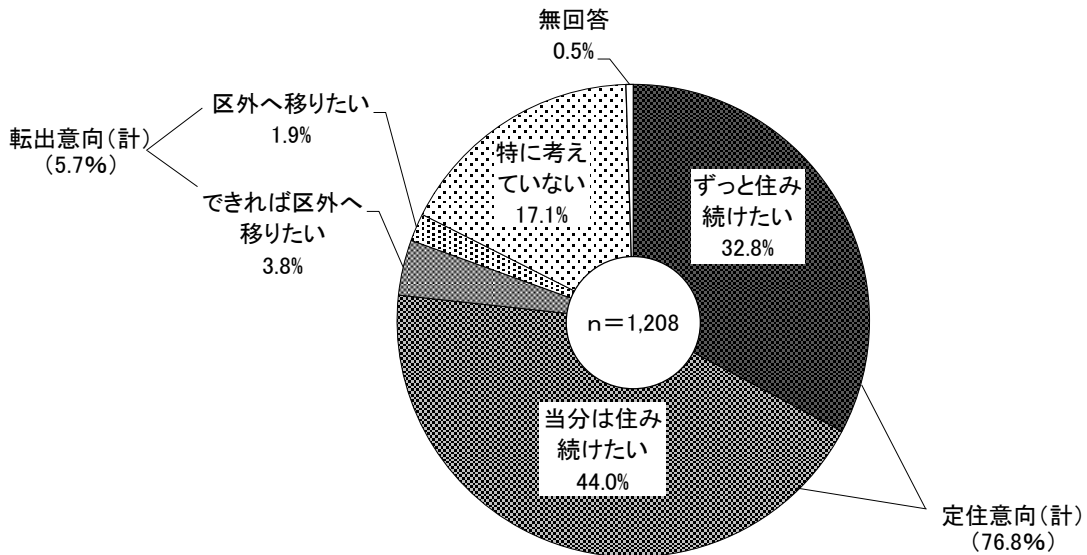
住みごころ評価別にみると、『否定的評価』は『肯定的評価』より「買いものが不便である」で35.0ポイント、「交通の便が悪い」で23.4ポイント高くなっている。（図1-4-3）

(5) 定住意向

◇『定住意向』が7割台半ば

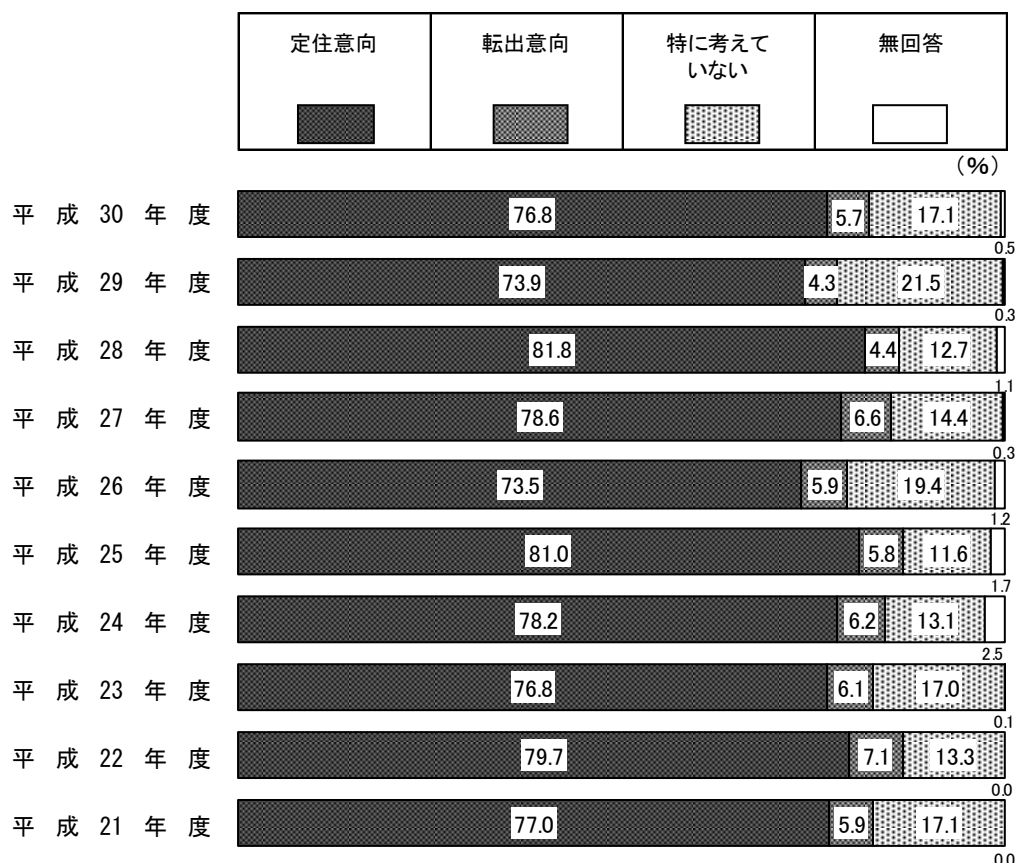
問5 あなたは、これからも引き続き練馬区に住みたいと思いますか。

図1-5-1 定住意向



これからも引き続き練馬区に住みたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(32.8%)と「当分は住み続けたい」(44.0%)を合わせた『定住意向』(76.8%)が7割台半ばとなっている。一方、「できれば区外へ移りたい」(3.8%)と「区外へ移りたい」(1.9%)を合わせた『転出意向』(5.7%)は1割を下回っている。(図1-5-1)

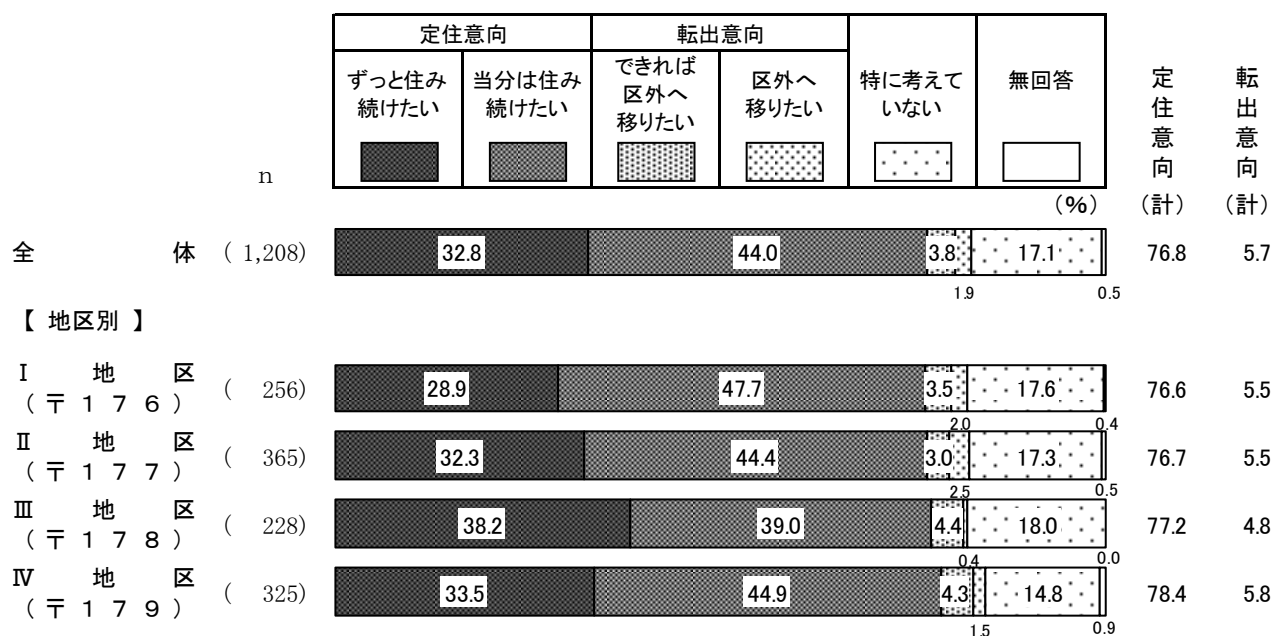
図 1-5-2 定住意向一過年度比較



過去の調査と比較すると、『定住意向』は前回調査（平成29年度）より2.9ポイント増加している。

(図 1-5-2)

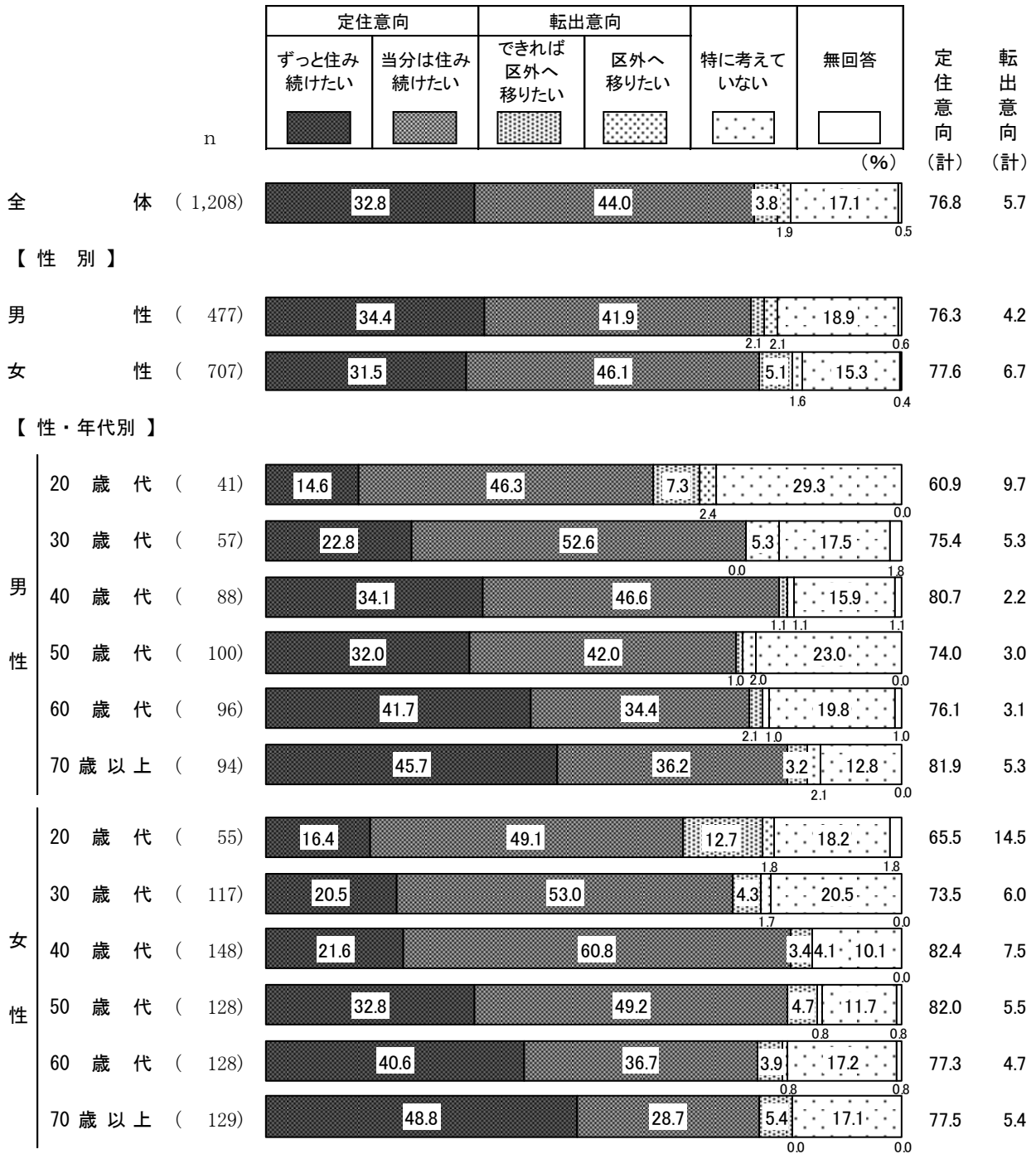
図 1-5-3 定住意向一地区別



地区別にみると、「ずっと住み続けたい」はIII地区（〒178）で4割近くと多くなっている。

(図 1-5-3)

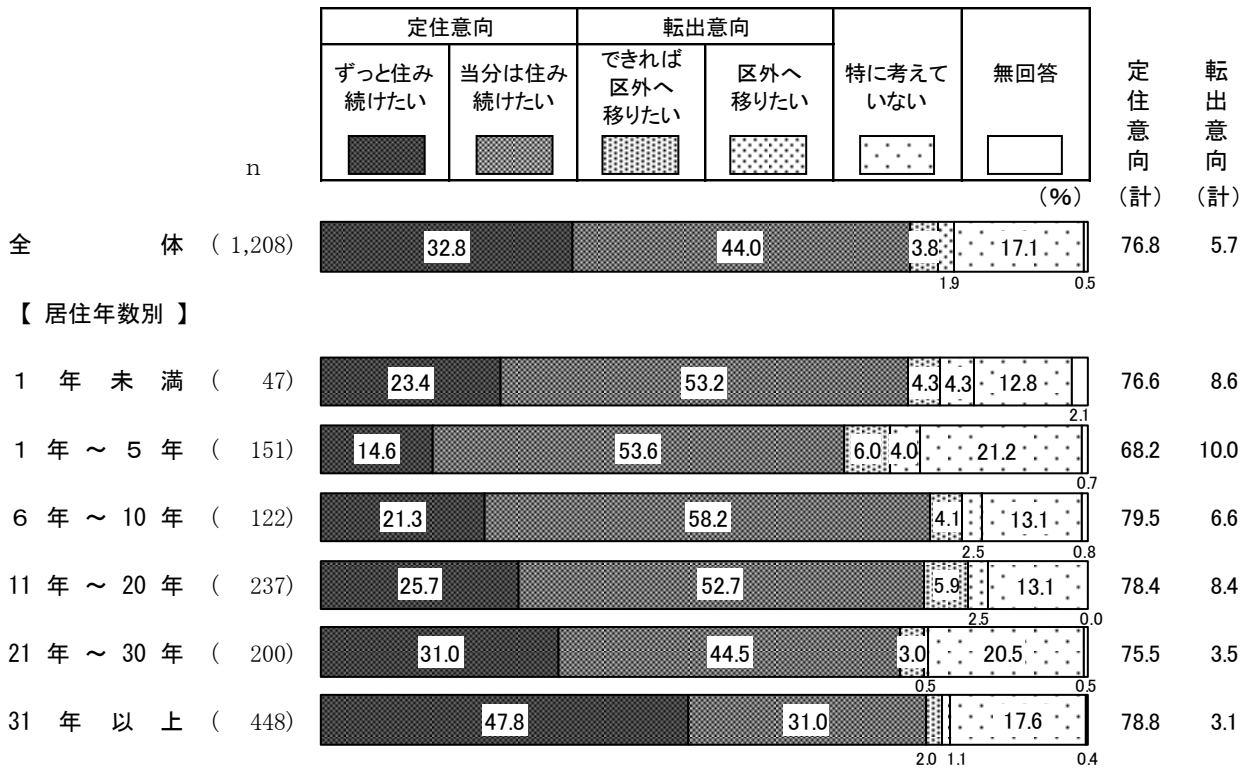
図1-5-4 定住意向—性別、性・年代別



性別にみると、『定住意向』は女性の方が1.3ポイント高く、8割近くとなっている。

性・年代別にみると、「ずっと住み続けたい」は男女ともに概ね年代が上がるほど割合が多い傾向となっており、女性70歳以上では5割近くと多くなっている。『定住意向』は男性40歳代・70歳以上、女性40歳代・50歳代で8割台前半と多くなっている。(図1-5-4)

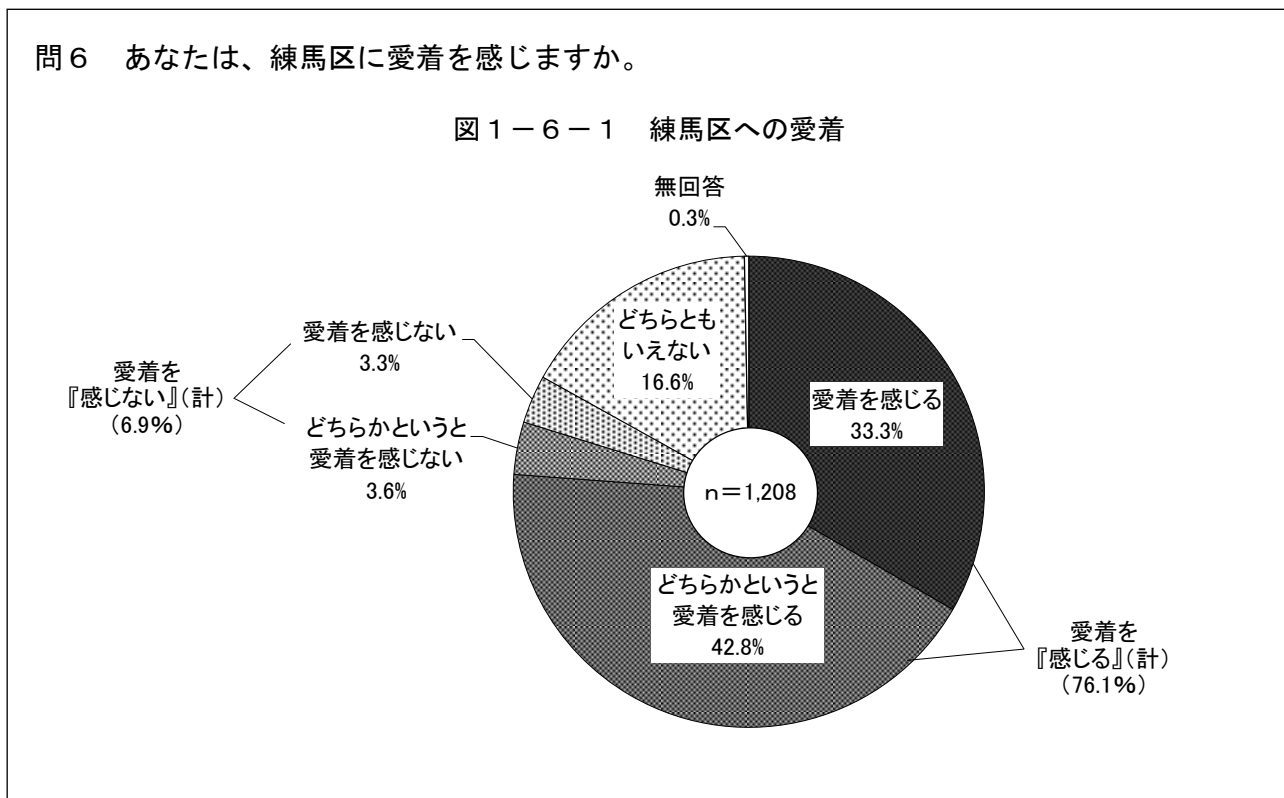
図 1-5-5 定住意向-居住年数別



居住年数別にみると、「ずっと住み続けたい」は概ね居住年数が長くなるほど割合が多くなる傾向があり、31年以上居住している人で5割近くと多くなっている。(図 1-5-5)

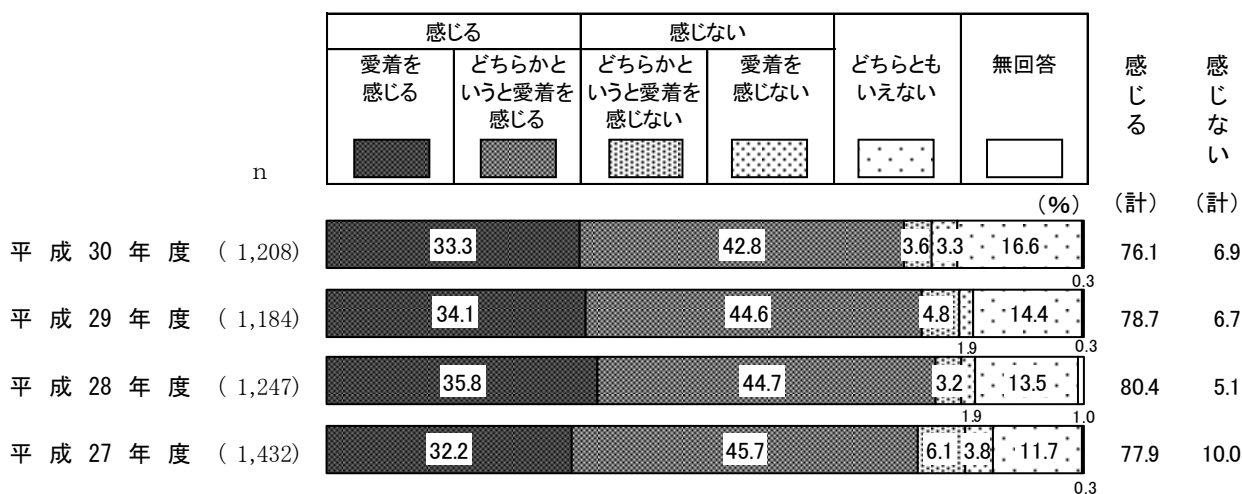
(6) 練馬区への愛着

◇愛着を『感じる』が7割台半ば



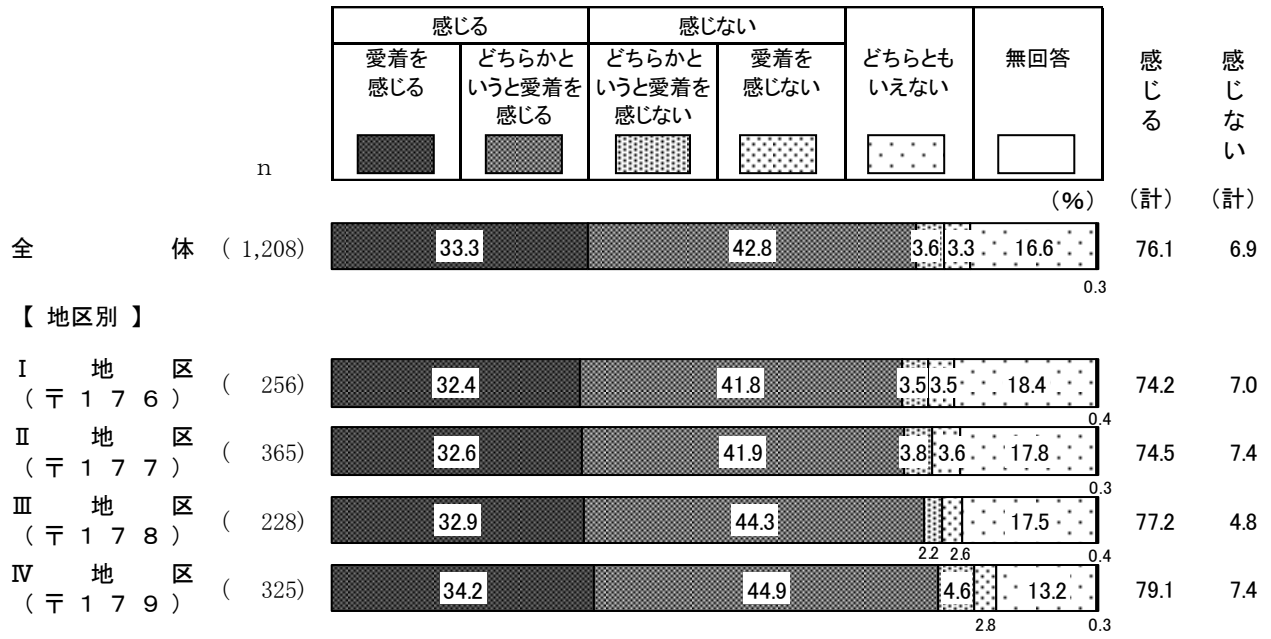
練馬区に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じる」(33.3%)と「どちらかという愛着を感じる」(42.8%)を合わせた、愛着を『感じる』(76.1%)が7割台半ばとなっている。一方、「どちらかという愛着を感じない」(3.6%)と「愛着を感じない」(3.3%)を合わせた、愛着を『感じない』(6.9%)は1割を下回っている。(図1-6-1)

図1-6-2 練馬区への愛着一過年度比較



過去の調査と比較すると、愛着を『感じる』は前回調査(平成29年度)から2.6ポイント減少している。(図1-6-2)

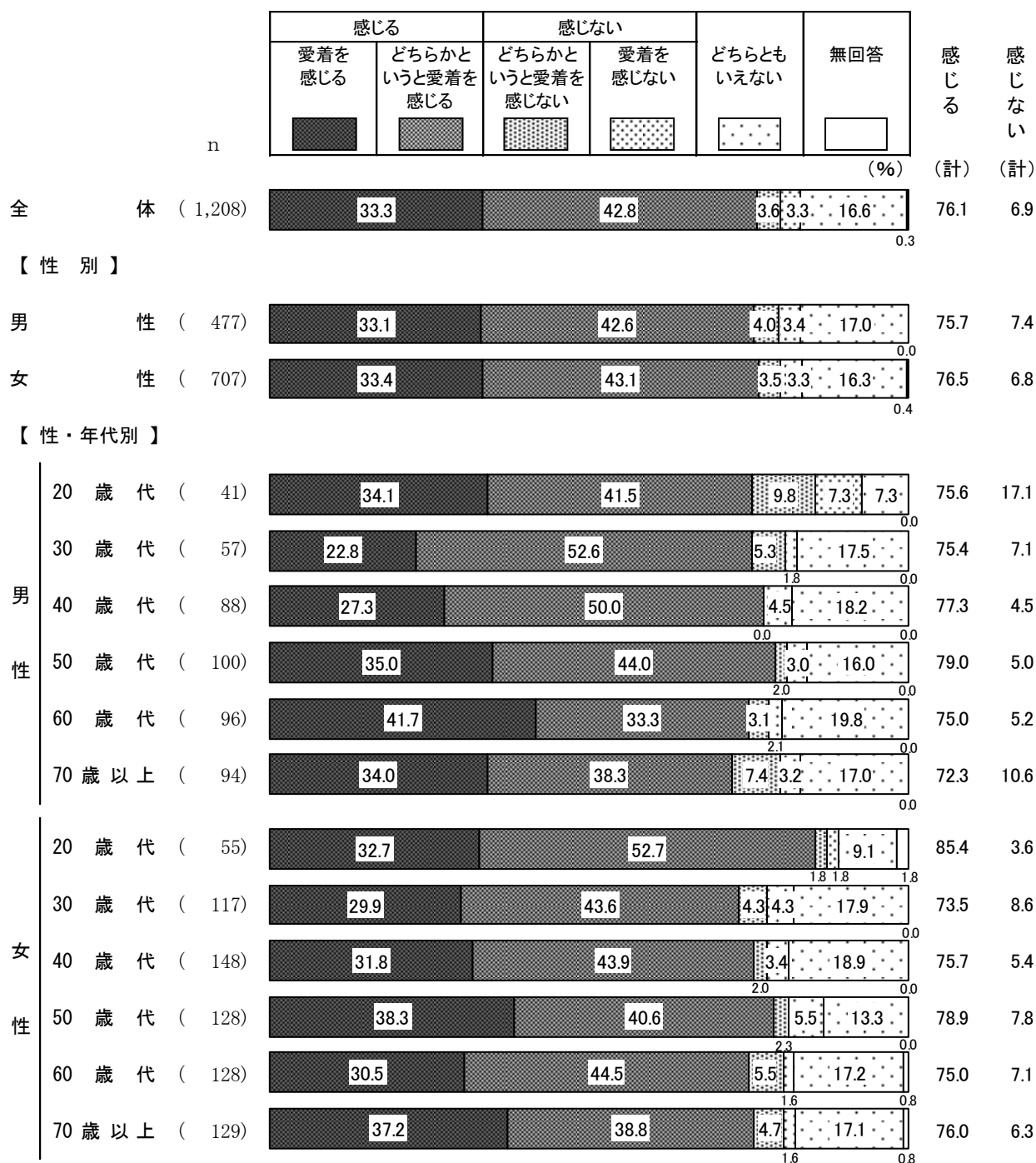
図 1-6-3 練馬区への愛着—地区別



地区別にみると、愛着を『感じる』はIV地区（〒179）で約8割と多くなっている。

(図 1-6-3)

図 1-6-4 練馬区への愛着—性別、性・年代別

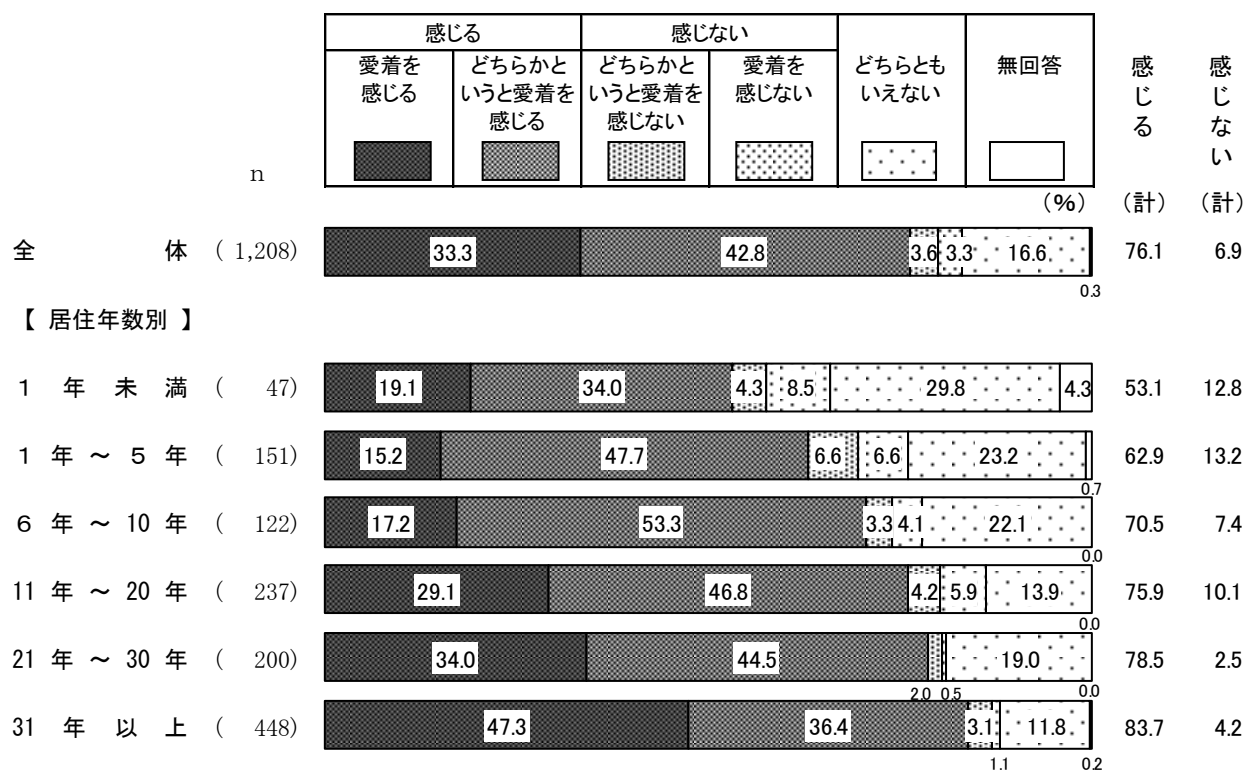


性別にみると、愛着を『感じる』は男女ともに7割台半ばとなっている。

性・年代別にみると、「愛着を感じる」は男性60歳代で4割を超えて多くなっている。愛着を『感じる』は女性20歳代で8割半ばが多くなっている。(図1-6-4)



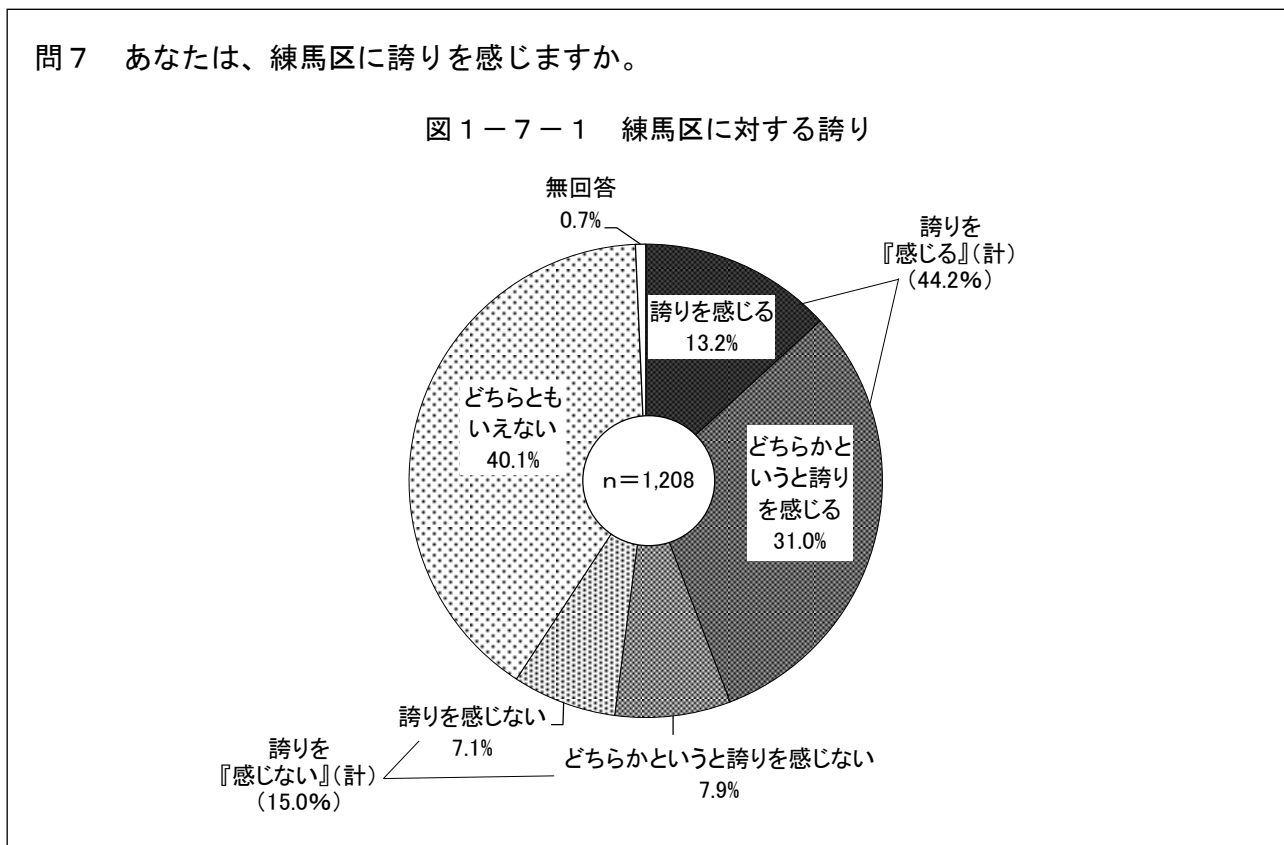
図 1-6-5 練馬区への愛着—居住年数別



居住年数別にみると、愛着を『感じる』は居住年数が長くなるほど割合が多くなる傾向があり、31年以上居住している人で8割を超えて多くなっている。(図 1-6-5)

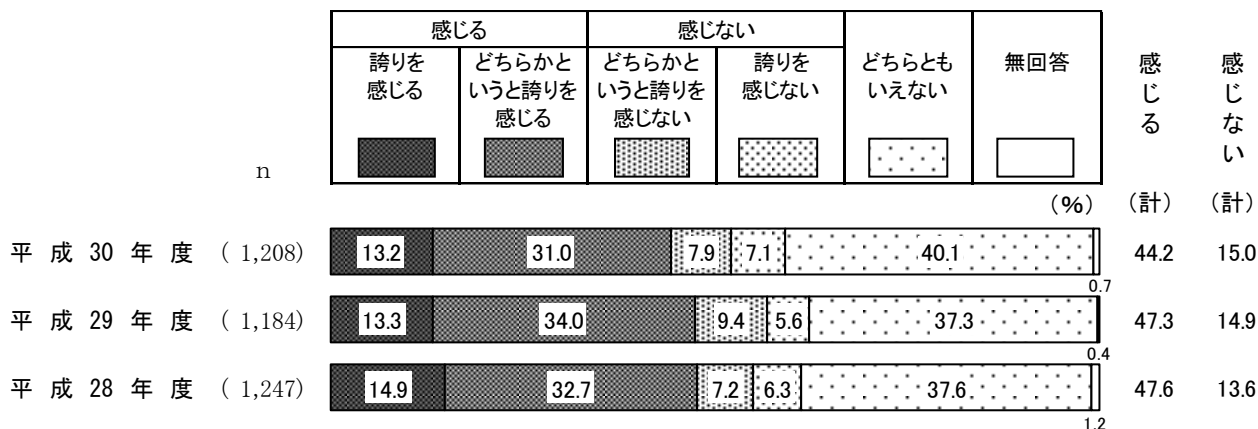
(7) 練馬区に対する誇り

◇誇りを『感じる』が4割台半ば



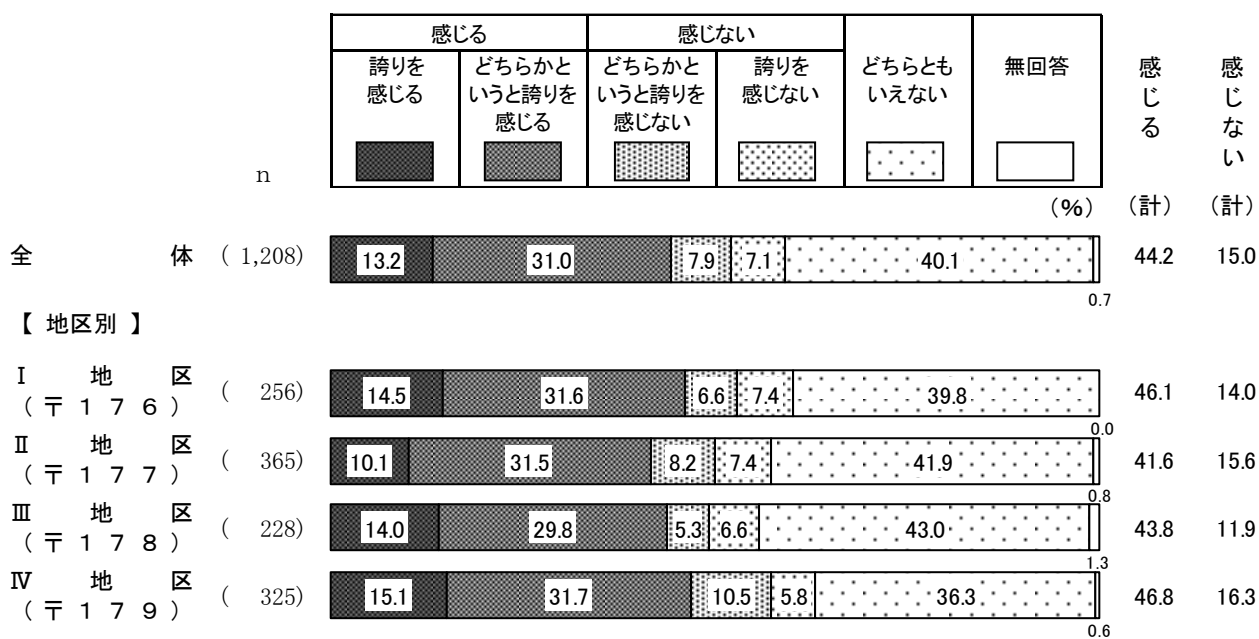
練馬区に誇りを感じるか聞いたところ、「誇りを感じる」(13.2%)と「どちらかというと誇りを感じる」(31.0%)を合わせた、誇りを『感じる』(44.2%)が4割台半ばとなっている。一方、「どちらかというと誇りを感じない」(7.9%)と「誇りを感じない」(7.1%)を合わせた、誇りを『感じない』(15.0%)は1割台半ばにとどまっている。(図1-7-1)

図1-7-2 練馬区に対する誇り—過年度比較



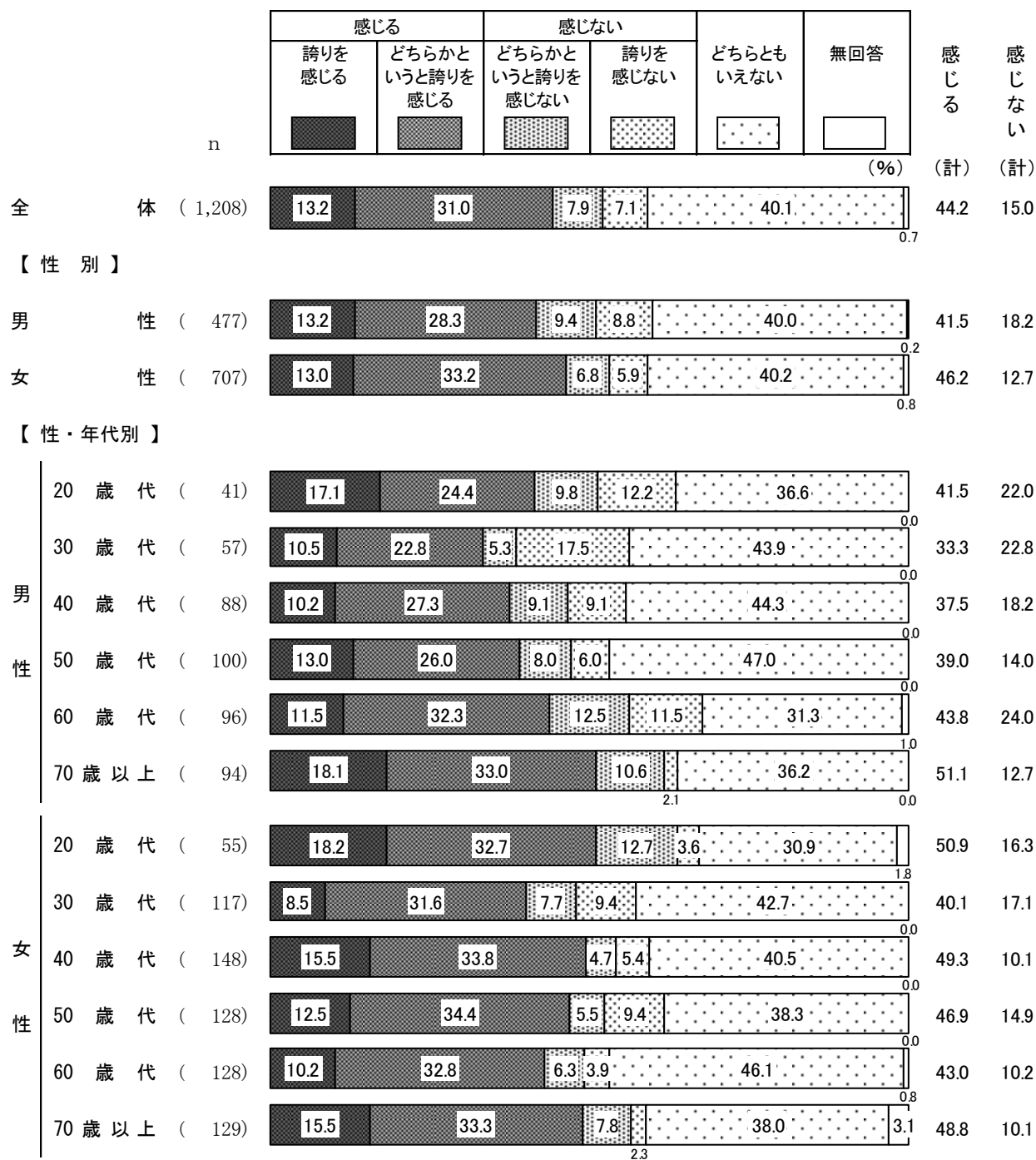
過去の調査と比較すると、誇りを『感じる』は前回調査(平成29年度)から3.1ポイント減少している。(図1-7-2)

図 1-7-3 練馬区に対する誇り一地区別



地区別にみると、地区間で大きな傾向の違いはみられない。(図 1-7-3)

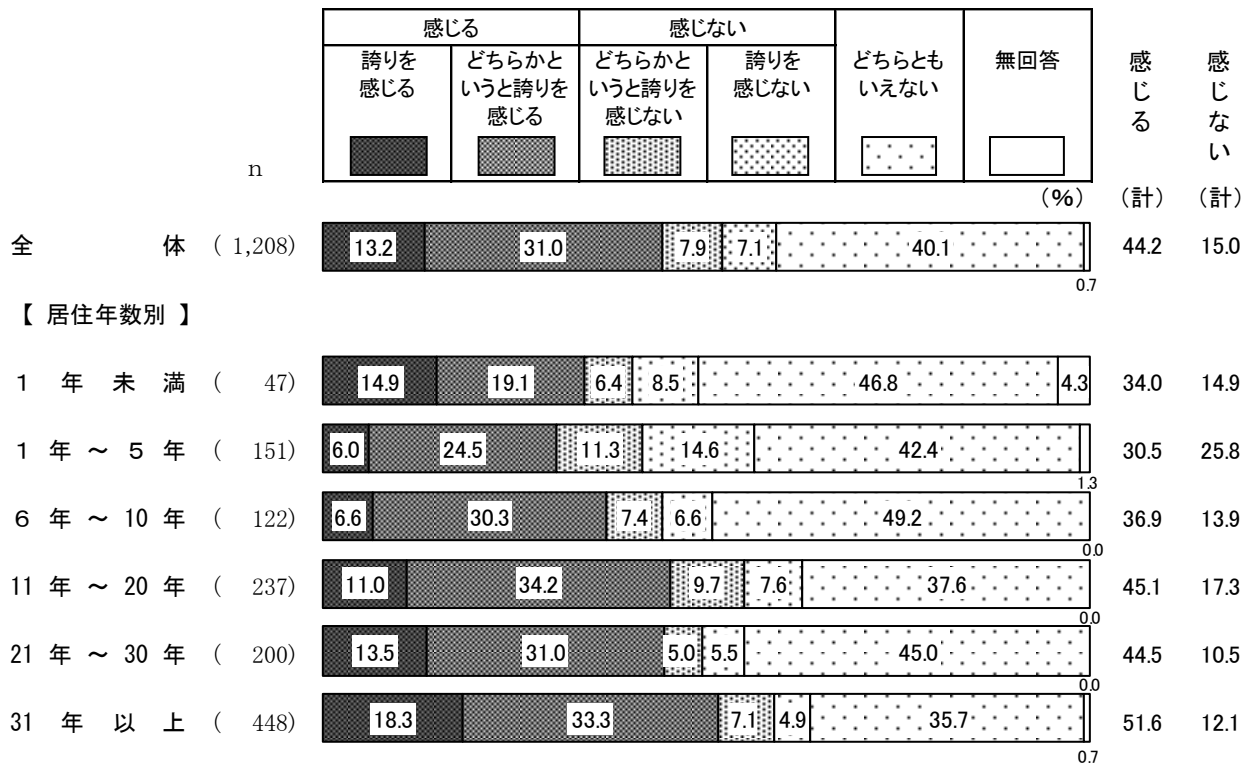
図1-7-4 練馬区に対する誇り—性別、性・年代別



性別にみると、誇りを『感じる』は女性の方が4.7ポイント高く、4割台半ばとなっている。

性・年代別にみると、誇りを『感じる』は男性70歳以上で5割を超え、女性20歳台で約5割と多くなっている。一方、誇りを『感じない』は男性60歳台で2割台半ばとなっている。(図1-7-4)

図 1-7-5 練馬区に対する誇り—居住年数別



居住年数別にみると、誇りを『感じる』は31年以上居住している人で5割を超えて多くなっている。

(図 1-7-5)

(8) 施策の満足度と必要性

- ◇満足度の高い施策は「みどりの保全と創出」が7割台半ば、「健康づくりの推進」が7割を超える
- ◇必要性の高い施策は「医療環境の充実」「災害に強い安全なまちづくり」が9割近く、「交通安全対策」「高齢者福祉」が8割台半ば

<p>問8 練馬区は様々な施策を行っていますが、あなたは、次にあげる施策にどの程度満足していますか。</p> <p>問11 これらの施策に関する今後の必要性について、どのように考えますか。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------

子ども・子育て	1 子育て支援 (保育所・学童クラブの充実、幼稚園の預かり保育、一時預かりや親子で交流できる場の拡充、子育ての相談をしやすい体制の整備など)
	2 学校教育 (学力の定着・向上、教員の質の向上、教育環境の整備、家庭や地域と連携した教育の推進、支援が必要な子どもたちへの取組の充実など)
	3 青少年の健全育成 (子ども向け講座・行事、社会環境の浄化活動、遊び場の確保、青少年館など)
福祉・医療・健康	4 高齢者福祉 (医療・介護等の連携による高齢者の生活支援、高齢者施設の整備、介護予防・介護サービスの充実など)
	5 障害者福祉(生活状況に応じた地域生活支援の強化、家族支援、住まいの確保、就労支援など)
	6 医療環境の充実(病床の確保、病院整備の促進、在宅療養ネットワークの構築など)
	7 地域福祉の推進 (地域における平常時の見守り、災害時の要援護者支援の充実、民生委員による福祉活動など)
	8 健康づくりの推進(健康診査、がん検診、母子保健、健康相談、食育、感染症対策、精神保健など)
	9 生活の安定に向けた自立支援(生活の相談や支援、生活保護など)
都市基盤整備	10 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 (都営大江戸線の延伸、都市計画道路の整備、西武新宿線の立体化、公共交通空白地域の改善など)
	11 災害に強い安全なまちづくり (建築物の耐震化・不燃化、無電柱化、木造住宅密集地域の改善、都市型水害対策の強化など)
	12 地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり(自主的な防災への取組支援、防犯・防火など)
	13 交通安全対策(歩行者空間の確保、自転車対策など)
	14 駅周辺のまちづくり (駅へのアクセス道路、生活利便性の高い駅前空間、良好な景観の形成など)
	15 エネルギー政策の展開 (災害時のエネルギーセキュリティの確保、住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ向けた取組、省エネルギー、地球温暖化防止など)
	16 循環型社会づくり(ごみの減量・リサイクル・環境学習の推進など)
	17 地域環境の保全(騒音などの公害問題、たばこのポイ捨て・歩きたばこ防止など)
	18 住まいの支援(区営住宅の運営、高齢者世帯への住宅支援など)

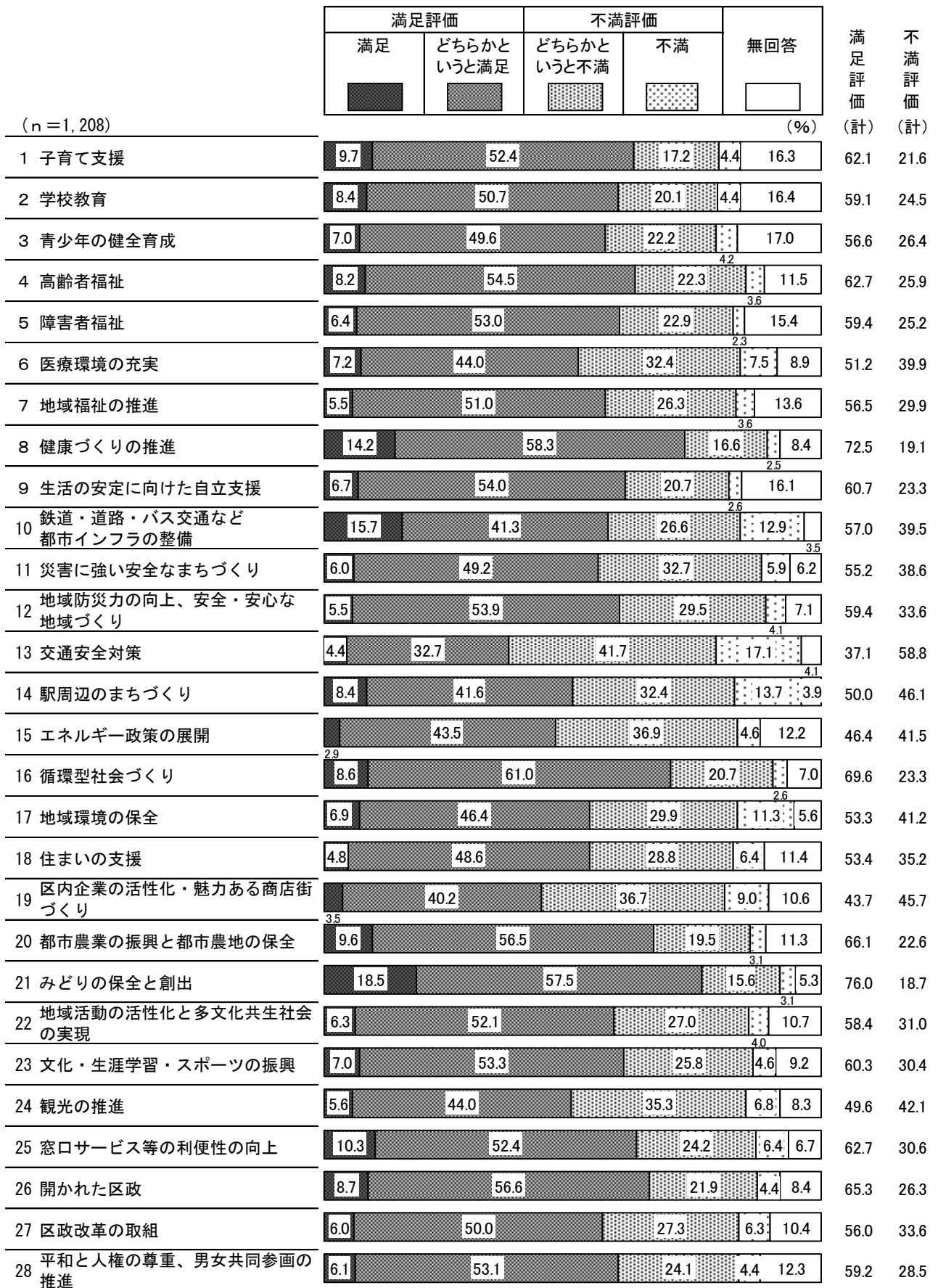
練馬区 の魅力	19 区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり (創業支援、企業活動活性化、個店・商店街支援など)
	20 都市農業の振興と都市農地の保全
	21 みどりの保全と創出 (公園の整備、樹林地の保全、みどりの美しい街並みづくりなど)
	22 地域活動の活性化と多文化共生社会の実現 (町会・自治会等の支援、地域集会施設の運営、国際交流など)
	23 文化・生涯学習・スポーツの振興
	24 観光の推進 (徒歩や自転車によるまち歩き観光、区の魅力・観光情報の発信など)
区政 運営	25 窓口サービス等の利便性の向上 (窓口の受付日や時間の拡充、窓口の効率化、対応の質の向上、ICT(情報通信技術)の活用など)
	26 開かれた区政 (区報やホームページなどの情報発信の充実、区民参加・協働の推進など)
	27 区政改革の取組 (サービスの質の向上や費用対効果、受益と負担のあり方、行政と民間の役割分担等の観点からのサービス・事務の見直しなど)
	28 平和と人権の尊重、男女共同参画の推進 (啓発イベントや講座、女性に対する各種相談の実施、情報誌の発行など)

### 満足度

「満足」および「どちらかという満足」の2項目を合わせた『満足評価』と、「不満」および「どちらかという不満」の2項目を合わせた『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。(図1-8-1)

『満足評価』上位5項目		『不満評価』上位5項目	
①みどりの保全と創出	(76.0%)	①交通安全対策	(58.8%)
②健康づくりの推進	(72.5%)	②駅周辺のまちづくり	(46.1%)
③循環型社会づくり	(69.6%)	③区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	
④都市農業の振興と都市農地の保全	(66.1%)	④観光の推進	(42.1%)
⑤開かれた区政	(65.3%)	⑤エネルギー政策の展開	(41.5%)

図 1-8-1 施策の満足度





## 必要性

「とても必要」および「必要」の2項目を合わせた『必要性が高い評価』と、「どちらかというとも必要」および「あまり必要でない」の2項目を合わせた『必要性が低い評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようにになっている。(図1-8-2)

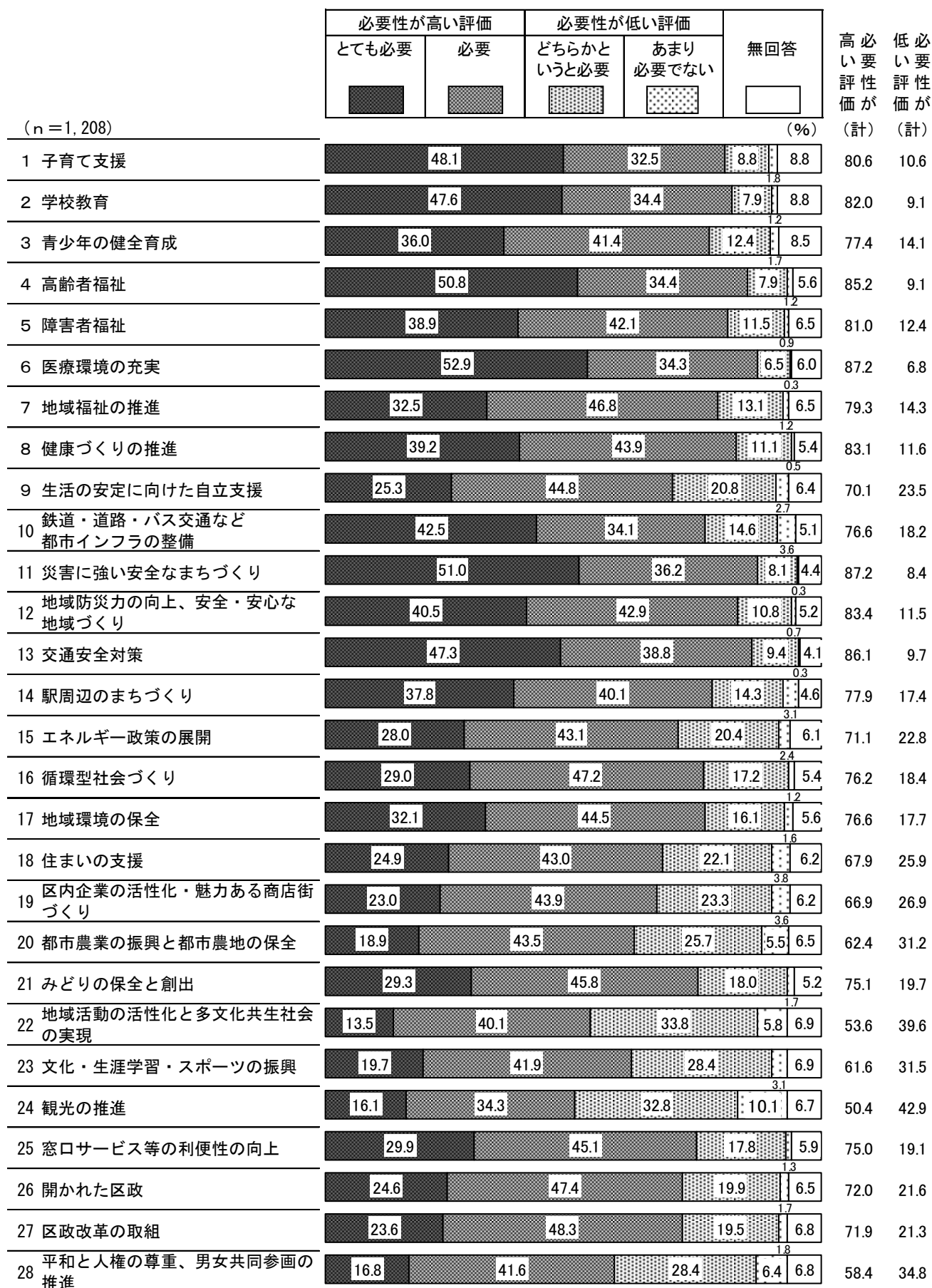
### 『必要性が高い評価』上位5項目

①医療環境の充実	(87.2%)
①災害に強い安全なまちづくり	(87.2%)
③交通安全対策	(86.1%)
④高齢者福祉	(85.2%)
⑤地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり	(83.4%)

### 『必要性が低い評価』上位5項目

①観光の推進	(42.9%)
②地域活動の活性化と多文化共生社会の実現	(39.6%)
③平和と人権の尊重、男女共同参画の推進	(34.8%)
④文化・生涯学習・スポーツの振興	(31.5%)
⑤都市農業の振興と都市農地の保全	(31.2%)

図 1-8-2 施策の必要性



## 加重平均値

満足度と必要性を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{満足度評価点} = \frac{\left\{ \begin{array}{l} (\text{「満足」の回答者数} \times 2) + (\text{「どちらかという満足」の回答者数} \times 1) \\ + (\text{「どちらかという不満」の回答者数} \times -1) + (\text{「不満」の回答者数} \times -2) \end{array} \right\}}{\text{回答者数 (「全体」 - 「無回答」)}}$$

$$\text{必要性評価点} = \frac{\left\{ \begin{array}{l} (\text{「とても必要」の回答者数} \times 2) + (\text{「必要」の回答者数} \times 1) \\ + (\text{「どちらかという必要」の回答者数} \times -1) + (\text{「あまり必要でない」の回答者数} \times -2) \end{array} \right\}}{\text{回答者数 (「全体」 - 「無回答」)}}$$

この計算方法では、評価点は+2.0点～-2.0点の間に分布し、中間点の0.0点を境に、+2.0点に近くなるほど満足度・必要性は高くなり、逆に、-2.0点に近くなるほど満足度・必要性が低くなる。

満足度と必要性の加重平均値の上位5項目と下位5項目は、以下のようになっている。

(表1-8-1)

### 満足度評価点 上位5項目

①みどりの保全と創出	(0.77)
②健康づくりの推進	(0.71)
③循環型社会づくり	(0.56)
③都市農業の振興と都市農地の保全	(0.56)
⑤子育て支援	(0.55)

### 満足度評価点 下位5項目

①交通安全対策	(-0.36)
②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	
	(-0.08)
③駅周辺のまちづくり	(-0.02)
④エネルギー政策の展開	(0.04)
⑤観光の推進	(0.07)

### 必要性評価点 上位5項目

①医療環境の充実	(1.41)
②災害に強い安全なまちづくり	(1.35)
③高齢者福祉	(1.33)
④学校教育	(1.31)
⑤交通安全対策	(1.29)

### 必要性評価点 下位5項目

①観光の推進	(0.15)
②地域活動の活性化と多文化共生社会の実現	
	(0.23)
③平和と人権の尊重、男女共同参画の推進	
	(0.37)
④都市農業の振興と都市農地の保全	(0.48)
⑤文化・生涯学習・スポーツの振興	(0.50)

表1-8-1 施策の満足度と必要性（加重平均値）－地区別

		満足度評価点					必要性評価点				
		区 全 体	I 地 区	II 地 区	III 地 区	IV 地 区	区 全 体	I 地 区	II 地 区	III 地 区	IV 地 区
子ども・子育て	1 子育て支援	0.55	0.45	0.59	0.62	0.55	1.27	1.32	1.23	1.19	1.37
	2 学校教育	0.46	0.49	0.53	0.40	0.44	1.31	1.36	1.25	1.21	1.40
	3 青少年の健全育成	0.40	0.32	0.41	0.42	0.43	1.07	1.14	1.04	0.91	1.18
福祉・医療・健康	4 高齢者福祉	0.47	0.48	0.45	0.50	0.46	1.33	1.27	1.35	1.34	1.36
	5 障害者福祉	0.45	0.45	0.45	0.50	0.40	1.14	1.12	1.11	1.12	1.18
	6 医療環境の充実	0.12	0.14	0.14	0.14	0.08	1.41	1.37	1.38	1.41	1.50
	7 地域福祉の推進	0.33	0.32	0.37	0.28	0.34	1.03	1.03	1.03	0.98	1.05
	8 健康づくりの推進	0.71	0.69	0.75	0.65	0.74	1.16	1.23	1.15	1.09	1.19
	9 生活の安定に向けた自立支援	0.50	0.55	0.49	0.50	0.44	0.74	0.69	0.67	0.75	0.82
都市基盤整理	10 鉄道・道路・バス交通など 都市インフラの整備	0.21	0.68	0.04	-0.32	0.39	1.03	0.79	1.17	1.28	0.89
	11 災害に強い安全なまちづくり	0.18	0.26	0.09	0.10	0.28	1.35	1.36	1.38	1.34	1.35
	12 地域防災力の向上、安全・安心な 地域づくり	0.29	0.32	0.27	0.19	0.38	1.18	1.13	1.21	1.17	1.21
	13 交通安全対策	-0.36	-0.35	-0.38	-0.68	-0.11	1.29	1.20	1.35	1.33	1.25
	14 駅周辺のまちづくり	-0.02	0.17	-0.07	-0.32	0.16	1.00	0.84	1.14	1.00	0.98
	15 エネルギー政策の展開	0.04	0.01	0.05	0.00	0.08	0.79	0.75	0.80	0.87	0.74
	16 循環型社会づくり	0.56	0.50	0.55	0.54	0.67	0.90	0.76	0.90	1.01	0.91
	17 地域環境の保全	0.08	-0.06	0.10	0.14	0.15	0.95	0.89	0.99	0.94	0.95
	18 住まいの支援	0.19	0.13	0.26	0.11	0.23	0.67	0.58	0.69	0.65	0.72
練馬区の魅力	19 区内企業の活性化・魅力ある商店街 づくり	-0.08	-0.09	-0.07	-0.08	-0.07	0.63	0.58	0.75	0.55	0.59
	20 都市農業の振興と都市農地の保全	0.56	0.53	0.54	0.54	0.63	0.48	0.37	0.54	0.52	0.42
	21 みどりの保全と創出	0.77	0.65	0.78	0.65	0.90	0.88	0.78	0.91	0.90	0.87
	22 地域活動の活性化と多文化共生社会 の実現	0.33	0.31	0.38	0.29	0.34	0.23	0.17	0.26	0.20	0.27
	23 文化・生涯学習・スポーツの振興	0.36	0.26	0.39	0.30	0.42	0.50	0.53	0.46	0.55	0.51
	24 観光の推進	0.07	-0.03	0.23	-0.10	0.08	0.15	0.00	0.11	0.14	0.32
区政運営	25 窓口サービス等の利便性の向上	0.39	0.26	0.48	0.39	0.42	0.90	0.92	0.86	0.85	0.96
	26 開かれた区政	0.47	0.50	0.58	0.37	0.45	0.78	0.76	0.78	0.81	0.79
	27 区政改革の取組	0.25	0.26	0.31	0.17	0.26	0.78	0.84	0.76	0.74	0.76
	28 平和と人権の尊重、男女共同参画の 推進	0.37	0.36	0.43	0.28	0.37	0.37	0.42	0.28	0.34	0.44

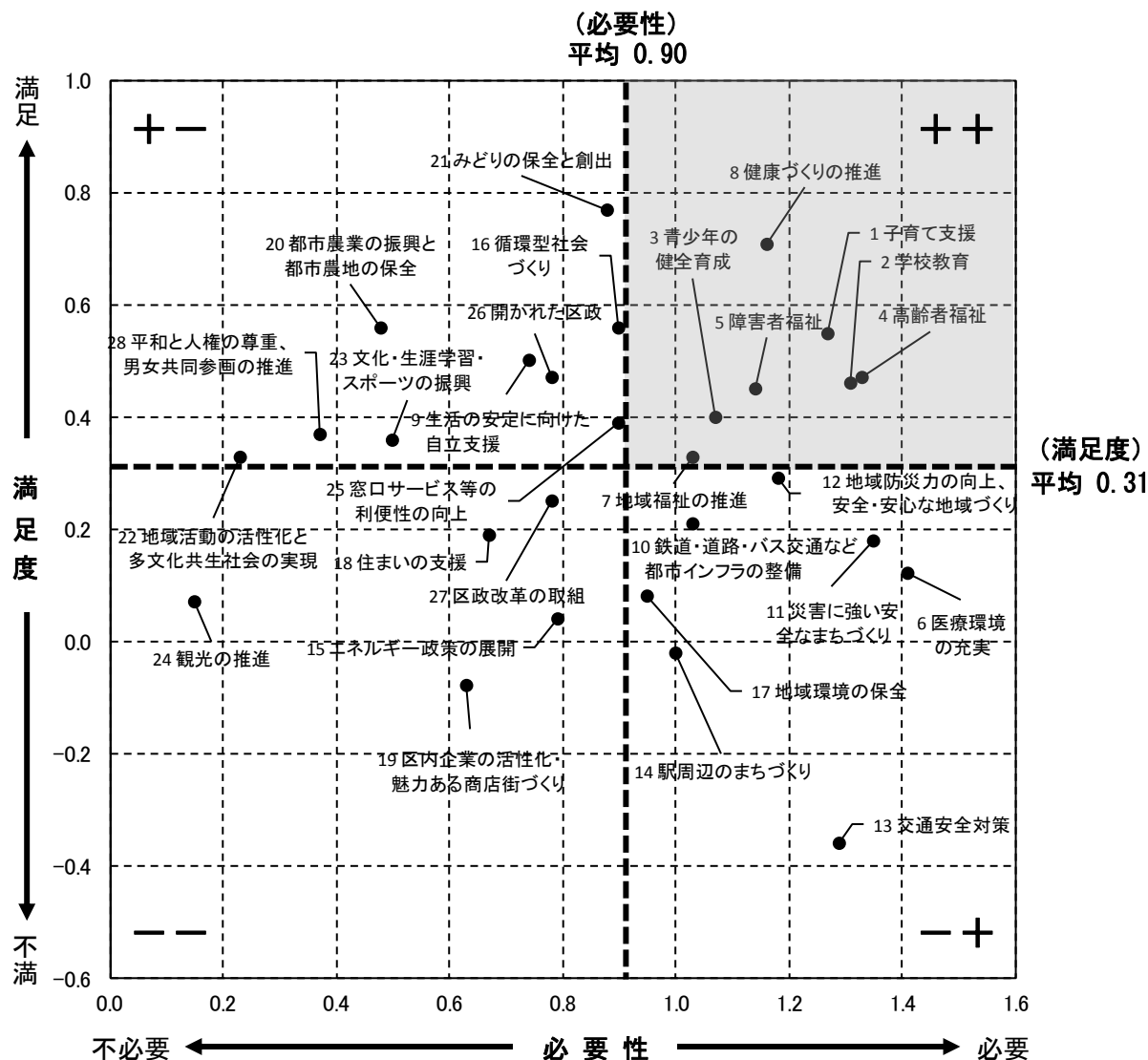
## 満足度と必要性の相関

満足度と必要性の相関を加重平均値でみると、下の図1-8-3のようになっている。

この相関図では、●の点が上に行くほど満足度が高く、右に行くほど必要性が高くなる。

さらに、満足度の平均（0.31点）および必要性の平均（0.90点）を相関図上に点線を引いて4つに分割し、平均より上位であるか下位であるかが明確になるように示した。

図1-8-3 施策の満足度と必要性（加重平均値）の相関



これによると、満足度も必要性も高い（++：網かけ部分）のは、「健康づくりの推進」「子育て支援」「学校教育」「高齢者福祉」「障害者福祉」などである。

満足度が高いが必要性が低い（+-）のは、「都市農業の振興と都市農地の保全」「平和と人権の尊重、男女共同参画の推進」「文化・生涯学習・スポーツの振興」などである。

満足度が低いが必要性が高い（-+）のは、「交通安全対策」「医療環境の充実」「災害に強い安全なまちづくり」「駅周辺のまちづくり」「地域環境の保全」である。

満足度も必要性も低い（--）のは、「観光の推進」「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」「エネルギー政策の展開」などである。（図1-8-3）

# 満足度の区全体と地区別比較

## 【I地区（〒176）】

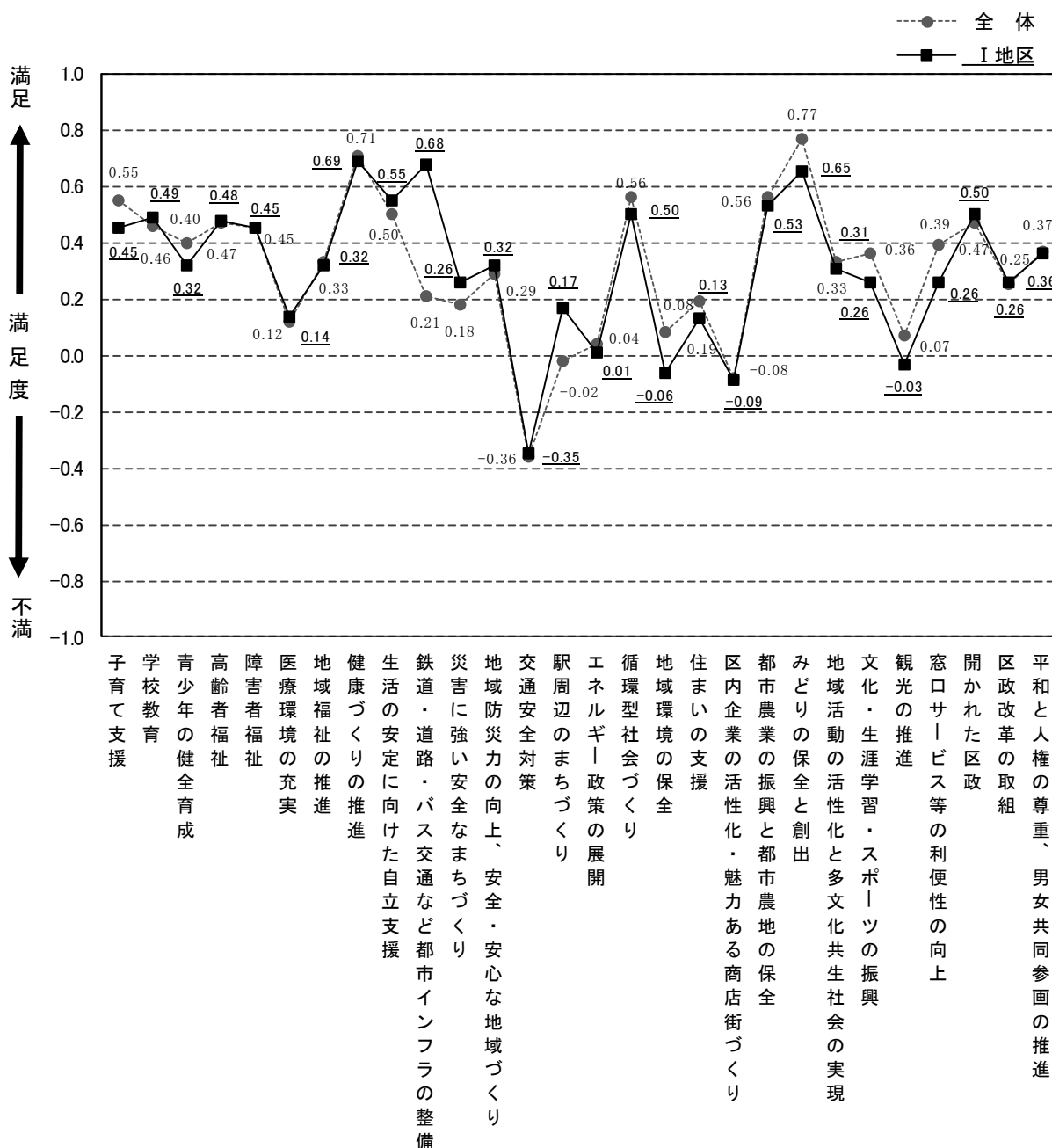
全体と比較して満足度が高いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(+0.47点)、「駅周辺のまちづくり」(+0.19点)、「災害に強い安全なまちづくり」(+0.08点)などである。

満足度が低いのは「地域環境の保全」(-0.14点)、「窓口サービス等の利便性の向上」(-0.13点)、「みどりの保全と創出」(-0.12点)などである。

(図1-8-4)



図1-8-4 施策の満足度—I地区



【Ⅱ地区（〒177）】

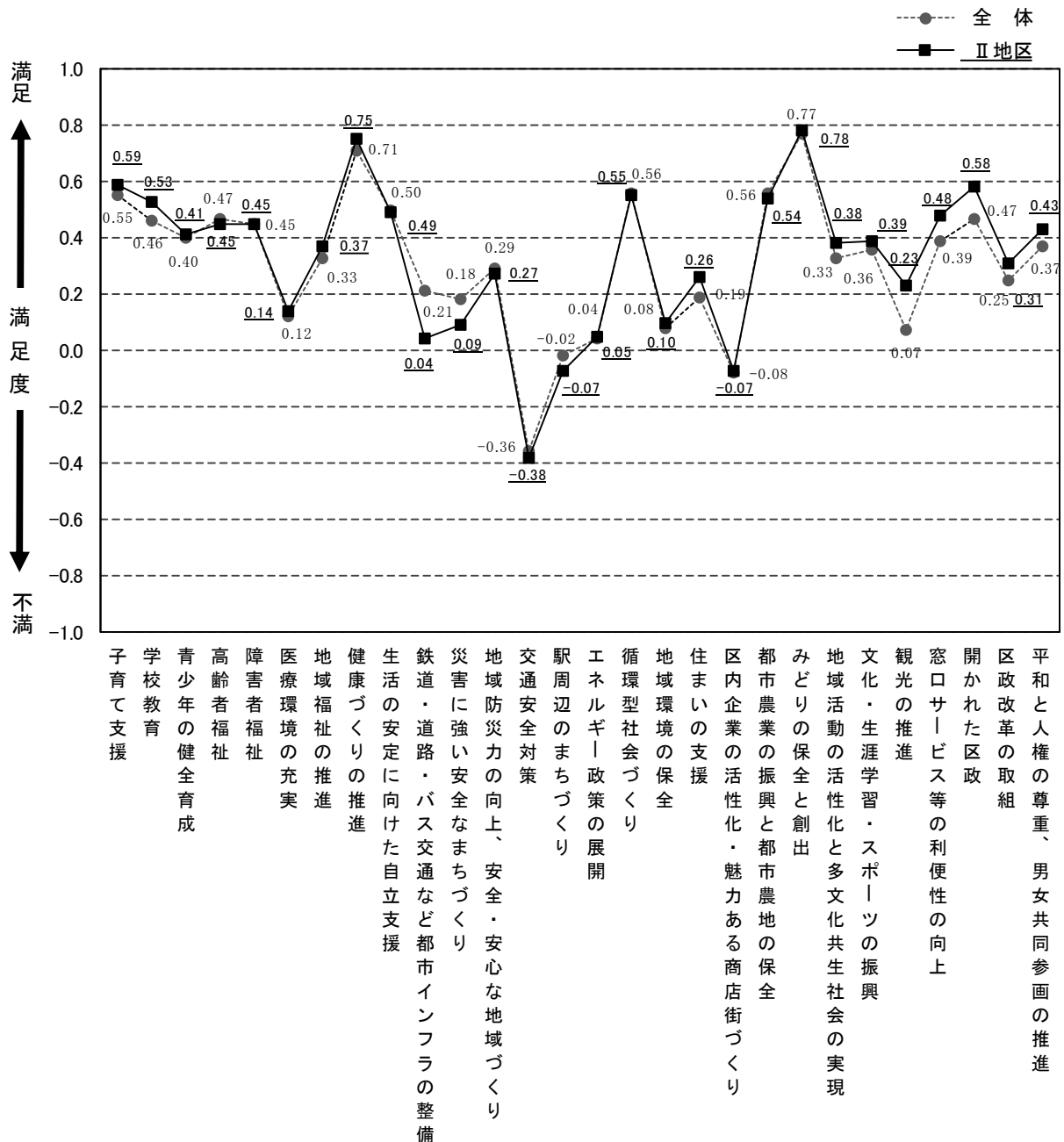
全体と比較して満足度が高いのは「観光の推進」(+0.16点)、「開かれた区政」(+0.11点)、「窓口サービス等の利便性の向上」(+0.09点)などである。

満足度が低いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(-0.17点)、「災害に強い安全なまちづくり」(-0.09点)などである。



(図1-8-5)

図1-8-5 施策の満足度－Ⅱ地区



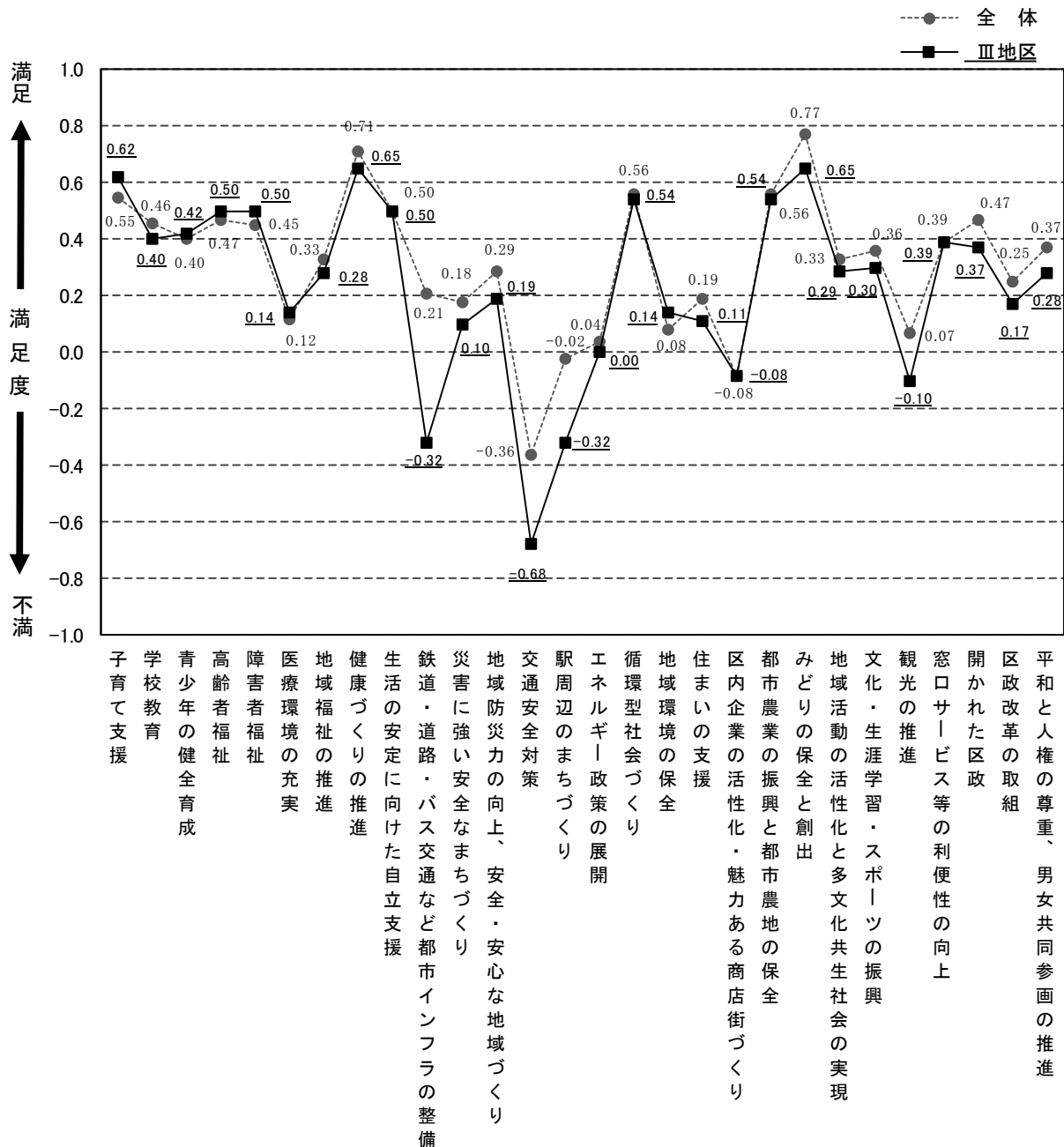
【Ⅲ地区（〒178）】

全体と比較して満足度が高いのは「子育て支援」（+0.07点）、「地域環境の保全」（+0.06点）、「障害者福祉」（+0.05点）などである。

満足度が低いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（-0.53点）、「交通安全対策」（-0.32点）、「駅周辺のまちづくり」（-0.30点）、「観光の推進」（-0.17点）、「みどりの保全と創出」（-0.12点）などである。（図1-8-6）



図1-8-6 施策の満足度－Ⅲ地区





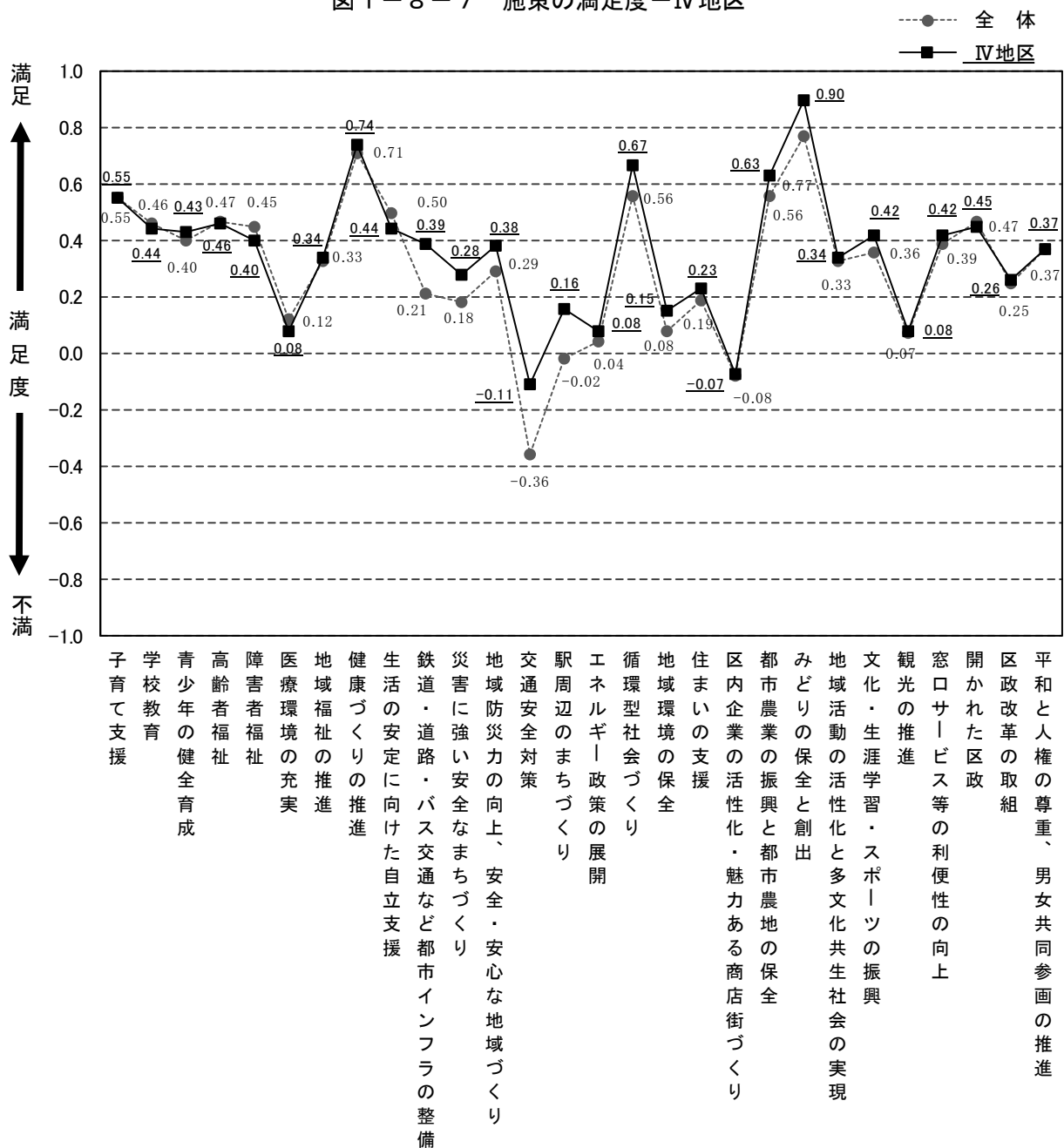
【IV地区（〒179）】

全体と比較して満足度が高いのは「駅周辺のまちづくり」「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（ともに+0.18点）、「みどりの保全と創出」（+0.13点）などである。

満足度が低いのは「生活の安定に向けた自立支援」（-0.06点）、「障害者福祉」（-0.05点）、「医療環境の充実」（-0.04点）などである。（図1-8-7）



図1-8-7 施策の満足度-IV地区

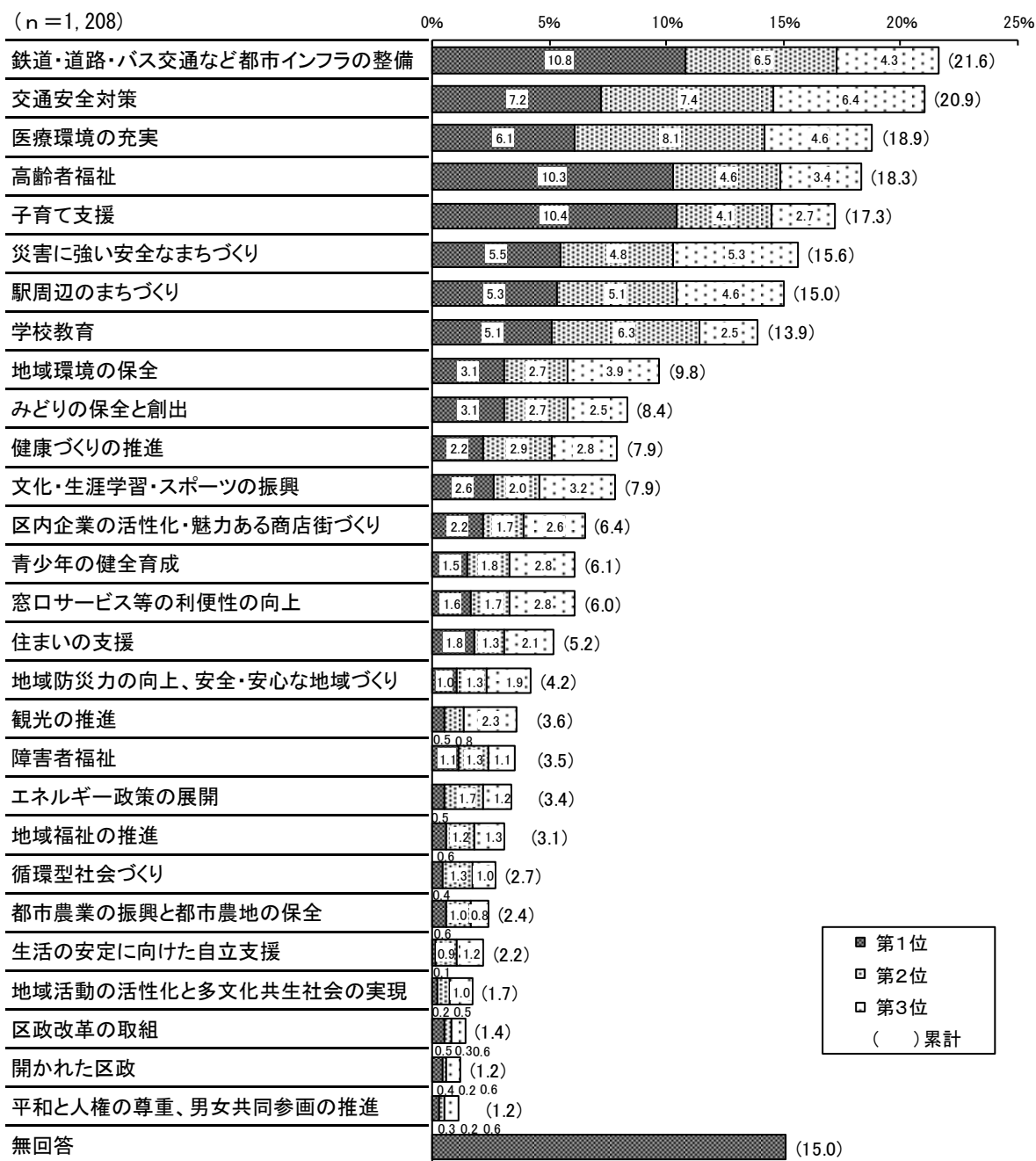


(9) 施策への要望

◇「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」「交通安全対策」が2割台前半

問9 練馬区の施策（問8の1～28）の中で、あなたが特に力を入れてほしいと思うものを、第1位、第2位、第3位と順位をつけて、記入してください。

図1-9-1 施策への要望



特に力を入れてほしい施策を第1位から第3位まで挙げてもらった。その3つの累計をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(21.6%)が2割を超えて最も多く、次いで「交通安全対策」(20.9%)、「医療環境の充実」(18.9%)、「高齢者福祉」(18.3%)、「子育て支援」(17.3%)などの順になっている。(図1-9-1)

表 1-9-1 施策への要望一過年度比較

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
平成30年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	医療環境の充実	高齢者福祉	子育て支援
平成29年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	子育て支援	高齢者福祉	医療環境の充実
平成28年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	駅周辺のまちづくり
平成27年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	高齢者福祉	交通安全対策	子育て支援	医療環境の充実
平成26年度	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	医療体制の確立	道路や公共交通の整備
平成25年度	医療体制の確立	高齢者福祉	防犯・防火・防災	交通安全対策	子育て支援
平成24年度	防犯・防火・防災	交通安全対策	災害に強く生活しやすいまちづくり	子育て支援	医療体制の確立
平成23年度	子育て支援	防犯・防火・防災	災害に強く生活しやすいまちづくり	医療体制の確立	高齢者福祉
平成22年度	医療体制の確立	高齢者福祉	子育て支援	交通安全対策	防犯・防火・防災
平成21年度	高齢者福祉	子育て支援	防犯・防火・防災	交通安全対策	生活しやすいまちづくり

過去の調査と比較すると、注1「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が4年連続第1位となっている。また、第5位までの項目は前回調査（平成29年度）と同様となっている。（表1-9-1）

注1) 「医療環境の充実」は平成26年度までは「医療体制の確立」としていた。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は平成26年度までは「道路や公共交通（鉄道やバスなど）の整備」としていた。

「災害に強い安全なまちづくり」は平成26年度までは「災害に強く生活しやすいまちづくり」としていた。

表 1-9-2 施策への要望—地区別、性別、性・年代別

		(%)			
		AA (50%以上)	A (40~50%未満)	B (30~40%未満)	C (20~30%未満)
全 体					・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 21.6 ・ 交通安全対策 20.9
地区別	I 地区 ( 千 176)				
	II 地区 ( 千 177)				・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 24.9 ・ 交通安全対策 20.5 ・ 高齢者福祉 20.3
	III 地区 ( 千 178)			・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 32.5	・ 交通安全対策 26.3 ・ 医療環境の充実 20.2
	IV 地区 ( 千 179)				・ 子育て支援 24.0 ・ 高齢者福祉 20.6 ・ 交通安全対策 20.0
性別	男 性				・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 26.2 ・ 交通安全対策 22.6
	女 性				・ 子育て支援 20.1
性・年代別	男	20 歳 代		・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 31.7	・ 子育て支援 26.8 ・ 交通安全対策 26.8
		30 歳 代		・ 子育て支援 36.8 ・ 駅周辺のまちづくり 33.3	・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 29.8 ・ 交通安全対策 24.6
		40 歳 代		・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 33.0	・ 交通安全対策 26.1 ・ 学校教育 25.0
		50 歳 代		・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 32.0	・ 医療環境の充実 27.0 ・ 高齢者福祉 25.0 ・ 交通安全対策 23.0 ・ 駅周辺のまちづくり 20.0
		60 歳 代		・ 高齢者福祉 30.2	・ 医療環境の充実 25.0 ・ 交通安全対策 22.9
		70歳以上			・ 医療環境の充実 28.7 ・ 高齢者福祉 25.5
		20 歳 代		・ 子育て支援 36.4	・ 学校教育 23.6 ・ 災害に強い安全なまちづくり 20.0
	女	30 歳 代	・ 子育て支援 47.9		・ 学校教育 23.9 ・ 交通安全対策 22.2
		40 歳 代			・ 交通安全対策 26.4 ・ 災害に強い安全なまちづくり 25.0 ・ 学校教育 23.6 ・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 21.6 ・ 駅周辺のまちづくり 20.9
		50 歳 代			・ 医療環境の充実 29.7 ・ 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 21.9 ・ 高齢者福祉 20.3
		60 歳 代			・ 高齢者福祉 21.1 ・ 医療環境の充実 20.3
		70歳以上			・ 高齢者福祉 27.9 ・ 医療環境の充実 22.5

次に、要望の大きさを、比率に応じてAA（50%以上）、A（40～50%未満）、B（30～40%未満）、C（20～30%未満）の4つのランクに分けて、地区別、性別、性・年代別に分類した。その結果が表1-9-2である。

地区別にみると、各地区ともにAAランク、Aランクに入る施策はない。

Bランク以下をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」はⅢ地区（〒178）でBランク、Ⅱ地区（〒177）でCランクになっている。

性別にみると、男女ともにAAランク、Aランク、Bランクに入る施策はない。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」「交通安全対策」は男性でCランク、「子育て支援」は女性でCランクになっている。

性・年代別にみると、「子育て支援」は女性30歳代でAランク、男性30歳代と女性20歳代でBランクになっている。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は男性20歳代と40歳代と50歳代でBランクになっている。

「駅周辺のまちづくり」は男性30歳代でBランクになっている。

「高齢者福祉」は男性60歳代でBランクになっている。

「交通安全対策」は男性60歳代以下の年代、女性30歳代と40歳代でCランクになっている。

「学校教育」は男性40歳代、女性20歳代と30歳代と40歳代でCランクになっている。

「医療環境の充実」は男女ともに50歳代から70歳以上の年代でCランクになっている。

「災害に強い安全なまちづくり」は女性20歳代と40歳代でCランクになっている。（表1-9-2）

### 施策への要望（住みよい—満足度評価）

練馬区の住みごころ（問2・57ページ参照）の評価は、28項目の施策の満足度（問8・82～84ページ参照）および施策への要望（問9・94ページ参照）とどのような関係があるのかをみる。

練馬区が「住みよい」と答えた方（432人）の施策の満足度（問8）をみると、「満足」および「どちらかという満足」の2項目を合わせた『満足評価』と、「不満」および「どちらかという不満」の2項目を合わせた『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。（図1-9-2）

『満足評価』上位5項目		『不満評価』上位5項目	
①みどりの保全と創出	(83.1%)	①交通安全対策	(46.8%)
②健康づくりの推進	(80.8%)	②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	(38.2%)
③循環型社会づくり	(78.7%)	③エネルギー政策の展開	(34.0%)
④開かれた区政	(75.2%)	④駅周辺のまちづくり	(32.8%)
⑤高齢者福祉	(73.4%)	⑤地域環境の保全	(32.6%)

図1-9-2 練馬区の住みごちが「住みよい」と答えた人の施策への満足度

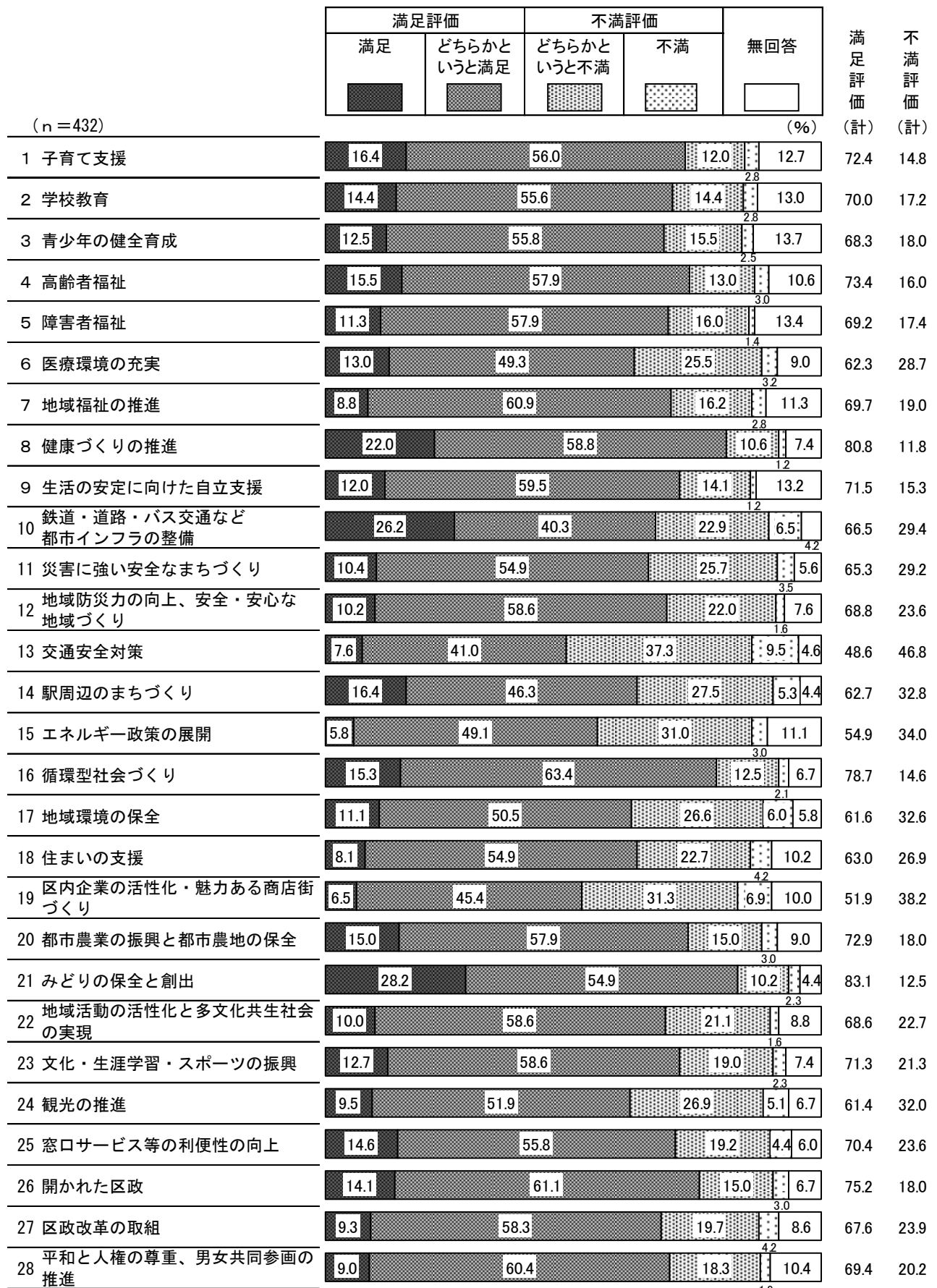
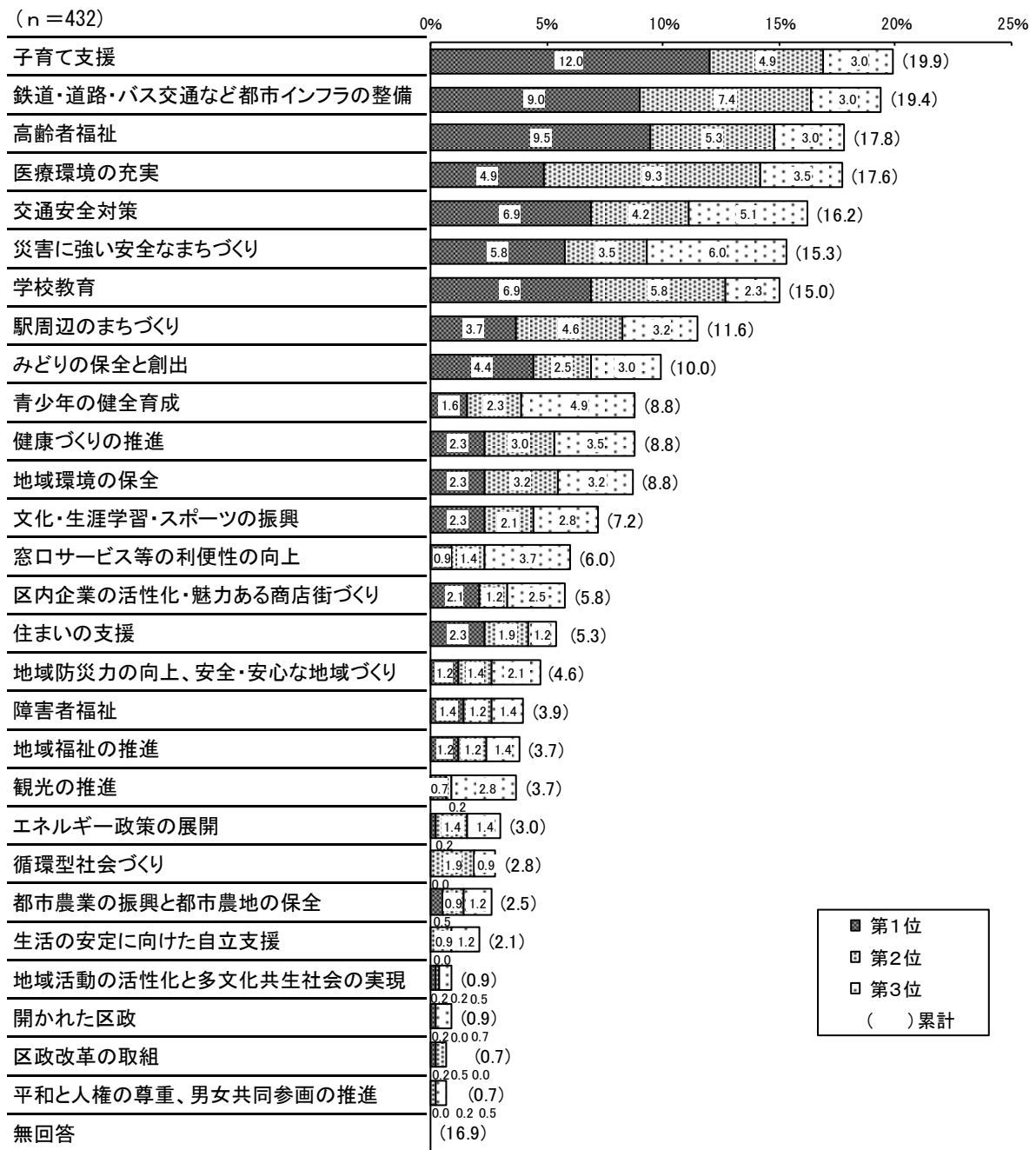


図 1-9-3 練馬区の住みごこちが「住みよい」と答えた人の施策への要望



練馬区が「住みよい」と答えた方（432人）の施策への要望（問9）をみると、第1位から第3位までの累計は、「子育て支援」（19.9%）、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（19.4%）が約2割で多く、次いで「高齢者福祉」（17.8%）、「医療環境の充実」（17.6%）、「交通安全対策」（16.2%）などの順になっている。（図1-9-3）



### 施策への要望（住みにくい—満足度評価）

次に、練馬区が「あまり住みよくない」または「住みにくい」と答えた方（58人）の施策の満足度（問8）をみると、『満足評価』と『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。

（図1-9-4）

『満足評価』上位5項目	『不満評価』上位5項目
①循環型社会づくり (53.5%)	①交通安全対策 (81.1%)
②みどりの保全と創出 (53.4%)	②駅周辺のまちづくり (79.3%)
③健康づくりの推進 (50.0%)	③災害に強い安全なまちづくり (69.0%)
④都市農業の振興と都市農地の保全 (48.3%)	④鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 (67.2%)
④文化・生涯学習・スポーツの振興 (48.3%)	⑤エネルギー政策の展開 (60.4%)

図 1-9-4 練馬区の住みごこちが「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた人の施策への満足度

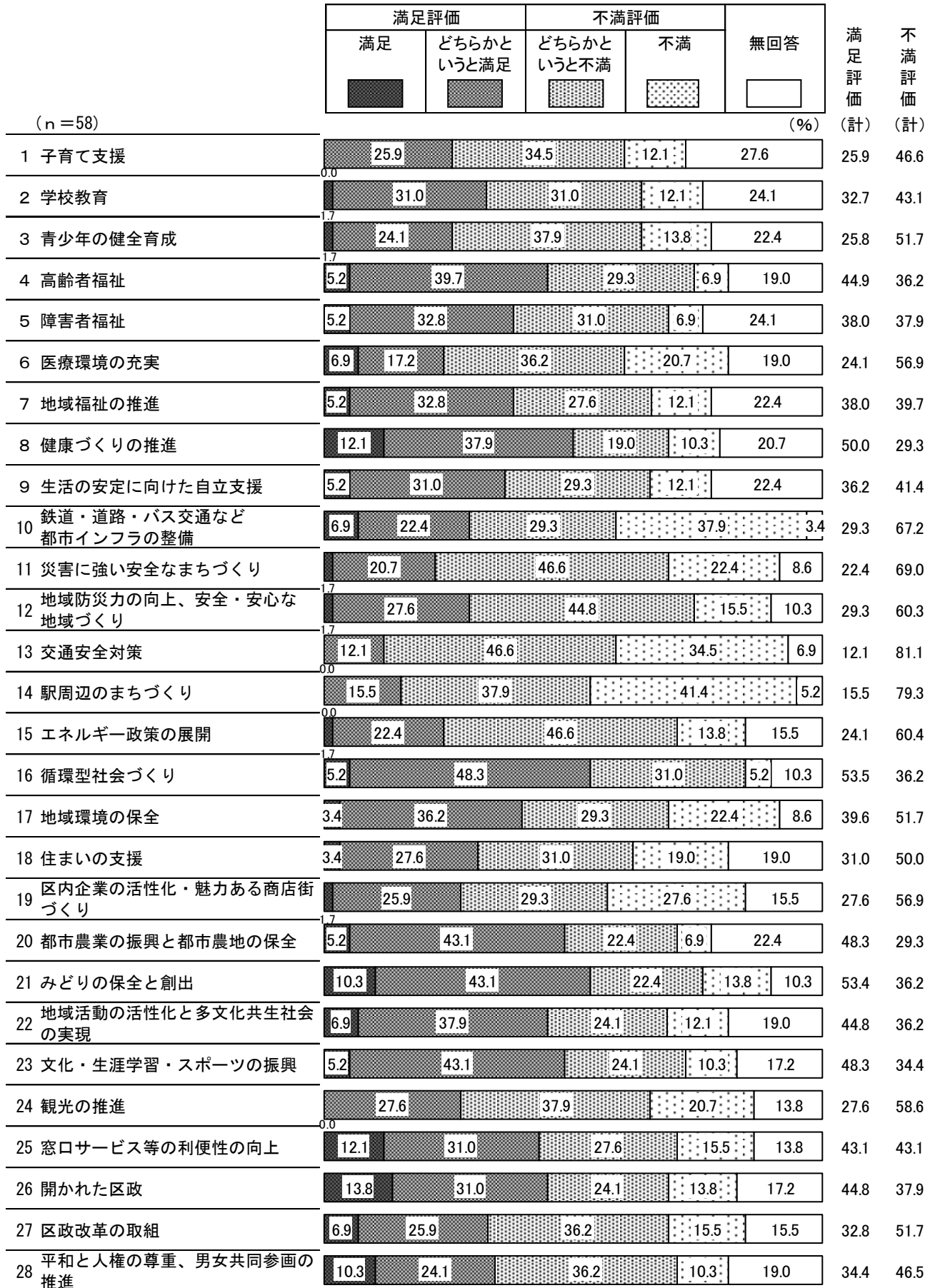
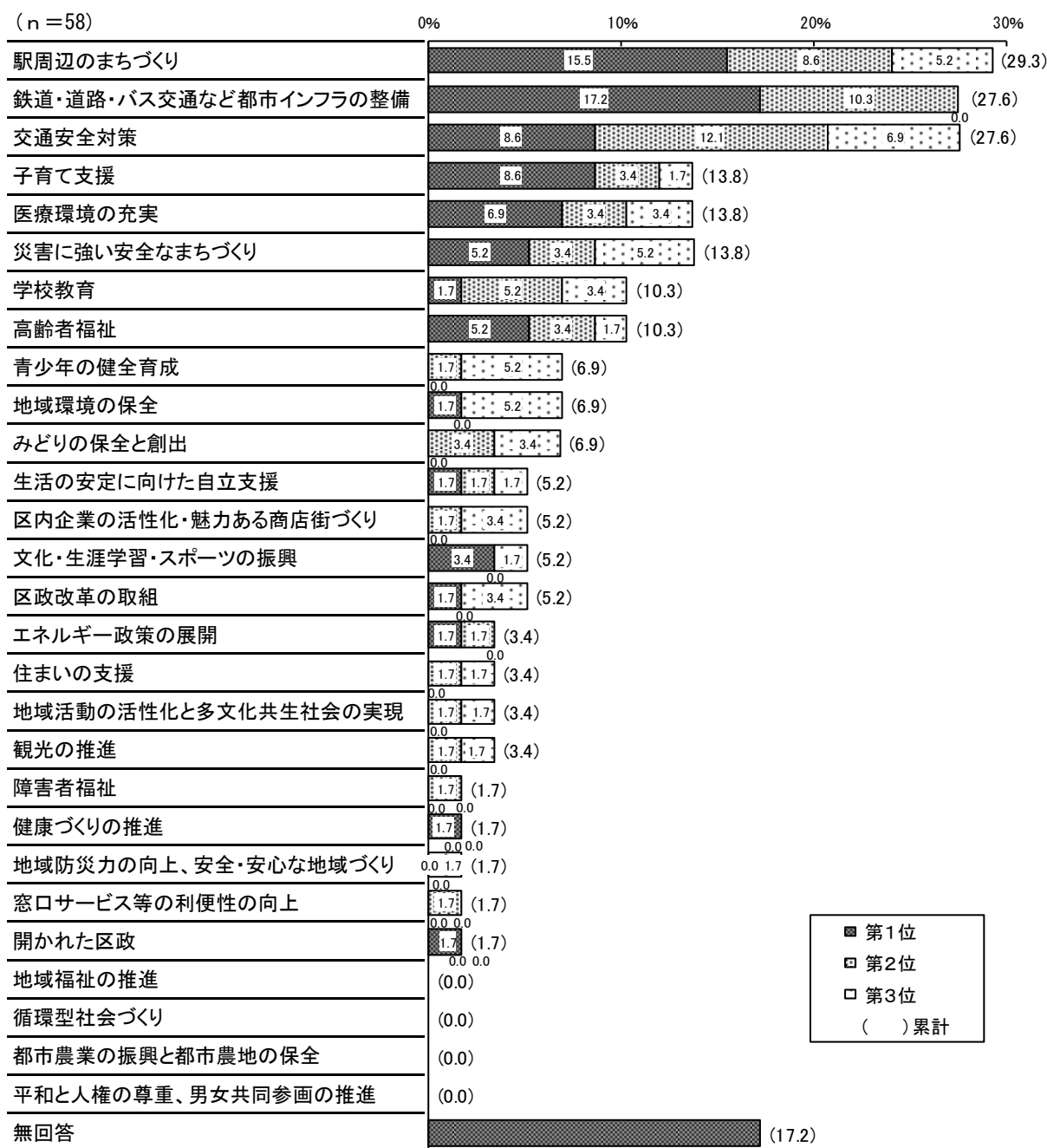


図1-9-5 練馬区の住みごこちが「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた人の施策への要望



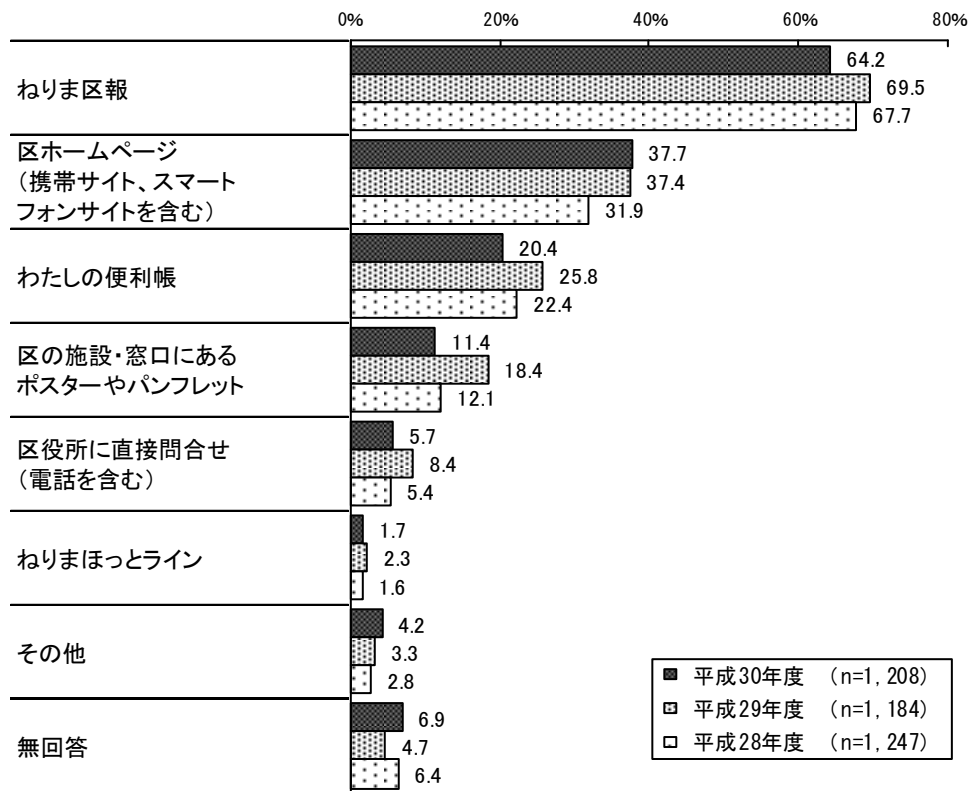
練馬区が「あまり住みよくない」または「住みにくい」と答えた方（58人）の施策への要望（問9）をみると、第1位から第3位までの累計は、「駅周辺のまちづくり」（29.3%）が約3割で最も多く、次いで「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」、「交通安全対策」（ともに27.6%）が3割近く、「子育て支援」、「医療環境の充実」、「災害に強い安全なまちづくり」（ともに13.8%）などの順になっている。（図1-9-5）

(10) 区政情報の入手先

◇「ねりま区報」が6割台半ば

問13 あなたは、区政の情報を主に何から入手していますか。(〇は2つまで)

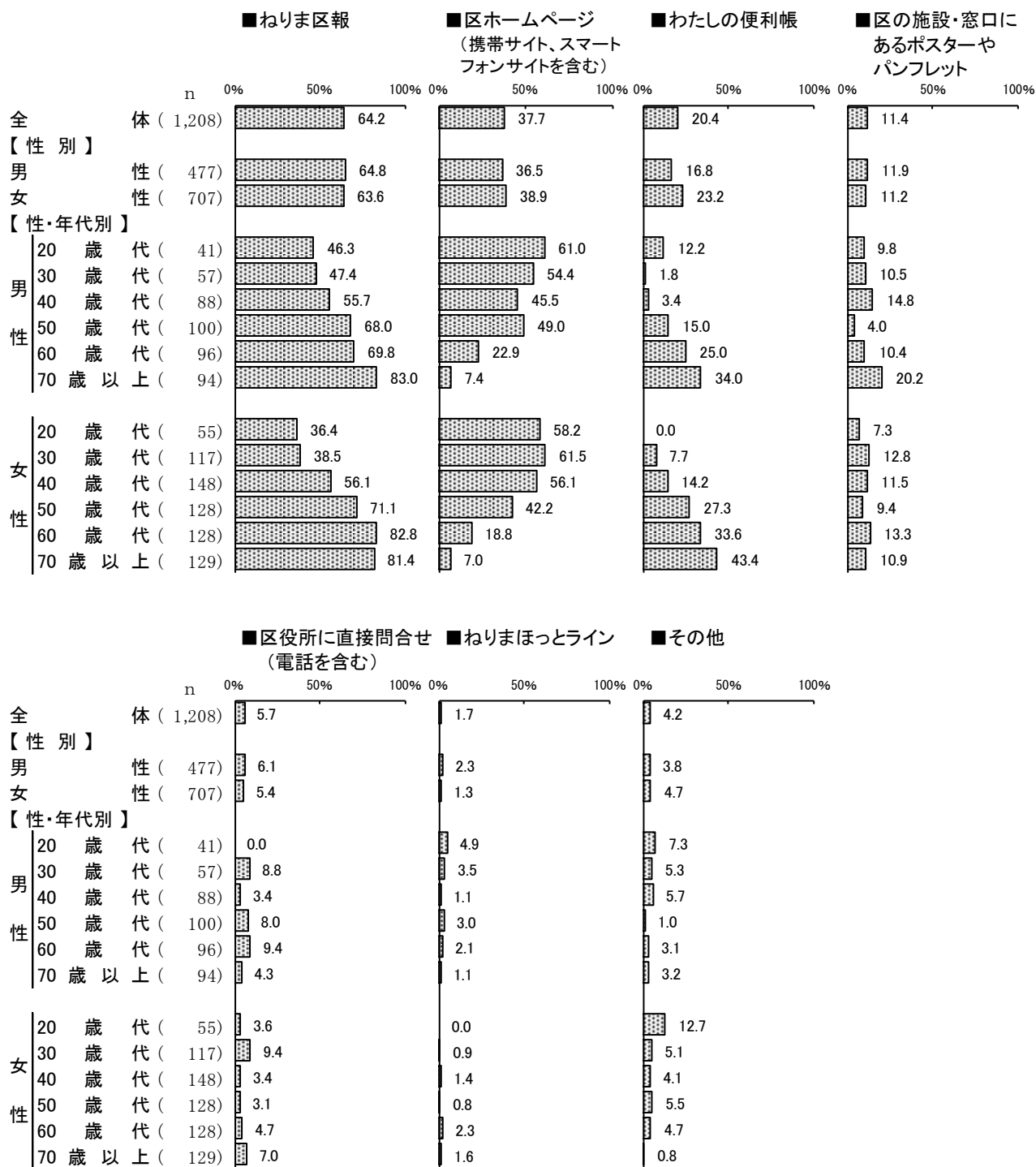
図1-10-1 区政情報の入手先



区政の情報を主に何から入手しているか聞いたところ、「ねりま区報」(64.2%)が6割台半ばで最も多く、次いで「区ホームページ(携帯サイト、スマートフォンサイトを含む)」(37.7%)、「わたしの便利帳」(20.4%)、「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」(11.4%)などの順になっている。

過去の調査と比較すると、「わたしの便利帳」は前回調査(平成29年度)より5.4ポイント減少している。また、「ねりま区報」「わたしの便利帳」「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」「区役所に直接問合せ(電話を含む)」「ねりまほっとライン」はいずれも前回調査(平成29年度)より減少している。(図1-10-1)

図 1-10-2 区政情報の入手先—性別、性・年代別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

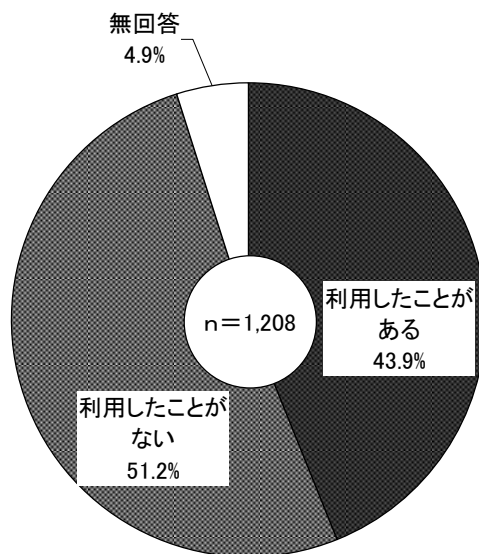
性・年代別にみると、「ねりま区報」は男性70歳以上、女性60歳代・70歳以上で8割を超えており、男女ともに概ね年代が上がるほど割合が多くなっている。「区ホームページ」は男性20歳代、女性30歳代で6割を超えており、男女ともに概ね年代が下がるほど割合が多くなっている。(図 1-10-2)

(11) 「わたしの便利帳」の利用の有無

◇ 「利用したことがない」が5割を超えている

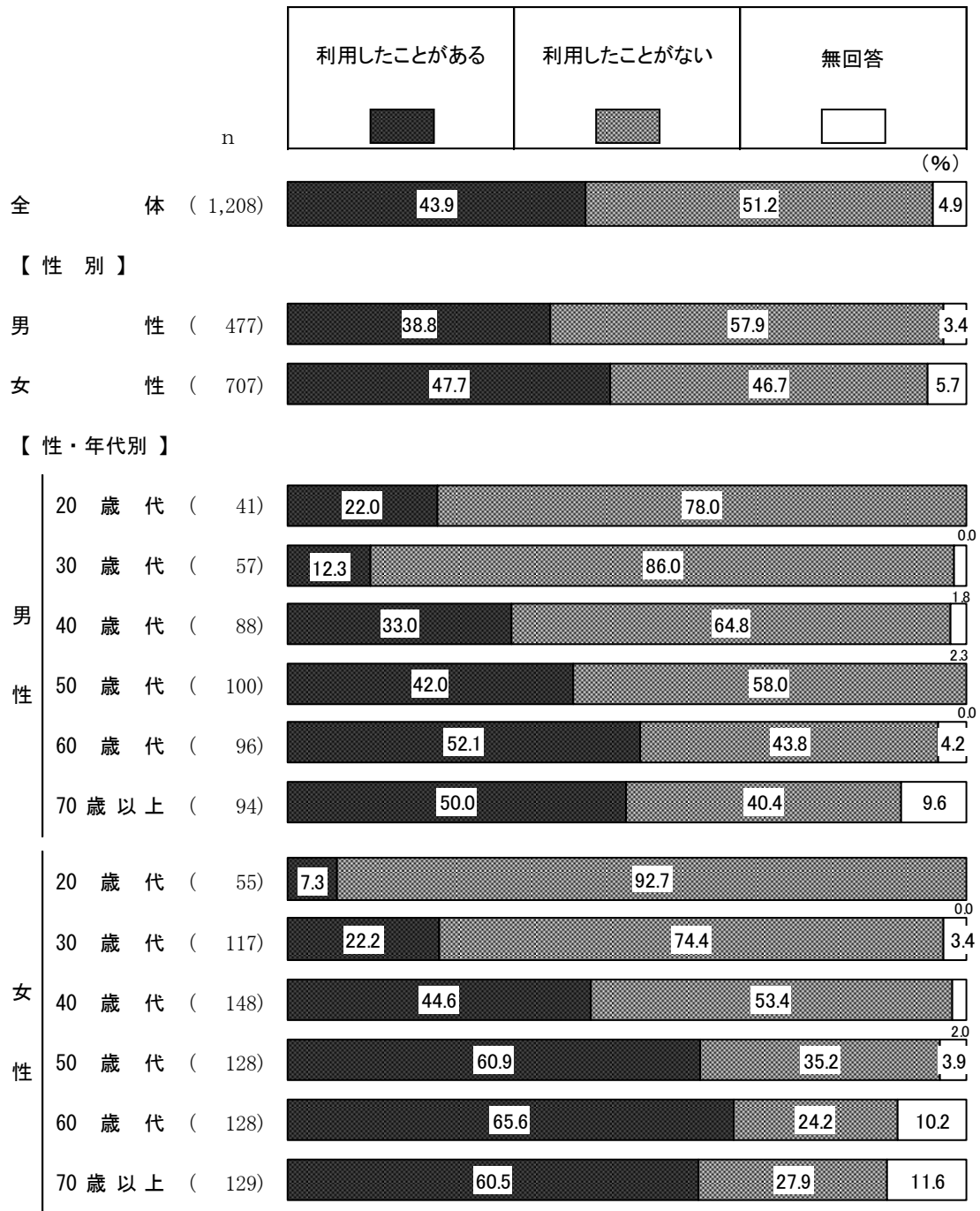
問14 あなたは、「わたしの便利帳」を利用したことがありますか。

図1-11-1 「わたしの便利帳」の利用の有無



「わたしの便利帳」を利用しているか聞いたところ、「利用したことがない」(51.2%)が5割を超えている。(図1-11-1)

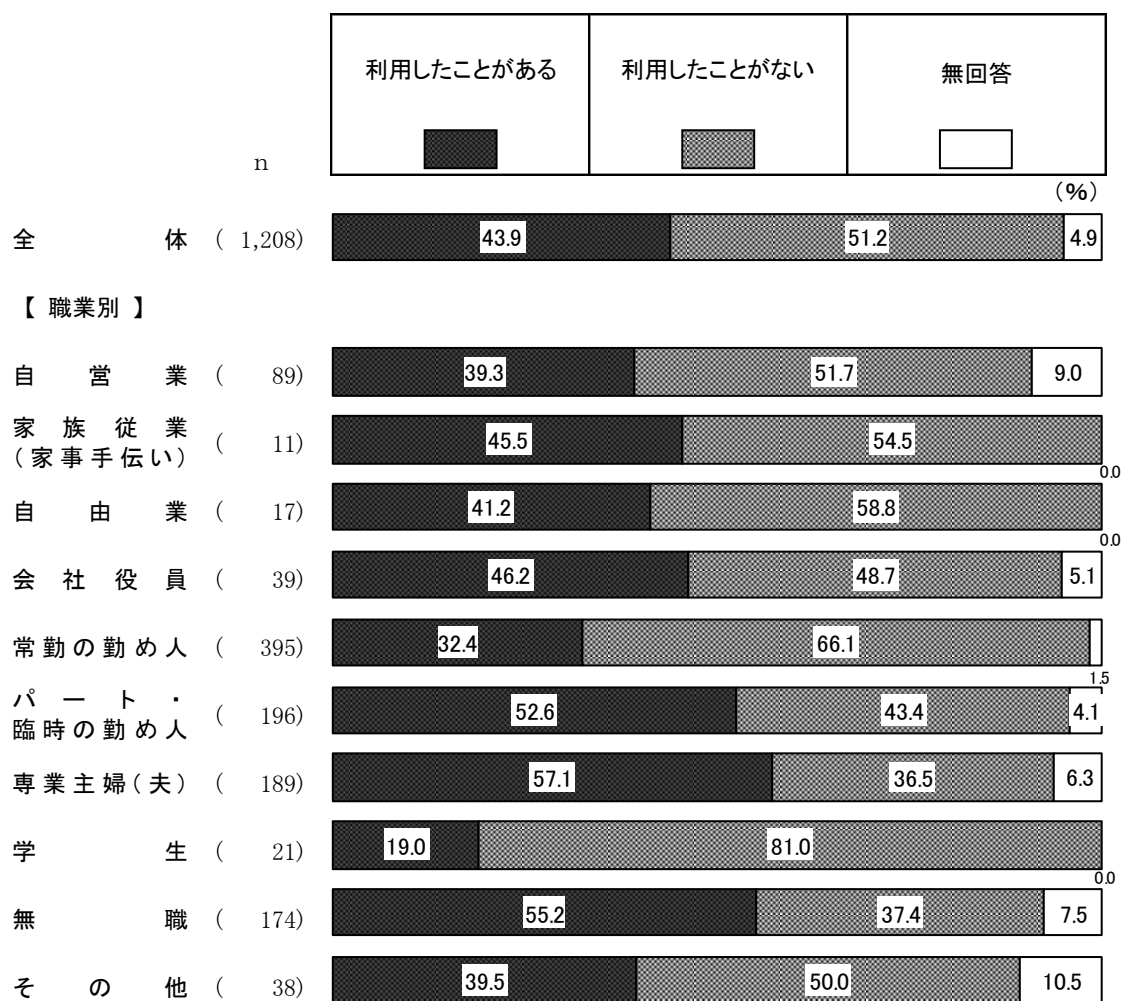
図 1-11-2 「わたしの便利帳」の利用の有無－性別、性・年代別



性別にみると、「利用したことがある」は女性の方が8.9ポイント高く、5割近くとなっている。

性・年代別にみると、「利用したことがある」は女性50歳代以上で6割台となっている。「利用したことがない」は女性20歳代で9割を超えて多くなっている。(図1-11-2)

図 1-11-3 「わたしの便利帳」の利用の有無—職業別



職業別にみると、「利用したことがある」は専業主婦（夫）で6割近く、無職で5割台半ばと多くなっている。一方、「利用したことがない」は常勤の勤め人で6割台半ばとなっている。（図 1-11-3）



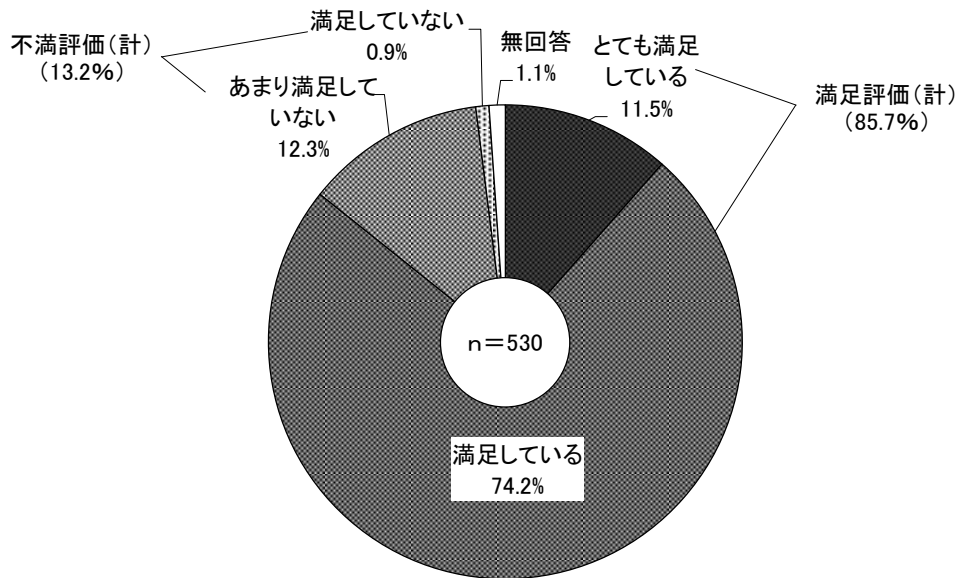
(11-1) 「わたしの便利帳」の満足度

◇『満足評価』が8割台半ば

(問14で「利用したことがある」と答えた方へ)

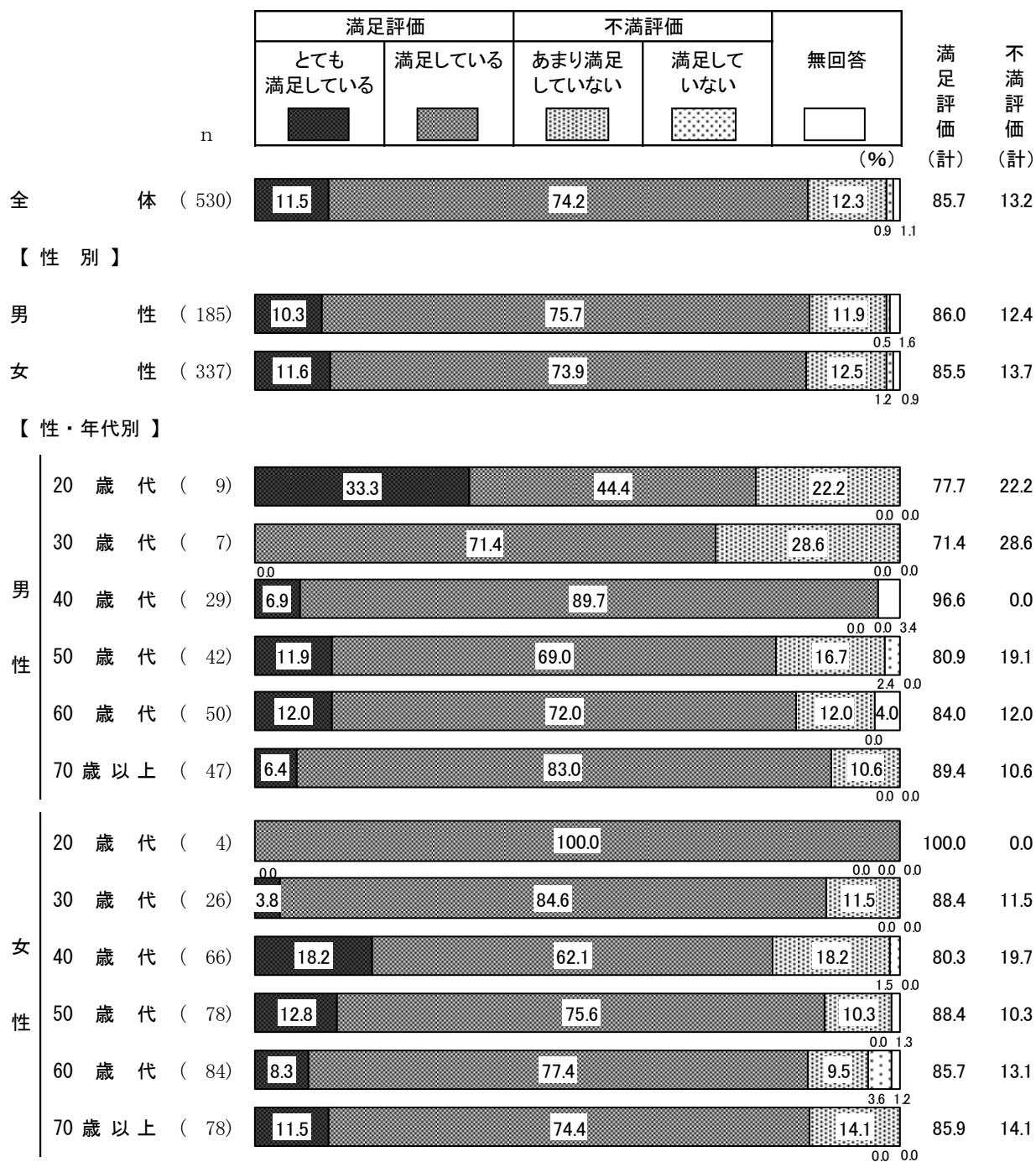
問14-1 あなたは、「わたしの便利帳」にどの程度満足していますか。

図1-11-4 「わたしの便利帳」の満足度



「わたしの便利帳」を「利用したことがある」と答えた方(530人)に、どの程度満足しているか聞いたところ、「とても満足している」(11.5%)と「満足している」(74.2%)を合わせた『満足評価』(85.7%)が8割台半ばとなっている。一方、「あまり満足していない」(12.3%)と「満足していない」(0.9%)を合わせた『不満評価』(13.2%)は1割を超えている。(図1-11-4)

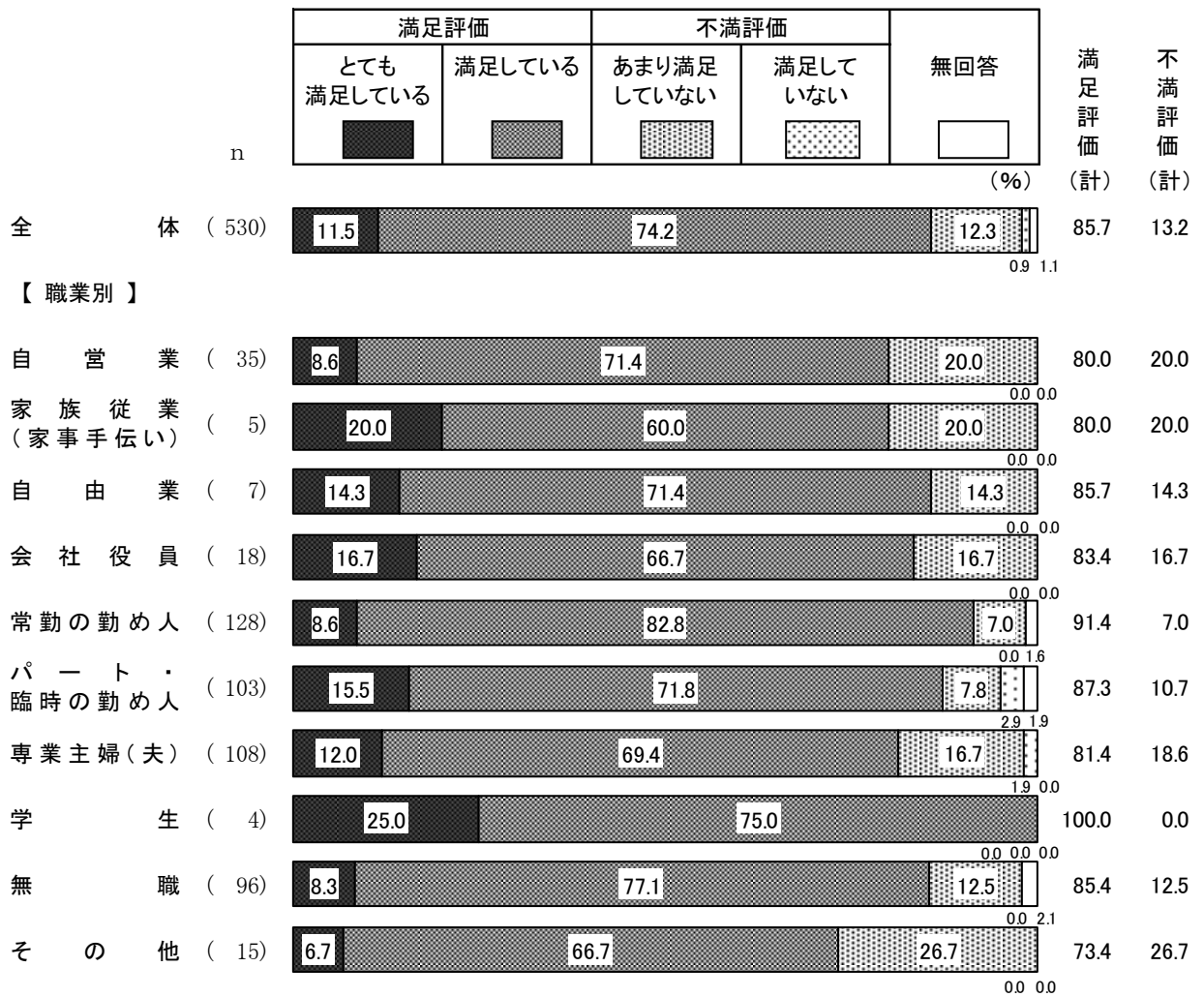
図1-11-5 「わたしの便利帳」の満足度－性別、性・年代別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年代別でみると、『満足評価』は全ての性・年代で7割以上となっている。(図1-11-5)

図 1-11-6 「わたしの便利帳」の満足度—職業別



職業別にみると、『満足評価』は「常勤の勤め人」で9割を超え、「パート・臨時の勤め人」で9割近くとなっている。(図 1-11-6)

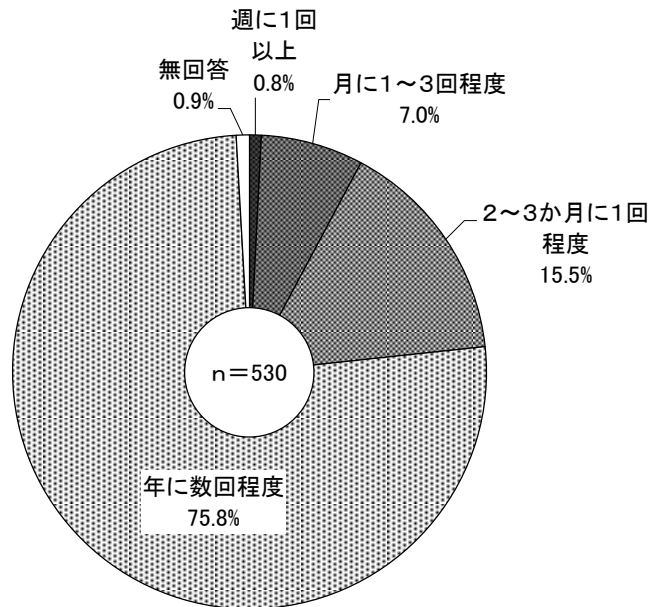
(11-2) 「わたしの便利帳」の利用頻度

◇ 「年に数回程度」が7割台半ば

(問14で「利用したことがある」と答えた方へ)

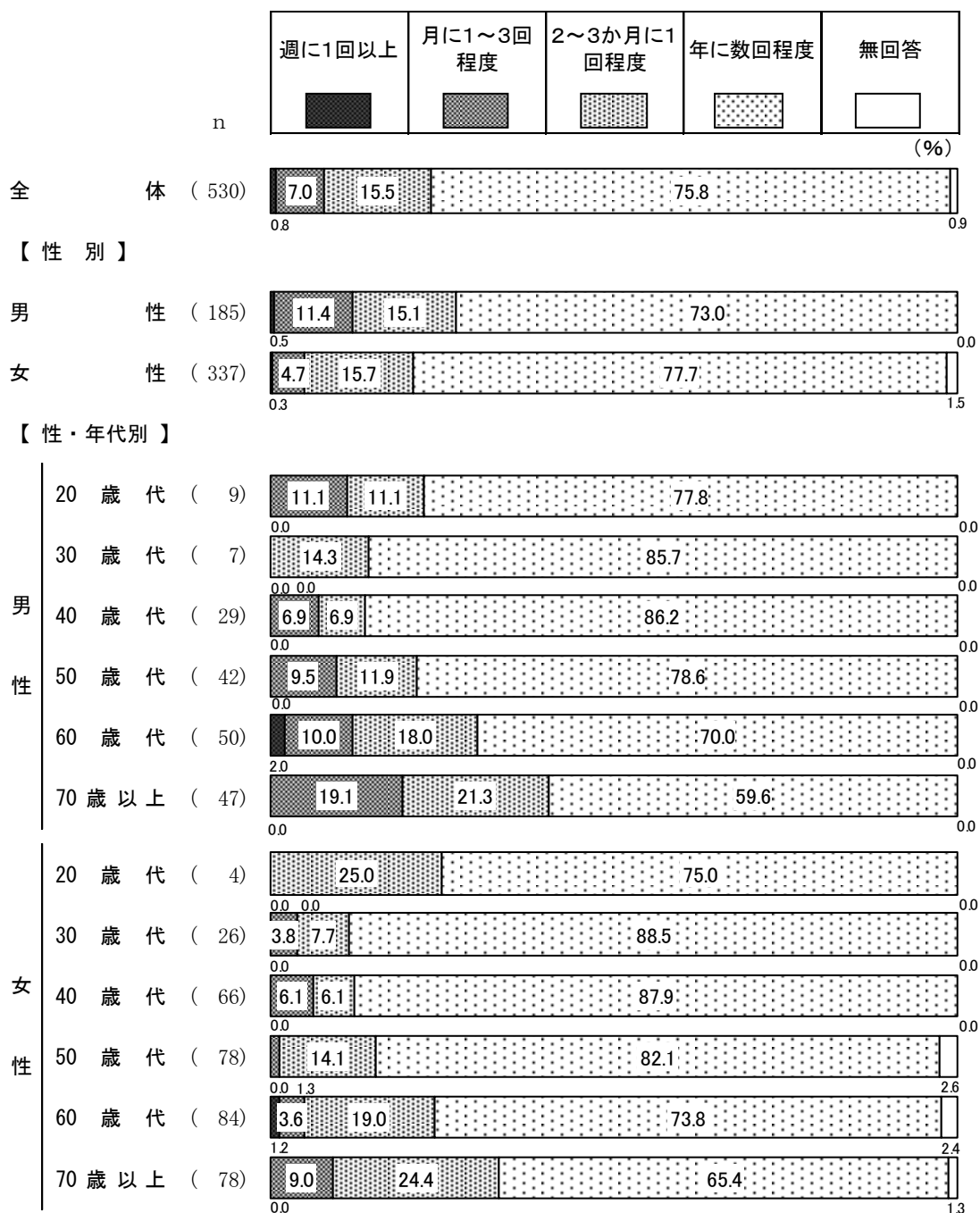
問14-2 あなたは、「わたしの便利帳」をどのくらい利用していますか。

図1-11-7 「わたしの便利帳」の利用頻度



「わたしの便利帳」を「利用したことがある」と答えた方(530人)に、どの程度利用しているか聞いたところ、「年に数回程度」(75.8%)が7割台半ばで最も多く、次いで「2~3か月に1回程度」(15.5%)となっている。一方、「月に1~3回程度」(7.0%)、「週に1回以上」(0.8%)は1割未満となっている。(図1-11-7)

図 1-11-8 「わたしの便利帳」の利用頻度－性別、性・年代別



性別にみると、「月に1～3回程度」は男性の方が6.7ポイント高く、1割を超えている。「年に数回程度」は女性の方が4.7ポイント高く、8割近くとなっている。

性・年代別にみると、「年に数回程度」は女性30歳代・40歳代で9割近くと多くなっている。「2～3か月に1回程度」は女性70歳以上で2割台半ば、「月に1～3回程度」は男性70歳以上で約2割となっている。(図1-11-8)

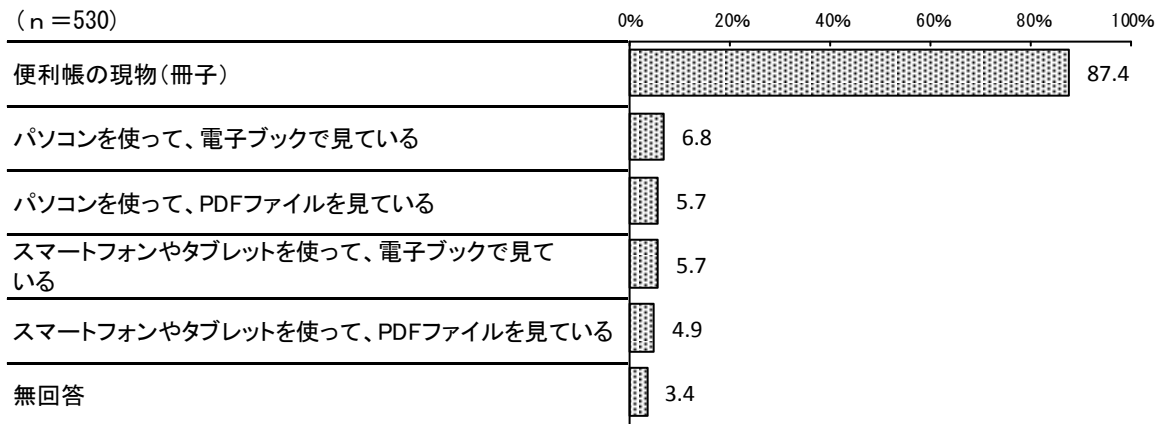
(11-3) 「わたしの便利帳」の閲覧手段

◇「便利帳の現物（冊子）」が9割近く

(問14で「利用したことがある」と答えた方へ)

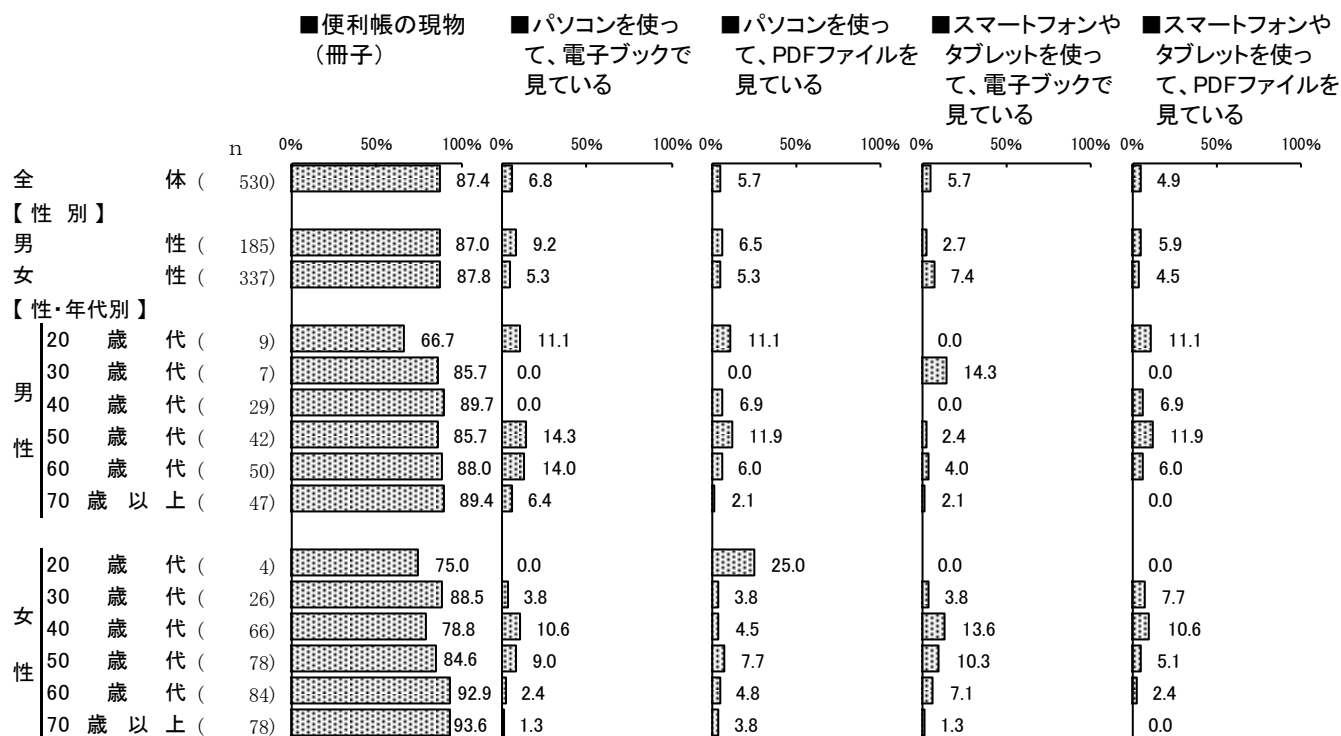
問14-3 「わたしの便利帳」は現物の冊子のほかに、インターネットを使って区のホームページからもご覧になることができます。あなたは主に便利帳をどのような手段でご覧になっていますか。(〇はいくつでも)

図1-11-9 「わたしの便利帳」の閲覧手段



「わたしの便利帳」を「利用したことがある」と答えた方(530人)に、閲覧手段を聞いたところ、「便利帳の現物(冊子)」(87.4%)が9割近くで最も多い。一方、「パソコンを使って、電子ブックで見ている」(6.8%)、「パソコンを使って、PDFファイルを見ている」(5.7%)、「スマートフォンやタブレットを使って、電子ブックで見ている」(5.7%)、「スマートフォンやタブレットを使って、PDFファイルを見ている」(4.9%)は1割未満となっている。(図1-11-9)

図 1-11-10 「わたしの便利帳」の閲覧手段—性別、性・年代別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年代別にみると、「便利帳の現物（冊子）」は女性60歳代・70歳以上で9割を超えて多くなっている。「パソコンを使って、電子ブックで見ている」は男性50歳代・60歳代で1割台半ばとなっている。

(図 1-11-10)

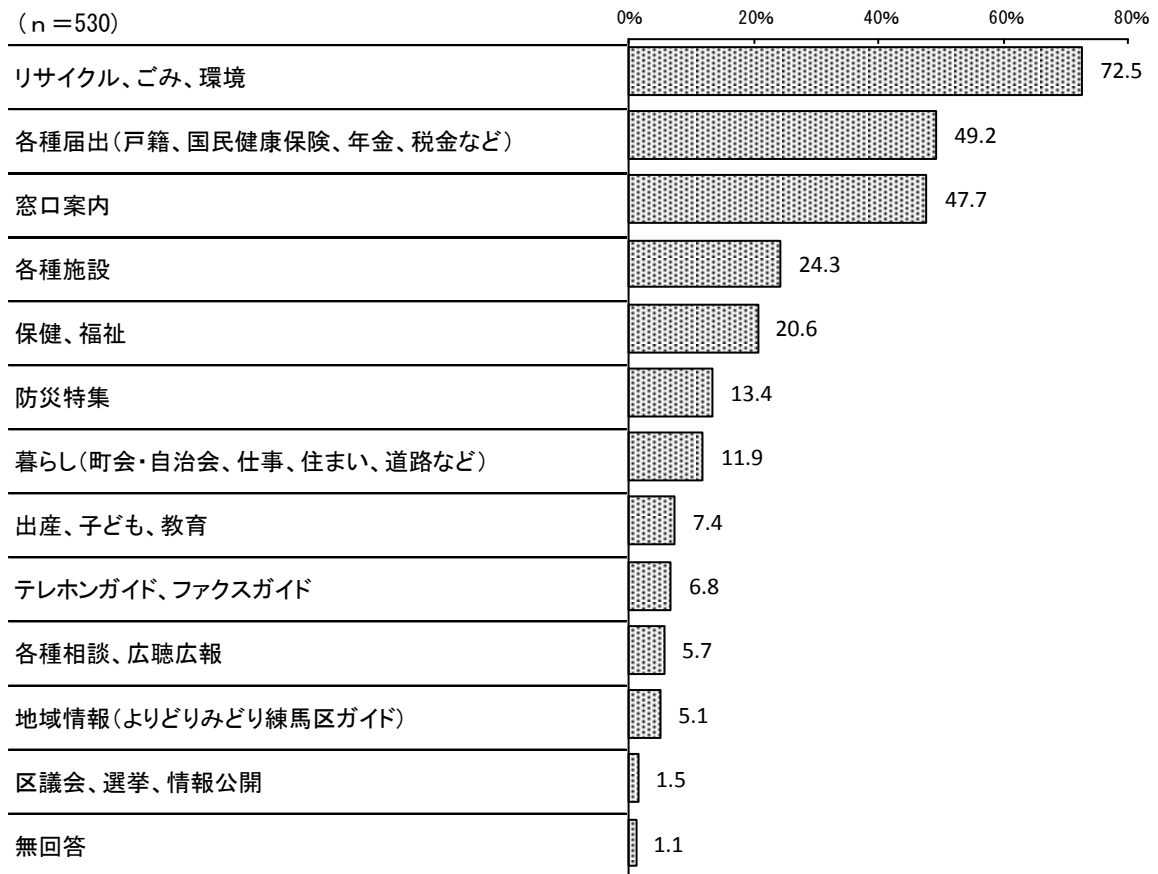
(11-4) 「わたしの便利帳」でよく利用する情報

◇「リサイクル、ごみ、環境」が7割を超える

(問14で「利用したことがある」と答えた方へ)

問14-4 あなたは、「わたしの便利帳」に掲載している内容のうち、どの情報をよく利用していますか。(〇はいくつでも)

図1-11-11 「わたしの便利帳」でよく利用する情報

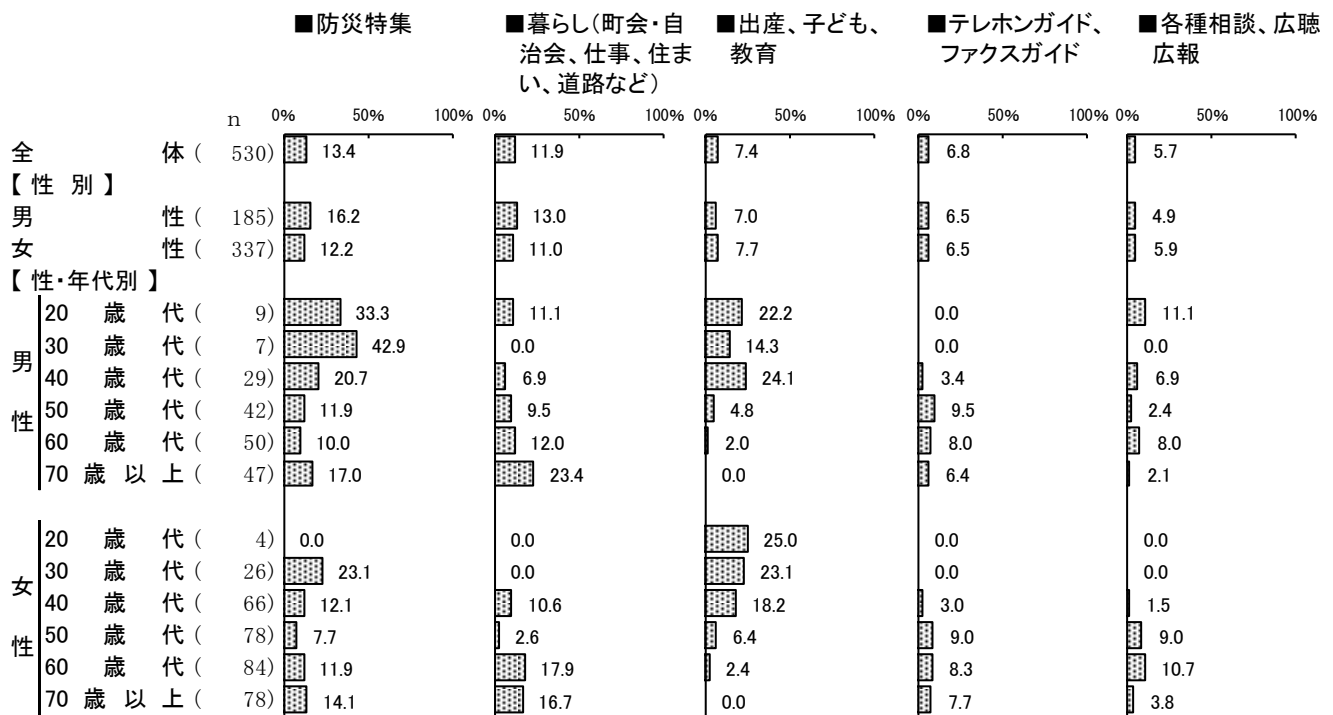
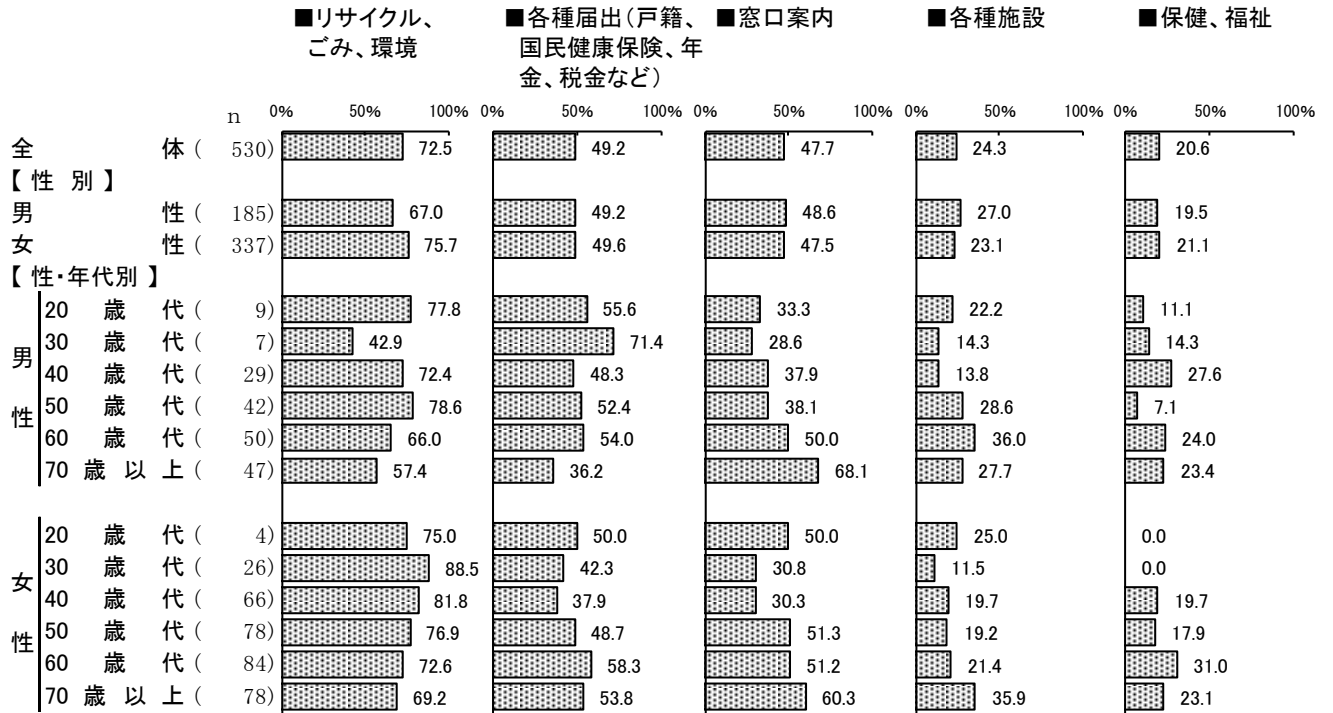


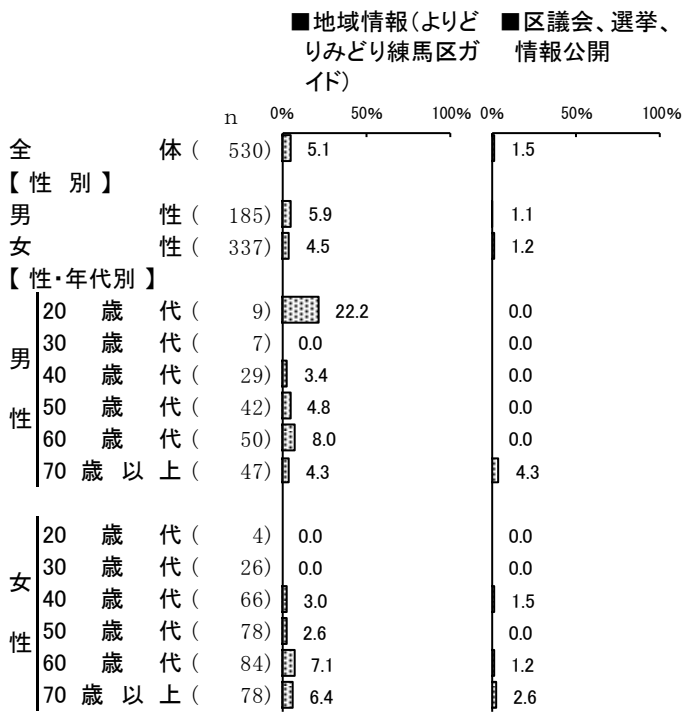
「わたしの便利帳」を「利用したことがある」と答えた方(530人)に、よく利用する情報を聞いたところ、「リサイクル、ごみ、環境」(72.5%)が7割を超えて最も多く、次いで「各種届出(戸籍、国民健康保険、年金、税金など)」(49.2%)、「窓口案内」(47.7%)などの順となっている。

(図1-11-11)



図1-11-12 「わたしの便利帳」でよく利用する情報－性別、性・年代別





性別にみると、「リサイクル、ごみ、環境」は女性の方が8.7ポイント高く、7割台半ばとなっている。「防災特集」は男性の方が4.0ポイント高く、「各種施設」は男性の方が3.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「窓口案内」は男女ともに70歳以上で6割以上となっている。(図1-11-12)

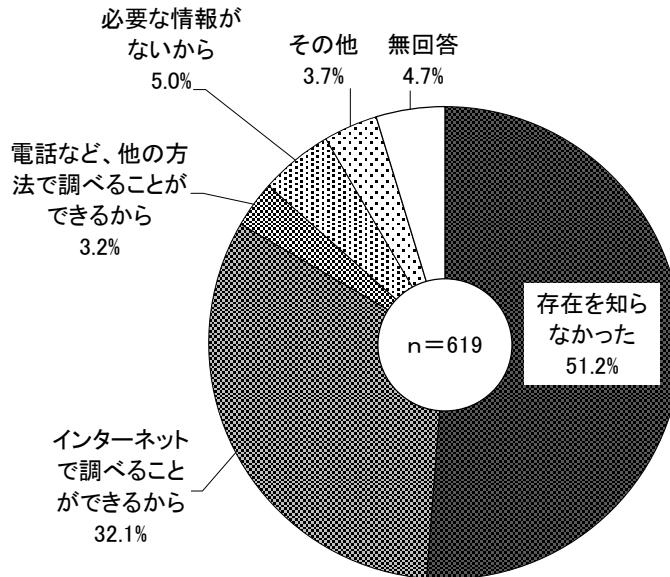
(11-5) 「わたしの便利帳」を利用しない理由

◇「存在を知らなかった」が5割を超える

(問14で「利用したことがない」と答えた方へ)

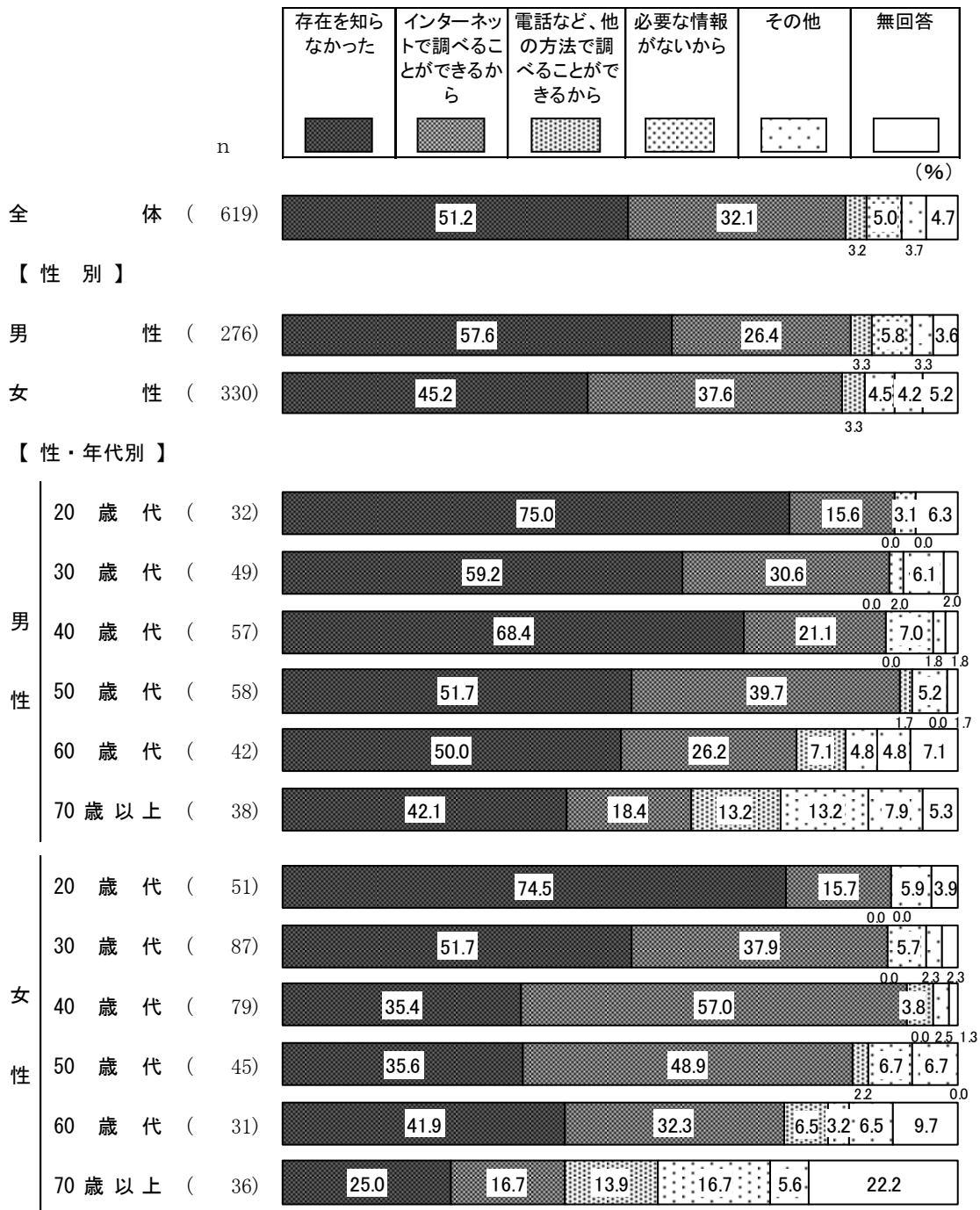
問14-5 あなたが「わたしの便利帳」を利用しない理由は何ですか。(○は1つ)

図1-11-13 「わたしの便利帳」を利用しない理由



「わたしの便利帳」を「利用したことがない」と答えた方(619人)に、利用しない理由を聞いたところ、「存在を知らなかった」(51.2%)が5割を超えて最も多く、次いで「インターネットで調べることができるから」(32.1%)、「必要な情報がないから」(5.0%)の順となっている。(図1-11-13)

図 1-11-14 「わたしの便利帳」を利用しない理由—性別、性・年代別



性別にみると、「存在を知らなかった」は男性の方が12.4ポイント高く、6割近くとなっており、「インターネットで調べることができるから」は女性の方が11.2ポイント高く、4割近くとなっている。

性・年代別にみると、「存在を知らなかった」は男女ともに20歳代で7割台半ばと多くなっている。「インターネットで調べることができるから」は女性40歳代で6割近くとなっている。(図 1-11-14)

(12) 練馬区情報番組『ねりまほっとライン』の認知度

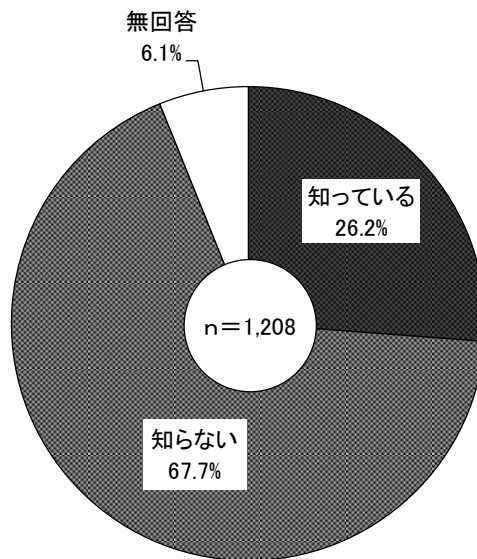
◇「知っている」人が2割台半ば、「知らない」人は7割近く

問15 あなたは、練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を知っていますか。

※練馬区情報番組『ねりまほっとライン』は、ケーブルテレビJ：COM東京（デジタル：11チャンネル）で毎日放映しています。区の事業やできごとなどを紹介し、区民のみなさまに、区政に関心を持っていただくことを目的としています。

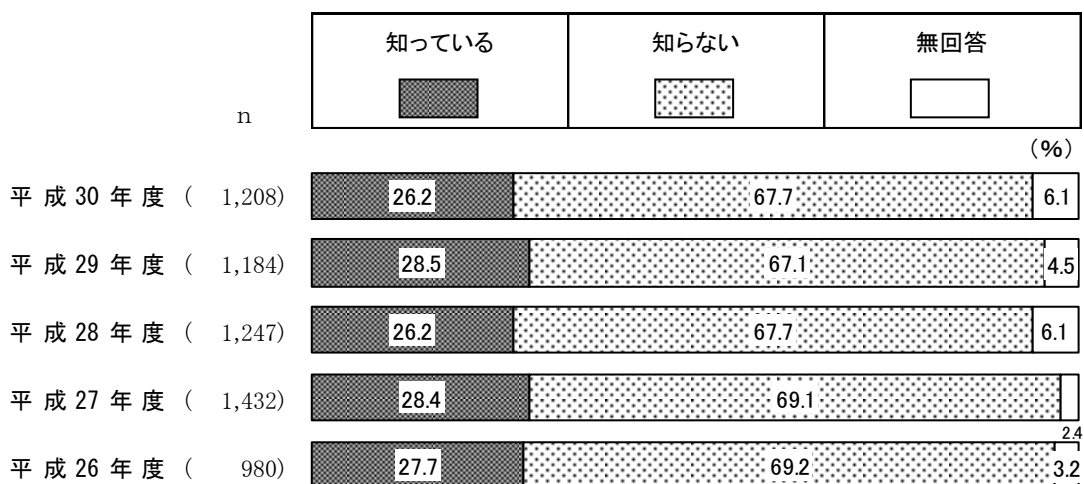
※放送時間は、毎日午前9時、正午、午後8時の3回です。（1回15分）

図1-12-1 練馬区情報番組『ねりまほっとライン』の認知度



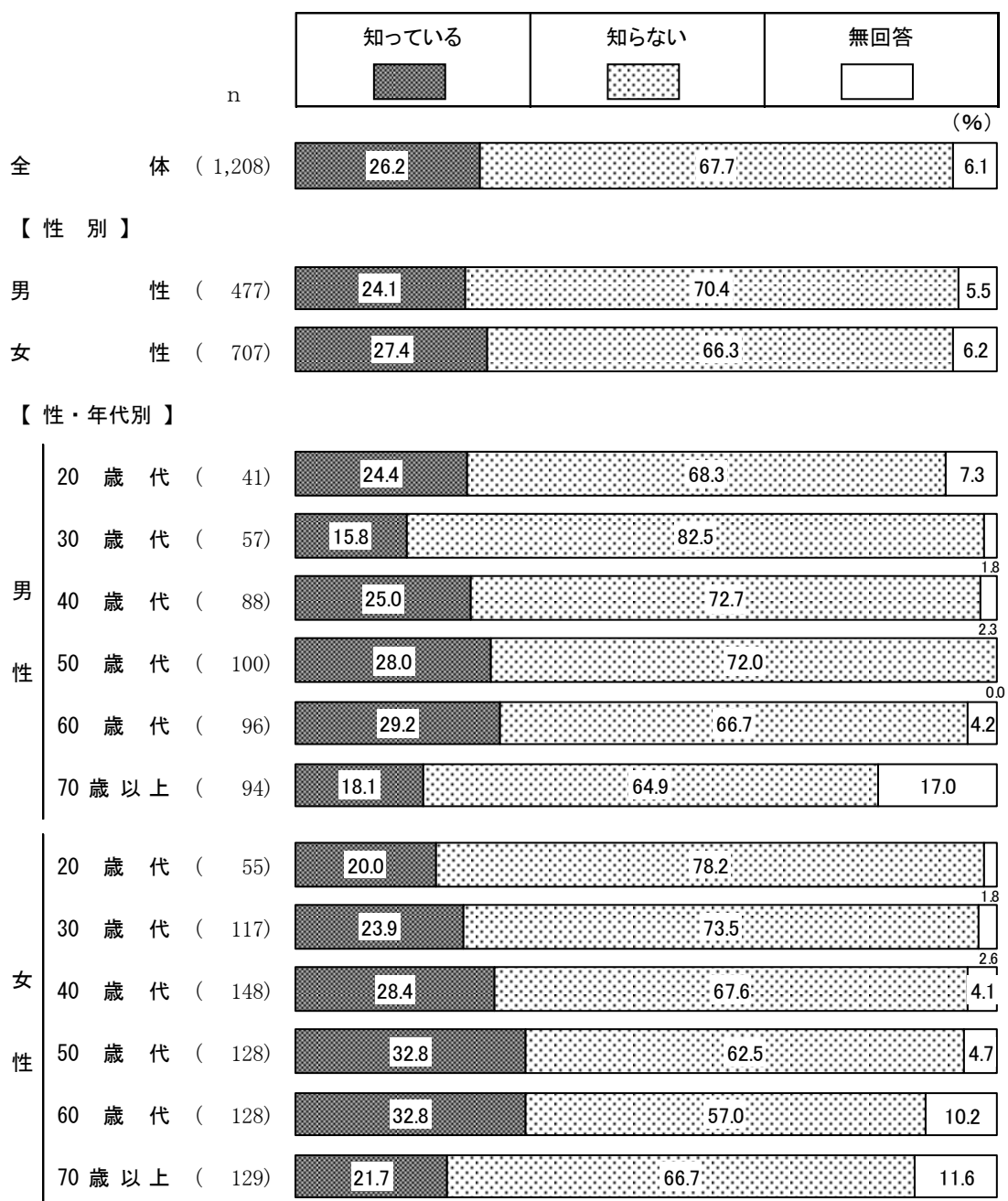
練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を知っているか聞いたところ、「知っている」（26.2%）が2割台半ばとなっている。（図1-12-1）

図1-12-2 練馬区情報番組『ねりまほっとライン』の認知度—過年度比較



過去の調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。（図1-12-2）

図1-12-3 練馬区情報番組『ねりまほっとライン』の認知度—性別、性・年代別



性別にみると、「知っている」は女性の方が3.3ポイント高く、3割近くとなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は女性50歳代・60歳代で3割を超えている。一方、「知らない」は男性30歳代で8割を超えて多くなっている。(図1-12-3)

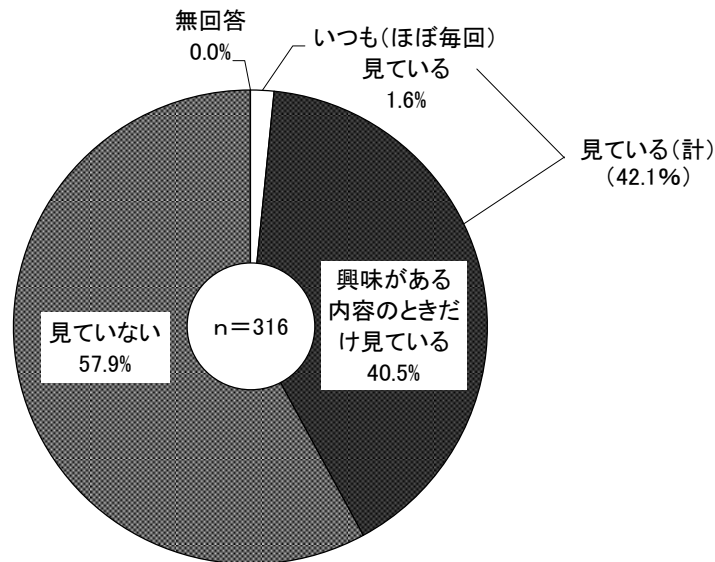
(12-1) 練馬区情報番組『ねりまほっとライン』の視聴度

◇『見ている』が4割を超え、「見ていない」は6割近く

(問15で「知っている」と答えた方へ)

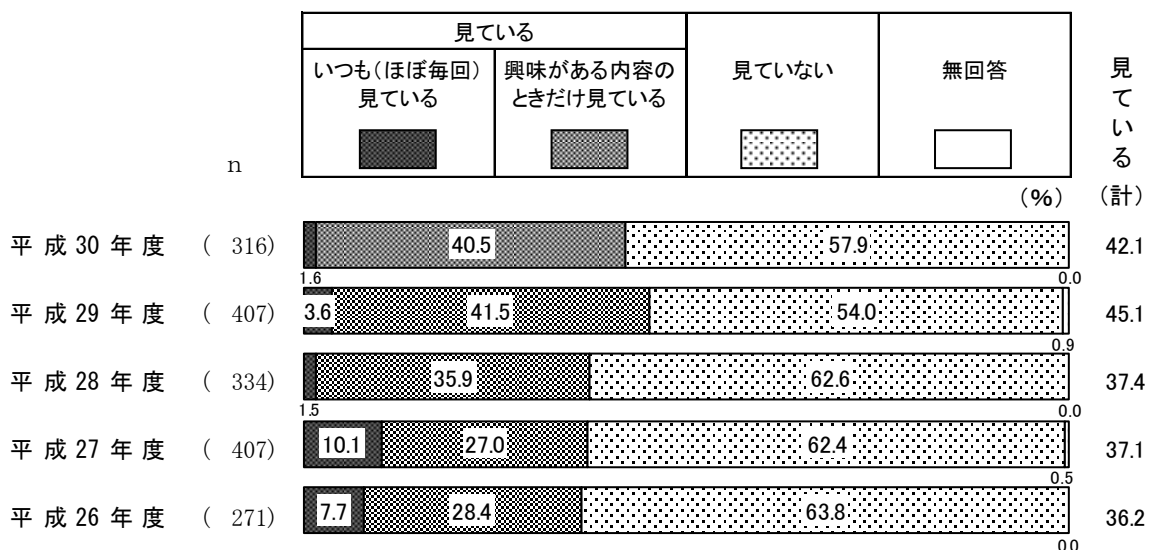
問15-1 あなたは、練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を見ていますか。

図1-12-4 練馬区情報番組『ねりまほっとライン』の視聴度



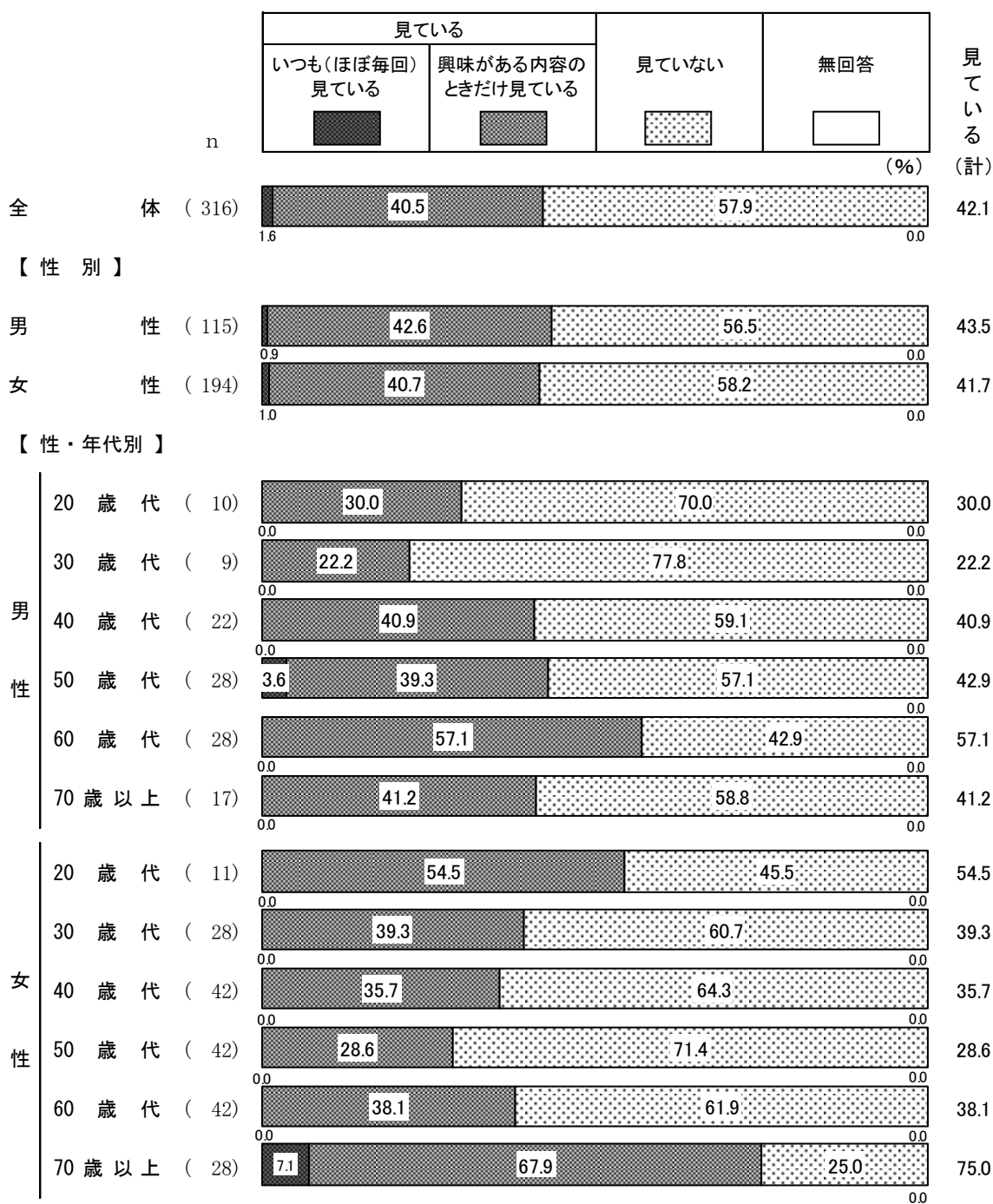
練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を知っていると答えた方(316人)に、番組の視聴度を聞いたところ、「いつも(ほぼ毎回)見ている」(1.6%)は1割未満で、これに「興味がある内容のときだけ見ている」(40.5%)を合わせた『見ている』(42.1%)が4割を超えている。一方、「見ていない」(57.9%)は6割近くとなっている。(図1-12-4)

図1-12-5 練馬区情報番組『ねりまほっとライン』の視聴度-過年度比較



過去の調査と比較すると、「興味がある内容のときだけ見ている」は前回調査(平成29年度)から1.0ポイント減少し、「見ていない」は3.9ポイント増加している。(図1-12-5)

図 1-12-6 練馬区情報番組『ねりまほっとライン』の視聴度—性別、性・年代別



性別にみると、『見ている』は男性の方が1.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『見ている』は女性60歳代で4割近くと多くなっている。(図 1-12-6)